

# 琵琶湖博物館業績目録

7号

2002年度



LAKE BIWA MUSEUM  
琵琶湖博物館

***Performance Records of the Lake Biwa Museum, No.7***

*From April 2002 to March 2003*

*Edited by the Lake Biwa Museum (Chief editor : AKIYAMA Hiromitsu)*

*Published by the Lake Biwa Museum*

*Oroshimo-cho 1091, Kusatsu, Shiga 525-0001, Japan*

© *Lake Biwa Museum, March 2004*

*All rights reserved*

*Printed in Japan by Sumai Insatsu Kogyo*

表紙写真：竹生島のカワウ営巣地

(撮影：亀田佳代子)

琵琶湖博物館業績目録

第 7 号

2002年度

滋賀県立琵琶湖博物館 編

滋賀県立琵琶湖博物館

2004年3月

## 目 次

### 館 長

川那部 浩哉	KAWANABE, Hiroya	1
--------	------------------	---

### 研究顧問

嘉田 由紀子	KADA, Yukiko	5
--------	--------------	---

### 環境史研究担当

高橋 啓一	TAKAHASHI, Keiichi	10
中島 経夫	NAKAJIMA, Tsuneo	13
用田 政晴	YODA, Masaharu	16
牧野 久実	MAKINO, Kumi	19
山川 千代美	YAMAKAWA, Chiyomi	22
橋本 道範	HASHIMOTO, Michinori	24
宮本 真二	MIYAMOTO, Shinji	26
里口 保文	SATOGUCHI, Yasufumi	29
榭永 一宏	MASUNAGA, Kazuhiro	32

### 生態系研究担当

ロシター, アンドリュー	ROSSITER, Andrew	35
亀田 佳代子	KAMEDA, Kayoko	38
杉谷 博隆	SUGITANI, Hiroataka	42
前畑 政善	MAEHATA, Masayoshi	44
グライガー, マーク・ジョセフ	GRYGIER, Mark Joseph	47
野崎 信宏	NOZAKI, Shinji	51
長崎 泰則	NAGASAKI, Yasunori	54
井戸本 純一	IDOMOTO, Junichi	56
草加 伸吾	KUSAKA, Shingo	58
楠岡 泰	KUSUOKA, Yasushi	61
中井 克樹	NAKAI, Katsuki	64
松田 征也	MATSUDA, Masanari	70
桑原 雅之	KUWAHARA, Masayuki	73
牧野 厚史	MAKINO, Atsushi	76
芳賀 裕樹	HAGA, Hiroki	78
中藤 容子	NAKATO, Yoko	80
矢野 晋吾	YANO, Shingo	82
大塚 泰介	OHTSUKA, Taisuke	85

## 博物館学研究担当

布谷 知夫	NUNOTANI, Tomoo	88
八尋 克郎	YAHIRO, Katsuro	94
秋山 廣光	AKIYAMA, Hiromitsu	98
戸田 孝	TODA, Takashi	105
芦谷 美奈子	ASHIYA, Minako	107
森田 光治	MORITA, Mitsuji	110
西垣 亨	NISHIGAKI, Toru	112

## 嘱託員

山中 裕子	YAMANAKA, Hiroko	115
松尾 知	MATSUO, Tomo	116
山口 幸江	YAMAGUCHI, Yukie	117
中井 大介	NAKAI, Daisuke	118

## 特別研究員

高橋 鉄美	TAKAHASHI, Tetsumi	119
大原 健一	OHARA, Kenichi	121

## 収録内容

1. この業績目録には、滋賀県立琵琶湖博物館の学芸職員および客員研究員等の2002年4月から2003年3月までの内容が収録されています。
2. この業績目録には、次の項目に該当する業績を収録しました。

## 1年の研究

### 印刷物

- 【学術論文】
- 【専門分野の著作】
- 【一般向けの著作】
- 【これまでの業績集に掲載されなかった2002年3月以前の印刷物】

### 研究活動に関する業績

- 【学会・研究会での発表など】
- 【研究プロジェクト等への参加】
- 【学会等の役職・運営、論文の査読など】
- 【大学での講義・実習、学生の指導など】
- 【受賞など】

### 博物館事業に関する業績

- 【交流・サービス活動】
- 琵琶湖博物館の主催行事
- 他の博物館、組織・団体等の主催行事
- 研修会・視察対応
- テレビ・ラジオ等への出演・協力
- 印刷メディア(新聞・雑誌・書籍等)への出演・協力
- 【情報整備活動】
- 琵琶湖博物館の情報整備活動
- 他の博物館等の情報整備活動
- 【資料整備活動】
- 琵琶湖博物館の資料整備活動
- 他の博物館等の資料整備活動
- 【展示活動】
- 琵琶湖博物館の展示活動
- 他の博物館等の展示活動
- 【企画調整事業】

### 館内人事、館外活動等に関すること

- 【館内の人事】
- 【海外渡航】
- 【館外の活動】

## 印刷物

## 【一般向けの著作】

- 村田純一・川那部浩哉ほか (2002) 全体討論「人生における運・不運～偶然と必然」. 比叡会議事務局編. 第19回'01 比叡会議報告書. 日本アイ・ビー・エム株式会社関西支社,大阪. 135-164.
- 川那部浩哉 (2002) 「行方不明」の楽しみ. 京大広報. 568:1266.
- 川那部浩哉 (2002) 分類学と生態学との協同. 日本分類学会連合ニュース. 1:6-7.
- 川那部浩哉 (2002) 世界湖沼会議を終えて—湖沼の保全・管理の今後を考える. 資源環境対策. 38:1-4.
- 川那部浩哉 (2002) ごあいさつ. 琵琶湖博物館年報. 琵琶湖博物館, 草津. 6:1.
- 川那部浩哉 (2002) ごあいさつ. 橋本道範(編). 琵琶湖博物館第10回企画展展示解説書 中世のむら探検—近江の暮らしのルーツを求めて—. 琵琶湖博物館, 草津. 2-3.
- 川那部浩哉 (2002) はじめに. 湖沼会議市民報告書編集委員会(編). わたしたちの湖沼会議—市民・NGOの目に映った湖沼会議—. サンライズ出版, 彦根. 4-5.
- 安井四加三・三品巖・真田昇・川那部浩哉 (2002) <湖辺のむら>の資源利用—守山市赤野井町の暮らし. うみんど. 琵琶湖博物館, 草津. 23:4-5.
- 川那部浩哉・宮田親平 (2002) 公共事業とコミュニケーション—川那部浩哉先生に対するヒヤリング記録—. 財団法人水資源協会, 東京. 2+16pp.
- 川那部浩哉 (2002) 魚の目で、琵琶湖を早急に捉え直そう. 明日の淡海. 7:2.
- 川那部浩哉 (2002) 本の紹介:生態系を蘇らせる. 野生生物保全論研究会会報. 2:35.
- 川那部浩哉 (2002) 外来種を考える5. 京都新聞. 2002/8/9.
- 川那部浩哉 (2002) はしがき. 琵琶湖博物館「親しむ博物館づくり事業」実行委員会(編). 文部科学省親しむ博物館づくり委嘱事業「よみがえれ!写真たち」実施報告書. 琵琶湖博物館, 草津. i.
- 川那部浩哉 (2002) 岩井保著『旬の魚はなぜうまい』:最新知識の古典の味が調和. 産経新聞. 2002/11/4.
- 川那部浩哉 (2002) 生物多様性とはなにか. 生物多様性の世界事務局(編). 生物多様性の世界:人と自然の共生というパラダイムを目指して:予稿集. 中日本装備, 名古屋. 6-7.
- 川那部浩哉 (2002) 自然保護の視点から見た琵琶湖の現状と課題. KNCF NEWS (日本経団連自然保護協議会だより). 24:7-8.
- 森山真弓・千宗室・川那部浩哉 (2002) 開会式挨拶. 日本ジェンダー学会・世界女性文化会議・京都2001の記録編集委員会(編). 千年の願い・千年の誓い—世界女性文化会議・京都2001の記録—. 日本ジェンダー学会, 神戸. 8-11.
- 脇田晴子・川那部浩哉 (2002) 近江中世の「むら」を探る. うみんど. 琵琶湖博物館, 草津. 24:2-3.
- 川那部浩哉 (2002) 特集この人に学びたい4. ジーク. 8:10-11.
- 川那部浩哉編 (2002) 外部評価 (概要). 外部評価報告書. 独立行政法人国立科学博物館外部評価委員会, 東京. 7-15.
- 川那部浩哉 (2002) 序文. 西島信昇監修、西田睦・鹿谷法一・諸喜田茂充(編). 球列島の陸水生物. 東海大学出版会, 東京. xiii-xv.
- 川那部浩哉 (2002) 人間列島滋賀県1. 読売新聞. 2002/12/7夕刊.
- 茂山千之丞・中森洋・川那部浩哉 (2003) 現代に生きる狂言. うみんど. 琵琶湖博物館, 草津. 25:2-3.
- 川那部浩哉 (2003) 推薦の辞. M. Begon, J. L. Harper, C. R. Townsend 著 堀道雄監訳. 生態学—個体・個体群・群集の科学. 京都大学学術出版会, 京都. 帯.
- 川那部浩哉 (2003) 選評:地球環境問題のアプローチ. 用田政晴(編). Challenge 21! 「あなたの提言」. 日本育英会, 東京. 6:7.

- 川那部浩哉 (2003) 日本の安定供給にも影. *日本経済新聞*. 2003/2/26.
- 川那部浩哉 (2003) 企画展を顧みるということー「まえがき」にかえて. 企画展示『湖の船』開催記録: 琵琶湖最後の船大工・松井三四郎大いに語る 琵琶湖博物館研究調査報告. 琵琶湖博物館, 草津. 19: i.
- Kawanabe, H. (2003) Shall we go out into the field?. eds. by Rossitter, A., Frenette, J.-J., and Gryger, M. J. *A Guide to the Lake Biwa Museum-Lakes and People: Toward a Better Symbiotic Relationship*. 琵琶湖博物館, 草津. 2.
- 秋篠宮文仁・秋道智彌・川那部浩哉 (2003) 鼎談 鯰 (ナマズ) の魅力. 鯰-魚と文化の多様性-. 滋賀県立琵琶湖博物館(編). 鯰-魚と文化の多様性-. サンライズ出版, 彦根. 15-45.
- 山本真知子・藤丸厚史・川那部浩哉 (2003) 博物館協議会の委員として. うみんど. 琵琶湖博物館, 草津. 26: 2-3.
- 川那部浩哉 (2003) はじめに: 建部俊夫・北川良也植物標本目録. 琵琶湖博物館研資料目録. 琵琶湖博物館, 草津. 9: 1.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表など】

- 川那部浩哉 (2002年4月20日) 「リュウキュウアユを蘇生させる会」東京支部第6回勉強会. 「リュウキュウアユを蘇生させる会」東京支部. ダイアモンドホテル (東京都千代田区). [講演]
- 川那部浩哉 (2002年11月14日~15日) DIVER/DIWPA Joint Symposium "New Frontiers in Biodiversity Science - From Microbes to Landscape-". 京都大学生態学研究センター. 京大会館(京都府京都市). [挨拶]
- 川那部浩哉 (2002年12月7日~8日) 文部科学省第17回「大学と科学」公開シンポジウム「生物多様性の世界一人と自然の共生というパラダイムを目指して」. 京都大学生態学研究センター. イムズホール (福岡県福岡市). [パネラー]
- 川那部浩哉 (2003年1月11日~12日) 国際シンポジウム「アジア地域の環境保全: 未来開拓研究推進事業の成果と提言」. 日本学術振興会. 東京大学山上会館 (東京都文京区). [開会挨拶・パネルディスカッション・司会].
- 川那部浩哉 (2003年3月1日) 第5回柿田川生態系研究会. 柿田川生態系研究会. 三島グランドホテル (静岡県三島市). [研究報告]

### 【研究プロジェクト等への参加】

- 文部科学省創生的基礎研究「地球環境攪乱下における生物多様性の保全及び生命情報の維持管理に関する総合的基礎研究」研究者代表
- 日本学術振興会未来開拓学術研究推進事業「アジア地域の環境保全」推進委員長

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

- 国際古代湖生物学会 (SIAL). [会長]
- 国際理論応用陸水学会 (SIL). [日本代表]
- 国際理論応用陸水学会生物多様性委員会. [委員長]
- 生物多様性科学国際共同研究計画 (DIVERSITAS) 陸水生物多様性部会. [部会長]
- 生物多様性科学国際共同研究計画 (DIVERSITAS) 西太平洋・アジア地域国際ネットワーク (DIWPA). [委員長]
- 応用生態工学会長期計画委員会. [委員長]
- 日本魚類学会. [評議員]
- African Journal of Tropical Hydrobiology and Fisheries. [Editorial Board Member]
- Environmental Biology of Fishes. [Editorial Board Member]
- International Journal of Ecology and Environmental Biology. [Editorial Board Member]

### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

- 2002年後期「生物社会共生論」滋賀県立大学大学院. [非常勤講師]

## 【受賞など】

京都府自治功労賞

日本生態学会功労賞

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス活動】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

琵琶湖博物館（2002年7月20日）琵琶湖博物館第10回企画展「中世のむら探検～近江の暮らしのルーツを求めて～」開会式。琵琶湖博物館。滋賀県草津市。[挨拶]

琵琶湖博物館（2002年11月10日）琵琶湖博物館開館6周年記念事業「現代に生きる狂言」。琵琶湖博物館。滋賀県草津市。[鼎談]

#### 他の博物館、組織・団体等の主催行事

京都洛中ロータリークラブ（2002年4月2日）「いのちとくらしの源：琵琶湖」。京都洛中ロータリークラブ例会。京都ホテル。京都府京都市。[講演]

朝日新聞社・朝日21関西スクエア（2002年4月21日）「人と魚の望ましい関係とは」。現地シンポジウム「ブラックバス問題から水辺の自然を考える」。琵琶湖博物館。滋賀県草津市。[講演]

広島大学大学院生物圏科学研究科（2002年7月13日）「生命文化複合体」とは何か。広島大学大学院生物圏科学研究科部局化記念講演会。広島大学中央図書館ライブラリーホール。広島県東広島市。[講演]

京都生涯教育研究所（2002年7月27日）「動物生態学との出会い」。2002年度第2回学術交流研究会。琵琶湖博物館。滋賀県草津市。[講演]

環日本海アカデミック・フォーラム（2002年9月22日）第3回世界水フォーラム・プレ・シンポジウム～淀川水系で育まれた魚たちのルーツは北東アジアにあった～。ハートピア京都。京都府京都市。[コーディネーター]

草の根通信（2002年11月3日）「草の根通信」360号記念パーティー。中津オリエンタルホテル。大分県中津市。[挨拶]

岩手県大槌町（2002年11月6日）「自然と共生するまちづくり」～生物多様性の視点と日常生活～。自然と共生するまちづくりシンポジウム～淡水型イトヨ生息環境保全と水循環を考える～。大槌町城山公園体育館。岩手県大槌町。[鼎談]

比叡会議（2002年12月13日～14日）2002年比叡会議「イスラームと世界」。ロテル・ド・比叡。京都府京都市。[分科会座長]

三方町縄文博物館（2002年12月21日）「湖と人間：その関係の総体を歴史的に探る試み」。三方町博物館第4回縄文文学講座。三方町公民館2階ホール。福井県三方町。[講演]

三方町縄文博物館（2002年12月21日）「湖と人間の関係」。三方町博物館第4回縄文文学講座。三方町公民館2階ホール。福井県三方町。[対談]

日本育英会（2002年12月23日）日本育英会Challenge21表彰式。スクワール麴町。東京都千代田区。[挨拶]

財団法人京都SKYセンター（2003年1月14日）「琵琶湖の水環境と暮らし」。京都SKY大学。京都新聞文化ホール。京都府京都市。[講演]

京都新聞社（2003年2月24日）「大いなる琵琶湖の恵み～世界水フォーラムを前に」（仮）。京都新聞「マーケティング・フォーラム」。京都ホテルオークラ。京都府京都市。[講演]

社団法人電子情報技術産業協会関西支部、関西環境対策委員会（2003年3月10日）「水環境と生物と人間」。環境セミナー2003「水環境の保全と有効利用に向けて」～電子・電機産業の取組み～。中央電気倶楽部大ホール。大阪府大阪市。[講演]

地球環境関西フォーラム（2003年3月19日）第3回世界水フォーラム・セッション「人の暮らしと生物多様性と水環境～水と緑、守り育てて、いのち賑わう～」。大阪国際会議場1102号室。大阪府大阪市。[コーディネーター]

流域の水循環型社会をすすめる会（2003年3月22日）3連続・国際シンポジウム「水資源開発の合意形成はいかにあるべきか」～水源地域からの発信～。ピアザ淡海。滋賀県大津市。[座長、パネリスト]

## 館内人事、館外活動等に関すること

### 【海外渡航】

2002年9月1日～2002年9月9日、ロシア、国際古代湖会議、博物館等における生物と文化の多様性に関する研究・普及に関する打合せ、国際共同研究「生物多様性科学国際研究陸水部門」打合せ、世界水フォーラムに関する国際打合せ

2002年11月18日～2002年11月28日、スペイン・マルタ、ラムサール条約締結国会議、博物館における生物と文化の多様性に関する研究・普及に関する打合せ、国際共同研究「生物多様性科学国際研究陸水部門」打合せ、世界水フォーラムに関する国際打合せ

### 【館外の活動】

国土交通省近畿地方整備局淀川水系流域委員会 委員

国土交通省近畿地方整備局淀川水系流域委員会琵琶湖部会 部会長

滋賀県総合保全学術委員会 副委員長

国立科学博物館外部評価委員会 委員長

近江八幡津田内湖調査委員会 委員長

世界自然保護基金ジャパン(WWFJ) 常任理事

日本自然保護助成基金 理事

国際生態学日本センター 理事

日本自然保護保全学会 理事

日本自然保護協会 評議員

国際湖沼環境委員会 評議員

日本学術振興会21世紀COEプログラム委員会 委員

日本ユネスコ国内委員会人と生物圏小委員会 委員

京都府文化財保護審議会 委員

京都市文化財保護審議会 委員

生態学琵琶湖賞運営委員会 委員

滋賀県科学技術政策推進会議 委員

国際生物学賞委員会 委員

毎日出版文化賞委員会 委員

地球環境大賞顕彰制度委員会 委員

日本水大賞顕彰制度委員会 委員

河川環境管理財団選考委員会 委員

第3回世界水フォーラム運営委員会 委員

島根大学汽水域研究センター研究推進協議会 委員

TAKARAハーモニストファンド 委員

科学技術財団戦略的基礎研究「地球変動のメカニズム」 研究アドバイザー

京都市青少年科学センター 顧問

環日本海アカデミックフォーラム 顧問

第3回世界水フォーラム滋賀県委員会 顧問

## 研究顧問

## 印刷物

## 【専門分野の著作】

- 嘉田由紀子（2002）環境社会学. 岩波書店. 1-232pp. .
- 嘉田由紀子（2002）水と暮らしの環境文化. 樋田劭と共編. 昭和堂. 1-200pp
- 嘉田由紀子（2002）水と人間の距離－脱文脈化社会をこえて. 三田評論. 慶応義塾大学, 東京. (1048) . 30-38.
- 嘉田由紀子（2002）風景に見るモノ・コト・ココロ. 地理. 古今書院, 東京. (565) . 140-142.
- 嘉田由紀子・中山節子・ローレンス・マレカノ（2002）ムブナはおいしくない？－アフリカ・マラウィ湖の魚食文化と環境問題－. In: 宮本正興・松田素二（編）. 現代アフリカの社会変動. 人文書院, 京都. 260-283.
- 嘉田由紀子（2003）琵琶湖のほとりの生活史－環境社会学の視点から－. In: 守山市教育委員会（編）. 弥生のなりわいと琵琶湖－近江の稲作漁労民－. サンライズ出版, 彦根. 14-44
- 山本佳世子・嘉田由紀子. (2003) .「湖？生きる」－湖イメージを国際的に比較する－. 環境技術. 環境技術研究協会, 大阪. 32 (1) . 62-68.

## 【一般向けの著作】

- 嘉田由紀子（2002）世界子ども水フォーラムにむけて. 世界子ども水フォーラム Nes Letter. 世界子ども水フォーラム連絡会議事務局, 東京. (創刊号) . 1pp.
- 嘉田由紀子（2002）「水辺ぐらしの環境学」－書評－. 農林水産図書資料月報. (財) 農林統計協会. (53)7. 203pp.
- 嘉田由紀子（2002）「博物館を高齢者たちのたまり場にしたい」－対談－. Musse. (株) ミュゼ. (54). 14-15.
- 嘉田由紀子（2002）「在地文化の多様性」－子どもは遊びなじみ文化のなかで育つ－. 生物多様性キーワード事典. 生物多様性制作研究会, 東京. (53)7. 48-49.
- 嘉田由紀子（2002）琵琶湖にはぐくまれた稲作と食文化の歴史. あまから手帖. (7)3. 90-91.
- 嘉田由紀子（2002）ヨハネスから京都へ－アフリカの子どもたちから教わったこと. 世界子ども水フォーラム Nes Letter. 世界子ども水フォーラム連絡会議事務局, 東京. (2) . 1pp.
- 嘉田由紀子（2002）モノからコト・ココロに至る企業活動を. クリモト環境報告書. (株) 栗本鐵工所, 大阪. (2002). 18pp.
- 嘉田由紀子（2002）「連携とは同化でも妥協でもありません。お互いの違いを認め合って知恵を出し合うことです」。ふれあい近畿. (社) 近畿建設協会. (37)10. 3pp.
- 嘉田由紀子（2002）みずべの思い－蛍は死者の靈魂？. (京都新聞) . (2002/6/26朝刊京都): . 7pp.
- 嘉田由紀子（2002）みずべの思い－洗うを洗う. (京都新聞) (2002/7/31朝刊京都): . 7pp.
- 嘉田由紀子（2002）みずべの思い－風呂と水. (京都新聞) (2002/8/28朝刊京都): . 7pp.
- 嘉田由紀子（2002）みずべの思い－蛇口がなくても. (京都新聞) (2002/9/25朝刊京都): . 7pp.
- 嘉田由紀子（2002）私たちの暮らしと密接な関係－風景に愛着を. (毎日新聞) (2002/10/5朝刊京都): .
- 嘉田由紀子（2002）「子ども特派員」の事前学習に参加を－世界水フォーラム. (京都新聞) (2002/10/12朝刊京都): . 29pp.
- 嘉田由紀子（2002）みずべの思い－子どもは水辺が好き？. (京都新聞) (2002/10/30朝刊京都): . 7pp.
- 嘉田由紀子（2002）アフリカの水事情紹介－19日に「子ども特派員」養成講座. (京都新聞) (2002/11/19朝刊京都): . 8pp.
- 嘉田由紀子（2002）みずべの思い－地下水に社会の眼を. (京都新聞) (2002/11/27朝刊京都): . 7pp.
- 嘉田由紀子（2002）世界の子どもたちと水. (聖教新聞) (2002/11/28朝刊東京): . 9pp.
- 嘉田由紀子（2002）新しい視点からの開発と環境. (沖縄タイムス) (2002/12/13朝刊沖縄): . 15pp.
- 嘉田由紀子（2002）みずべの思い－琵琶湖の水位. (京都新聞) (2002/12/25朝刊京都): . 7pp.

- 嘉田由紀子 (2003) 水—意識の上では遠くなった。(毎日新聞) (2003/1/1朝刊):. 13pp.
- 嘉田由紀子 (2003) 子どもたちの水学校—加藤登紀子さん、嘉田由紀子さんと語る。(京都新聞) (2003/1/7朝刊京都):. 8pp.
- 嘉田由紀子 (2003) 上手に循環させ生活—NGOの役割大きく。(読売新聞) (2003/1/8朝刊):. 13pp.
- 嘉田由紀子 (2003) みずべの思い—蛇口のむこうの雪。(京都新聞) (2003/1/29朝刊京都):. 8pp.
- 嘉田由紀子 (2003) 水の精神文化見直して—世界水フォーラム。(京都新聞) (2003/2/6朝刊京都):. 8pp.
- 嘉田由紀子 (2003) シンポジウム「水と命を考える」—世界平和にかかわる命の源。(京都新聞) (2003/2/15朝刊京都):. 4pp.
- 嘉田由紀子 (2003) シンポジウム「水と命を考える」—第三回世界水フォーラムを前に。(神社新聞) (2003/2/15朝刊京都):. 4pp.
- 嘉田由紀子 (2003) .「水と命を考える」—京都で「地球環境問題シンポジウム」。(佛教タイムス) (2003/2/15朝刊京都):. 4pp.
- 嘉田由紀子 (2003) 琵琶湖はきれい?汚い?。(京都新聞) (2003/2/17朝刊京都):. 24pp.
- 嘉田由紀子 (2003) みずべの思い—水フォーラムに向けて。(京都新聞) (2003/2/26朝刊京都):. 8pp.
- 嘉田由紀子 (2003) 琵琶湖の水を守るのは今—加藤登紀子と未来たち学校—。(京都新聞) (2003/3/5朝刊):. 8pp.
- 嘉田由紀子 (2003) 水と文化を考える—衛生問題—。(中国新聞) (2003/3/13朝刊):. 9pp.
- 嘉田由紀子 (2003) 水と文化を考える—アフリカの衛生問題—。(愛媛新聞) (2003/3/14朝刊):. 22pp.
- 嘉田由紀子 (2003) トイレ文化と水の衛生。(秋田さきがけ) (2003/3/14朝刊):. 7pp.
- 嘉田由紀子 (2003) 水と人語ろう—第三回世界水フォーラム—。(京都新聞) (2003/3/14朝刊):. 21pp.
- 嘉田由紀子 (2003) .「水の世紀」—第三回世界水フォーラム—。(京都新聞) (2003/3/15朝刊):. 6-7pp.
- 嘉田由紀子 (2003) 水と人々の生活—トイレの文化—。(水フォーラム新聞) (2003/3/16朝刊):. 2pp.
- 嘉田由紀子 (2003) 水と文化を考える—トイレ文化と水の衛生—。(京都新聞) (2003/3/18朝刊):. 15pp.
- 嘉田由紀子 (2003) 水と文化を考える—トイレ文化と水の衛生—。(日本海新聞) (2003/3/20朝刊):. 9pp.
- 嘉田由紀子 (2003) トイレ文化と水の衛生—し尿への親和と忌避。(読売新聞) (2003/3/20朝刊):. 9pp.
- 嘉田由紀子 (2003) .「生きた水」を誇りに—われら地球人—。(中日新聞) (2003/3/22朝刊):. 23pp.
- 嘉田由紀子 (2003) みずべの思い—子どもたちの報告。(京都新聞) (2003/3/26朝刊京都):. 11pp.
- 嘉田由紀子 (2003) 子どもの目で「水」を考える—32か国109人 滋賀などで世界フォーラム。(読売新聞) (2003/3/31朝刊):. 35pp.
- 嘉田由紀子 (2003) 世界水フォーラムにむけて。かけはし。しがぎん経済文化センター、大津。(102) . 2pp.
- 嘉田由紀子 (2003) 「子どもと水」が気になって。クローヨン。(クローヨンハウス)、東京。(8 (1)) . 43pp.
- 嘉田由紀子 (2003) 地域の水を守るために、私たちにできること。結。日立機電工業(株)、兵庫。(2) . 7-8.
- 嘉田由紀子 (2003) もしも蛇口がなかったら—世界子ども水フォーラムへの思い—。Mom. 22 (11) . 28-29.
- 嘉田由紀子 (2003) 水環境保全と水の有効活用—世界的見地からみる下水問題と日本の経験—。かんば資金。簡保資金振興センター。(297) . 10-15.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表など】

- 嘉田 由紀子 (2002年6月9日)「文化型としての所有制度と環境保全—日常的・自主的な法秩序構築の可能性と運動論—」。第20回法社会学会(法社会学会)。九州大学(福岡県福岡市)。[口頭発表]
- 嘉田 由紀子 (2003年3月13日)「比較所有論から見た資源と環境:アメリカ・アフリカ・日本」。2003年環境経済政策学会研修セミナー(環境経済政策学会)。京都大学芝蘭会館。京都大学。[口頭発表]

### 【研究プロジェクト等への参加】

- 文部科学省科学研究費 基盤研究B1「地域環境保全システムと環境政策の人類学的研究」研究分担者(2000—2003年度)
- 地球環境研究総合推進費「人間・社会・経済的側面からの地球環境研究。景観の変化から探る世界の水辺環境の長期

的トレンドに関する環境社会学的研究」研究代表者（2002-2004年度）  
河川環境管理財団河川関連研究「子どもと川のかかわりの再生」研究分担者（2002年度）

#### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

2002年度、環境社会学会、運営委員。  
投稿論文等の査読2件、2001~2002年、環境社会学。(有斐閣)。

#### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

2002年前期、京都精華大学環境社会学科、基礎ゼミ、セミナー担当  
2002年前期、京都精華大学環境社会学科、環境社会学、[授業]  
2002年前期、京都精華大学環境社会学科、調査演習準備、[授業]  
2002年後期、京都精華大学環境社会学科、基礎ゼミ、セミナー担当  
2002年後期、京都精華大学環境社会学科、環境社会学、[授業]  
2002年後期、京都精華大学環境社会学科、専門演習、セミナー担当  
2002年後期、京都精華大学環境社会学科、調査演習、セミナー担当  
2002年後期、京都市寄付講座:環境と文明Ⅱ、「水は誰のものか?—遠い水、近い水」、[授業]  
2002年後期、滋賀県立大学大学院集中講義:「琵琶湖環境論」、[授業]  
2002年後期、京都大学大学院集中講義:「人間と環境」、[授業]

## 博物館事業に関する業績

#### 【交流・サービス活動】

##### 他の博物館、組織・団体等の主催行事

2002年5月17日、「水辺の環境と人のつながり その復権をめざして」、土木学会四国支部特別講演会。(社)土木学会四国支部、ホテルクレメント徳島。(徳島県徳島市)、[特別講演]  
2002年6月1日、「水辺の環境と人のつながり その復権をめざして」、雨水利用連続セミナー。(京都雨水利用をすすめる会)、京エコロジーセンター。(京都府京都市)、[講演]  
2002年6月9日、「水のこと川のこと子どもと大人で考えよう」、(世界子ども水フォーラム・京都)、叡山閣。(滋賀県大津市)、[コーディネーター]  
2002年6月12日、「水のこと川のこと子どもと大人で考えよう」、第3回世界水フォーラムプレイベント。(世界子ども水フォーラム・京都)、(滋賀県大津市)、[コーディネーター]  
2002年6月23日、「わたしたちが変える『琵琶湖・淀川の未来』」、淀川水系流域シンポジウム。(淀川水系流域委員会)、京都府会館。(京都府京都市)、[パネリスト]  
2002年7月6日、「子どもたちと水をさがし、きき、はなしましょう」、第3回世界水フォーラムプレイベント。(世界子ども水フォーラム・京都)、清水寺円通殿大講堂。(京都府京都市)、[コーディネーター]  
2002年7月8日、「琵琶湖は日本人の心のふるさと—琵琶湖とともに30年—」、滋賀県立高島高等学校生き方講演会。(滋賀県立高島高等学校)、高島郡民会館。(滋賀県今津町)、[講演]  
2002年9月19日、「琵琶湖をめぐる環境パートナーシップの歴史的展開」、15周年記念公開パネル討論会。(社)環境科学会、立命館大学。(滋賀県草津市)、[基調講演]  
2002年10月5日、「水辺にまつわる景観の変遷と私たちの暮らし」、第3回世界水フォーラムプレイベント。(大津市都市景観室)、大津市ふれあいプラザホール。(滋賀県大津市)、[基調講演]  
2002年10月12日、「21世紀を生きる子どもたちのために」、第14回全国生涯学習フェスティバル参加行事国際シンポジウム。(財)上廣倫理財団、石川県立音楽堂。(石川県金沢市)、[パネリスト]  
2002年10月18日、「まちづくりへの子どもの参画」、まちづくりセミナー。(近畿河川流域自然学研究会)、コスモシアター。(大阪府貝塚市)、[パネリスト]  
2002年10月19日、「水のこと川のこと子どもと大人で考えよう」、第3回世界水フォーラムプレイベント。(世界子ども水フォーラム・京都)、叡山閣。(滋賀県大津市)、[コーディネーター]

- 2002年10月20日、「沖島に学ぶ琵琶湖のくらしと歴史」．ワイズメンズクラブ国際協会西日本区代7回びわこ部会.(近江八幡ワイズメンズクラブ)．沖島小学校.(滋賀県近江八幡市)．[記念講演]
- 2002年10月26日、「田園空間の地域づくりとエコミュージアム」．日本エコミュージアム研究大会.(日本エコミュージアム研究会)．立教大学.(東京都)．[パネリスト]
- 2002年10月29日、「もしも蛇口が止まったら」．水の文化交流フォーラム2002.(ミツカン水の文化センター)．江戸東京博物館.(東京都)．[コーディネーター]
- 2002年11月11日、「し尿文化とトイレの普及」．第三回世界水フォーラム・トイレ水循環国際シンポジウム/プレイベント.(トイレ・水循環国際シンポジウム実行委員会)．京都会館.(京都市)．[進行]
- 2002年11月16日、「21世紀の京都の水文化を考えるー世界にむけて誇れることは?ー」．第三回世界水フォーラム開催記念京都市公開シンポジウム.(京都市・(財)大学コンソーシアム京都)．京都市アバンティホール.(京都市)．[コーディネーター]
- 2002年12月4日、「水と私たちの暮らしー環境社会学の立場でー」．第三回世界水フォーラム開催記念京都市公開シンポジウム.(京都市・京都府立北稜高校)．京都府立北稜高校.(京都市)．[講演]
- 2002年11月18日、「23世紀の京都の水文化を考えるー世界にむけて誇れることは?ー」．第三回世界水フォーラム開催記念京都市公開シンポジウム.(京都市・(財)大学コンソーシアム京都)．京都市アバンティホール.(京都市)．[コーディネーター]
- 2003年1月13日、「水を考える」．加藤登紀子の未来たち学校.(鴨川市・鴨川の環境を守るネットワーク)．鴨川市民会館.(千葉県)．[講演]
- 2003年2月1日、「淡海の川づくりフォーラム」．第三回世界水フォーラムプレイベント.(淡海の川づくり検討委員会)．ピアザ淡海.(大津市)．[コーディネーター]
- 2003年2月1日、「加藤登紀子と未来たち学校」．第三回世界水フォーラムプレイベント.(大津市)．竹林院.(大津市)．[コーディネーター]
- 2003年2月22-3日、「水を守ろうin下鴨神社」．水を学ぼう子ども車座会議.(京都市・世界子ども水フォーラム・京都)．下鴨神社.(京都市)．[コーディネーター]
- 2003年3月20日、「流域管理と住民参加」．第三回世界水フォーラム分科会.(淡海の川づくり検討委員会)．大津プリンスホテル.(大津市)．[コーディネーター]

#### 視察対応

2001年2月1日．滋賀県教育委員会．[視察対応]

#### 【資料整備活動】

##### その他の資料整備活動

2001年3月1日．魚類50点．国立民族学博物館．[同定・整理]  
古写真収集．2002年度．世界の湖沼古写真．レマン湖博物館など．収集、保存整理

## 館内人事、館外活動等に関すること

#### 【館内の人事】

2002年4月～．研究顧問

#### 【海外渡航】

2002年7月20日～9月5日．アフリカ、マラウイ湖、南アフリカ、ヨハネスブルグ．マラウイ湖調査、ヨハネスブルグ国連環境会議参加

#### 【館外の活動】

2002年度．日本学術振興会、「アジア地域の環境保全」研究推進委員会．[委員]

2002年度. 滋賀県科学技術振興会, 滋賀県科学技術振興会議, [委員]  
2002年度. 滋賀県大学等学術文化振興財団, [理事]  
2002年度. 環境省, 環境審議会, [委員]  
2002年度. 奈良国立文化財研究所, 指導委員会, [委員]  
2002年度. 国土交通省近畿地方整備局, 近畿圏長期ビジョン, [委員]  
2002年度. 国土交通省近畿地方整備局, 淀川水系流域委員会, [委員]  
2002年度. 国土交通省近畿地方整備局, 淀川水系流域委員会琵琶湖部会, [委員]  
2002年度. 国土交通省近畿地方整備局, 淀川水系流域委員会住民参加部会, 副部会長  
2002年度. 滋賀県, 環境審議会, 委員  
2002年度. 滋賀県, 琵琶湖利用適正化委員会, 委員  
2002年度. 滋賀県, 淡海の川づくり懇話会, 常任委員  
2002年度. 滋賀県, 湖西地域振興局森と里の湖のミュージアム構想懇話会, コーディネーター  
2002年度. 滋賀県小児医療センター, 治験委員会, 委員  
2002年度. 彦根市, 市史編纂委員会, 委員

研究においては、古琵琶湖層の時代でもある約500万年以降の脊椎動物化石の変遷を東アジア全体の環境史の中で捉えようとしている。この研究のために、総合研究、共同研究、専門研究を組み合わせで行っている。

今年度は、古琵琶湖層の時代の動物たちについて、大分県安心院町の発掘報告をまとめたことをきっかけにして、鮮新世から前期更新世のシカ類について考察することができた。また後期更新世末期の動物相についても、中国安徽省での調査や北海道でのナウマンゾウとマンモスゾウの気候変化に伴う入れ替わりのデータも得ることができ、成果が得られた。

また、琵琶湖地域の脊椎動物化石の研究を進めるために行った本年度の主な活動は以下のとおりである。

- 海外調査：4月28日～5月7日 岡村喜明氏(草津市)と共に古琵琶湖時代のシカ類化石同定のためタイにおいて現生シカ類の角の形態調査を行った。7月1日～15日 琵琶湖博物館の共同研究およびタイの調査と関連してインドネシアにおいて現生シカ類、脊椎動物化石などの調査を行った。8月3日～15日 琵琶湖博物館の総合研究に關 連して中華人民共和国安徽省にてゾウ化石を中心とする脊椎動物化石調査に出かけた。このことについては、1月26日日本古生物学会152回例会(横浜国立大学)にて「安徽省から発見される *Palaeoloxodon huaihoensis* について」として張鈞翔(台湾国立自然科学博物館)・神谷英利(京都大学)・鄭龍亭(安徽省博物館)と連名で講演した。
- 国内調査：10月10日～12日 共同研究に關 係して、北海道札幌市開拓記念館および湧別町におけるナウマンゾウ調査を行った。12月22日～25日 共同研究に關 係して、静岡県浜松市佐浜におけるナウマンゾウタイプ産出地の再発掘へ参加した。また、11月5日～14日の間、総合研究の協力者の安徽省博物館鄭龍亭研究員を日本に招へいし、研究打合せを行った。

交流・サービス事業に関しては、新しいはしかけグループである「ほねほねくらぶ」を設立し、毎月1回の活動を行い、博物館の展示、資料収集の充実に努めている。3月にはシンポジウム「使える琵琶湖博物館をめざしてー研究推進型博物館をどう利用するかー」を中心になって開催したが、この準備のため年度後半からは力を注ぎ、当日は150名ほどの参加者が集まり熱心な討議が行われた。その結果は報告書としてまとめた。

展示事業では長い間補修を続けてきた「びわ湖のおいたち」展示室の「亜熱帯の湖」の展示変えを行った。また、英文のガイドブックの製作にも深く関わりこの2つの展示事業で多くの時間を費やした。

## 印刷物

### 【専門分野の著作】

- 高橋 啓一 (2002) 本の紹介「安心院化石動物群」. 化石研究会会誌. 化石研究会. 35, 1, 20?21.
- 高橋 啓一 (2003) 書評：遠藤秀樹著「哺乳類の進化」. 第四紀研究. 日本第四紀学会. 42, 122-123.
- 高橋 啓一 (2003) アケボノゾウ. 琵琶湖流域研究会(編). 琵琶湖流域を読む. サンライズ出版, 彦根. 上: 179-181.
- 高橋 啓一 (2003) 日野川流域にみられる蒲生累層の古環境. 琵琶湖流域研究会(編). 琵琶湖流域を読む. サンライズ出版, 彦根. 下: 22-26.

### 【一般向けの著作】

- 高橋 啓一 (2002) 琵琶湖四方山話「"四方山"のよもやま話」. 湖国と文化. (財)滋賀県文化振興事業団. 冬, 92-95

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表など】

- Satoguchi, Y., Miyamoto, S., Takahashi, K. and Yamakawa, C. 2002年11月23-24日. The Karasuma deep-boring

core and activities of the Lake Biwa Museum. *International Continental Scientific Drilling Program*.  
京都大学. (京都)

Goto, S., Hamamoto, H., Yamano, M. and Takahashi, K. 2002年11月28-29日. Ground-surface temperature history inferred from borehole temperature profile. *International Paleoclimate Reconstruction Workshop*. 愛媛大学 (松山)

高橋 啓一. 2002年12月15日. 鮮新-更新世の日本の哺乳動物相を考える3つの旅. 地学団体研究会京都支部例会. 地学団体研究会京都支部. 琵琶湖博物館 (草津)

高橋 啓一・張 鈞翔・神谷 英利・鄭 龍亭. 2003年1月26日. 安徽省から発見される *Palaeoloxodon huaihoensis* について. 日本古生物学会第152回例会. 日本古生物学会. 横浜国立大学 (横浜)

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館総合研究「東アジアの中の琵琶湖, その成立と人間生態系の比較研究」研究分担者 (1996~2006年度)  
琵琶湖博物館共同研究「島の動物相の成立過程-古琵琶湖時代の動物相の特殊性解明に向けて」研究代表者 (2001~2003年度)

琵琶湖博物館専門研究「ナウマンゾウの舌骨にみられる変異と種の特徴」研究代表者 (2002年)

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

日本第四紀学会. [委員・編集委員]

化石研究会. [委員・運営委員]

全国科学博物館協議会ニュース. [委員・編集委員]

地学団体研究会. 地球科学. [査読・1件]

日本第四紀学会. 第四紀研究. [査読・1件]

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス活動】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

琵琶湖博物館. 2002年6月2日~. 連続講座. 琵琶湖博物館 (草津市) [運営・講師]

琵琶湖博物館. 2002年7月~. はしかけ「ほねほねくらぶ」. [運営]

琵琶湖博物館. 2002年7月28日. 夏休み自由研究講座. 琵琶湖博物館 (草津市) [運営]

琵琶湖博物館. 2002年9月29日. 観察会. 野洲川河原・水口こどもの森. 甲西町・水口町. [案内]

琵琶湖博物館. 2003年3月2日. 「使える」琵琶湖博物館をめざして. シンポジウム. 琵琶湖博物館 (草津市) [運営]

#### 他の博物館、組織・団体等の主催行事

滋賀県高等学校理科教育研究会. 2002年5月16日. 総会研修. 琵琶湖博物館 (草津市) [講師]

石部高校. 2002年7月22日~26日. 夏期集中講義「琵琶湖探求」. 琵琶湖博物館 (草津市) [講師]

全国手話通訳問題研究集会. 2002年8月24日. 第35回全国手話通訳問題研究集会IN滋賀. 大津市市民会館. 大津市. [講師]

滋賀県総合教育センター. 2002年9月12日. 経験者研修. 琵琶湖博物館 (草津市) [講師]

滋賀県職放射線技師会. 2002年10月5日. 研修会. 栗東芸術文化会館. 栗東市. [講師]

中国安徽省研究者の受入. 2003年11月5日~14日. 研究交流. 琵琶湖博物館 (草津市) [招へい]

新堂中学校. 2002年11月21日. 職場体験実習. 琵琶湖博物館 (草津市) [講師]

安曇川中学校. 2002年12月3日. 環境学習. 琵琶湖博物館 (草津市) [講師]

多賀の自然と文化の館. 2003年2月8日. 研究報告出版方針検討会. 多賀の自然と文化の館 (多賀町) [委員]

伊賀地区文化財委員連絡協議会. 2003年3月25日. 研修会. 伊賀町歴史資料館 (伊賀町) [講師]

### **研修会・視察対応**

京都教育大学環境学コース研修. 2002年6月22日. 環境学コース学生への資料整備の説明. 地学収蔵庫  
関西大学博物館実習見学. 2002年7月28日. 設立経緯, 理念, 研究組織, 展示の特徴の説明と収蔵庫見学. ホール,  
地学収蔵庫  
慶応大学教授. 2002年10月31日. 展示室見学案内. 展示室  
中国科学院古脊椎動物・古人類研究所教授. 2003年3月1日. 展示室・収蔵庫見学案内. 展示室・収蔵庫  
中国環境省. 2003年3月3日. 展示室見学案内. 展示室・収蔵庫  
福岡県教育委員会. 2003年3月7日. 概要説明. 展示室案内. 展示室

### **【資料整備活動】**

脊椎動物化石標本の購入 [主担当]  
タイ産現生シカ頭骨レプリカ購入 [主担当]  
脊椎動物標本の購入 [主担当]  
地学標本の資料採集・データ-収集 [主担当]

### **【展示活動】**

琵琶湖博物館英文ガイドブック制作. 2003年3月発行 [副担当]  
亜熱帯の湖展示変え. 2003年2月完成 [副担当]

### **【企画調整事業】**

館長対談. 2002年4月1日. うみんど掲載用館長対談の準備と原稿作成 [主担当]  
シンポジウム「"使える"琵琶湖博物館をめざして」開催. 2002年3月2日 [主担当]

## **館内人事、館外活動等に関すること**

### **【館内の人事】**

研究部環境史研究担当. 2002年. リーダー

### **【海外渡航】**

2002年4月28日～5月7日. バンコク (タイ). タイ産現生シカ類角の形態調査  
2002年7月1日～7月15日. ジャカルタ, バンドン等 (インドネシア). 共同研究に伴う調査  
2002年8月3日～8月13日. 安徽省 (中国). 総合研究に伴う調査

### **【館外の活動】**

2002年. 花巻市博物館 (仮称) の展示物製作指導. 花巻市博物館建設推進室. [指導・助言]  
2002年. 香川県自然科学館. 研究 [指導]  
2002年. 大津市科学館運営協議会. [委員・副会長]

コイ科魚類の咽頭歯の研究を通じて、湖と人間のかかわりの歴史を考えている。2002年度の研究活動は、琵琶湖博物館の研究プロジェクトとして、総合研究「東アジアの中の琵琶湖 - コイ科魚類の展開を軸とした - 環境史に関する研究」(以下総研「東アジア」、共同研究「滋賀県内の魚類分布調査および琵琶湖博物館収蔵魚類標本の充実」(以下共研「魚分布」)を行ってきた。館外の研究プロジェクトとしては、富山第一銀行奨学財団助成事業研究プロジェクト「学際的観点からの日本海地域文化に関する総合研究」(以下「日本海」プロジェクト)および奈良県田原本町「唐古・鍵遺跡」共同研究を行ってきた。

共研「魚分布」では、「はしかけ」さんに、参加していただいている「うおの会」の活動をさらに本格化させ、滋賀県全域の調査をほぼ終えた。そのデータの整理にかかった。共研「魚分布」で明らかにした魚の分布の状況をどのように解釈するかを総研「東アジア」の中で考えてきた。それは2001年度から2002年度の一連の成果(中島, 2001, 琵琶湖魚たちのおいたちを考える。月刊地球; 2002, 琵琶湖の魚類相の成立 - 琵琶湖への環境史的アプローチ。地球環境)として発表してきた。総研「東アジア」で行ってきた、鳥浜貝塚(縄文前期)、下之郷遺跡(弥生中期)などからの咽頭歯遺体の分析の成果があたりはじめ、各種報告書などにまとめられつつある。また、西日本における縄文文化と弥生文化の関係を淡水漁撈の観点から考察できるようになった(中島, 2003, 淡海の魚から見た稲作文化)。これらの成果は、International Conference of Zooarcheology, Durham 2002 (Durham University, England)で発表し、その内容を投稿中である。

## 印刷物

### 【学術論文】

中島経夫 (2002) 琵琶湖の魚類相の成立 - 琵琶湖への環境史的アプローチ。地球環境, 7(1):47-58.

### 【専門分野の著作】

中島経夫 (2003) 淡海の魚から見た稲作文化。守山市教育委員会(編)「弥生のなりわいと琵琶湖 - 近江の稲作漁労民」pp.70-91. サンライズ出版, 彦根.

### 【一般向けの著作】

中島経夫 (2002) 琵琶湖四方山話 2, たんぼと琵琶湖の魚。湖国と文化, 100号, pp.94-95, 滋賀県文化振興事業団.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表など】

Nakajima, T. (2002年8月28日) *Freshwater fisheries during the Jomon and Yayoi periods in Japan.*  
International Conference of Zooarcheology, Durham 2002, Durham University (Durham)

中島経夫 (2002年11月2日) 日本列島におけるコイ科魚類相の成立と人間活動とのかかわり。環日本海研究会, 天理参考館.

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館総合研究「東アジアの中の琵琶湖 - コイ科魚類の展開を軸とした - 環境史に関する研究」研究代表者  
琵琶湖博物館総合研究「博物館資料の収集・整理・保管と理容に関する研究」研究分担者  
琵琶湖博物館共同研究「滋賀県内の魚類分布調査および琵琶湖博物館魚類標本の充実」研究副代表

琵琶湖博物館専門研究「コイ科魚類の咽頭歯に関する研究」

富山第一銀行奨学財団助成事業研究プロジェクト「学際的観点からの日本海地域文化に関する総合研究 富山からの  
展望と提言」研究分担者

奈良県田原本町唐古・鍵遺跡共同研究

### 【大学での講義・実習、学生の指導など】

講義（2002年11月18・25日）生物多様性と文化. 滋賀県立大学大学院講義「生物多様性論」

講義・実習（2002年9月26日）博物館とは. 桃山学院大学学芸資格取得コース実習.

講義（2002年12月24, 25, 26日）博物館学III. 香川大学教育学部集中講義

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス活動】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

中島経夫（4月15日）琵琶湖博物館の概要. 琵琶湖博物館新任職員研修.

中島経夫（4月16日）琵琶湖博物館の魚類化石展示. 新任展示交流員研修.

#### その他の博物館、組織、団体等の行事

中島経夫（2002年4月14日）琵琶湖湖辺域の魚の分布をどう把握し、どう解釈するか. ボテジャコトラスト主催講演会, 滋賀県立琵琶湖博物館.

中島経夫（2002年4月19日）琵琶湖の歴史と生き物たちの生い立ち. レイカディア大学専門講座, 滋賀県立琵琶湖博物館.

中島経夫（2002年7月12日）琵琶湖と人間のかかわり. 大津日赤看護学校見学会講演, 滋賀県立琵琶湖博物館.

中島経夫（2002年9月11日）コイ科魚類の咽頭歯. 奈良女子大学付属小学校宿泊見学会講義, 滋賀県立琵琶湖博物館.

中島経夫（2002年10月18日）自然環境の変遷と人間活動. 知的障害者連絡協議会講演会, 滋賀県立琵琶湖博物館.

中島経夫（2002年11月16日）琵琶湖の環境. 近江歴史街道研究会講演, 滋賀県立琵琶湖博物館.

中島経夫（2003年1月26日）琵琶湖からの国際交流. 滋賀県関西国際交流機構講演, 滋賀県立琵琶湖博物館.

中島経夫（2003年1月26日）咽頭歯とは何か、それから何がわかるか. 琵琶湖博物館はしかけ咽頭歯倶楽部講演, 滋賀県立琵琶湖博物館.

中島経夫（2003年3月21日）その後のうおの会. 水フォーラム関連シンポジウム「その後の夢?舞メント」, 滋賀県立体育館.

中島経夫（2003年3月22日）琵琶湖の魚たちの現状. 県民公開シンポジウム「新しい琵琶湖の釣りルール」, 大津プリンスホテル.

#### 研究会・視察対応

琵琶湖博物館概要説明・展示案内 47件

#### はしかけ活動

うおの会

(2002年4月11日) News letter no.10 (発行)

(2002年4月28日) 第7回定例調査(実施) 調査地: 湖北町・高月町

(2002年5月2日) News letter no.11 (発行)

(2002年5月26日) 外来魚一斉駆除の日(協力)

(2002年6月23日) 第8回定例調査(実施) 調査地: 長浜市・山東町

(2002年8月3日) 守山・びわ湖ブルーギル撲滅釣り大会2002(共催)

(2002年8月4日, 6日) 日本ボーイスカウト滋賀連盟主催「第13回日本ジャンボリー滋賀プログラム」(協力)

(2002年8月7日) News letter no.12 (発行)

- (2002年9月8日) 第9回定例調査(実施) 調査地:多賀町・甲良町
- (2002年9月17日) News letter no.13(発行)
- (2002年11月3日, 4日) 兵庫県立人と自然の博物館主催「ボランティアメッセ」参加
- (2002年11月24日) 第10回定例調査(実施) 調査地:彦根市
- (2003年1月26日) 琵琶湖外来魚シンポジウム「外来魚の回収を考える」の共催
- (2003年2月7日) News letter no.14(発行)
- (2003年2月23日) 第3回うおの会総会(開催)
- (2003年2月28日) News letter no.15(発行)
- (2003年3月16日) 定例調査事前会議(開催)
- (2003年3月21日) 第3回世界水フォーラム関連「琵琶湖水フェア」NPO夢〜舞めんと滋賀(参加)
- (2003年3月27日) 第2期プロジェクトのための実測(実施)

**咽頭歯倶楽部**

- (2003年1月26日) 咽頭歯倶楽部立ち上げの会(開催)
- (2003年3月16日) 打ち合わせ会(開催)
- (2003年3月27日) 標本製作の実習(開催)

**【情報整備活動】**

魚類標本データベースの整備

研究・事業活動紹介のための個人インターネットページの開設および更新

**【資料整備活動】**

魚類標本4,676件登録(累計39,809件登録)

魚理標本計39,809件の維持・管理(貸出, 液交換等を含む作業)

**【展示活動】**

琵琶湖博物館第11回企画展「外来生物 つれてこられた生き物たち」の準備活動

**モーニングレクチャー**

2003年1月7日, 8日, 9日 コイ科魚類の咽頭歯

**館内人事、館外活動等に関すること**

**【海外渡航】**

2002年5月10日～5月24日 中国湖北省武漢市, 中国科学院水生生物研究所, 同研究所附属淡水魚博物館収蔵魚類標本の調査

2002年8月24日～9月1日 イギリス, ダーラム市, ダーラム大学, International Conference of Zooarcheology, Durham 2002に参加, 研究発表.

**【館外の活動】**

滋賀県立大学大学院非常勤講師

香川大学教育学部非常勤講師

奈良県田原本町唐古・鍵遺跡共同研究委員

かねてより研究会を開催してきた淡海学術研究フォーラム「琵琶湖がつくる近江の歴史」研究会活動のまとめとして、『城と湖と近江』を2002年度に刊行することができた。現地調査と研究発表を主に行ってきた活動であるが、県内の多くの研究者の寄稿を掲載することができ、また資料編も掲載できたため、編集者として非常に喜ばしい成果物であった。個人的にも中世城郭の琵琶湖と関わる意義づけを行うことができた。

また、かつて行った企画展示の総括となる琵琶湖博物館研究調査報告書を刊行した。ここでは、琵琶湖博物館開設準備室時代からの体系だった博物館活動をとりまとめることができ、また琵琶湖最後の船大工・松井三四郎さんの参加したシンポジウム記録を盛り込むことができた。記録としても将来的に意義のあるものになるだろう。

その他、中世の山岳寺院の研究も機会を与えられて行うことができ、その成果の一部は、伊吹町のシンポジウムで発表した。また、上記の淡海学術研究フォーラムでフィールドに取り上げた佐和山城に関わる地域での近世遺跡の発掘調査の紹介も『湖国と文化』紙に載せることができた。

なお、2年前に「湖上交通史の画期と特質および丸子船の意義」と題する論文を滋賀大学経済学部附属史料館の研究紀要に発表したのが、これが年度末に刊行された2000年度の日本史学年次別論文集に再録された。ある意味で学界において評価されたものとする。

展示活動として、昨年度に引き続き『湖の十字路-野洲川平野の弥生・古墳時代-』を開催し、野洲川下流域の市や町の教育委員会と協力して事業を行うことができた。今後もこうした地域に結びついた活動を行っていきたい。

また、館外活動として、能登川町亀塚古墳の発掘調査指導を行ってきたが、この調査が多くの成果を上げることができ、また将来的に史跡指定をも視野に入れた道筋ができあがってきた。関係者として非常にうれしく思う。今後も、こうした前方後円墳の出現、古代国家成立前夜の集団関係について、一つのテーマとしていきたい。

## 印刷物

### 【学術論文】

用田政晴（2002）湖上交通史の画期と特質および丸子船の意義. 学術文献刊行会. 日本史学年次別論文集 日本史学一般2000年. 朋文出版, 東久留米市. 319-327

### 【専門分野の著作】

用田政晴（2002）「環境こだわり県」の博物館が地域観光の拠点に. 井口貢. 観光文化の振興と地域社会. ミネルヴァ書房, 京都市. 179-189

用田政晴（2002）湖上交通史における佐和山城の史的意義. 琵琶湖がつくる近江の歴史研究会. 城と湖と近江. サンライズ出版, 彦根市. 66-72

用田政晴（2002）矢橋城 要港警護を勤めた矢橋氏の居城. 琵琶湖がつくる近江の歴史研究会. 城と湖と近江. サンライズ出版, 彦根市. 218-226

用田政晴（2003）企画展『湖の船』開催史と博物館活動の中での位置. 用田政晴. 琵琶湖博物館研究調査報告書第19号. 琵琶湖博物館, 草津市. 1-5

### 【一般向けの著作】

用田政晴（2002）『湖の十字路』からフィールドへ. うみんど22号. 琵琶湖博物館. 7

用田政晴（2002）中世山岳寺院弥高寺の特質. 京極氏の城、館、庭園. 伊吹町教育委員会, 伊吹町. 20-23

用田政晴（2003）琵琶湖四方山話 松原内湖の火薬庫. 湖国と文化第103号. 滋賀県文化振興事業団, 大津市. 92-95

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表など】

用田政晴（2002年7月4日）人と琵琶湖の関係史。琵琶湖博物館連続講座「湖と人間」。琵琶湖博物館。琵琶湖博物館。草津市

用田政晴（2002年8月16日）出現期前方後方墳研究の課題。琵琶湖博物館研究セミナー。琵琶湖博物館。琵琶湖博物館。草津市

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究（2002年）。「近江の普遍性と固有性に関する考古学的研究」

淡海学術研究フォーラム（2002年）。「環琵琶湖地域の生態、文化と保存修景」琵琶湖がつくる近江の歴史研究会。  
[共同提案者]

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

アジア考古学研究機構 [代表]

日本考古学協会滋賀大会 [実行委員]

### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

琵琶湖博物館博物館学実習。8月8日。琵琶湖博物館の展示

昭和女子大学博物館学芸員課程。9月27日。琵琶湖博物館の施設・展示・資料保存

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス活動】

#### 他の博物館、組織・団体等の主催行事

滋賀県神社庁守山野洲支部（2002年5月30日）野洲川平野の弥生・古墳時代。琵琶湖プラザ。守山市

滋賀県総合教育センター（2002年9月12日）展示について。教職経験者研修。琵琶湖博物館。草津市

伊吹町弥高区（2002年9月20日）弥高百坊について。弥高百坊学習会。伊吹町弥高集会所。伊吹町

伊吹町教育委員会（2002年10月20日）中世山岳寺院・弥高寺跡の特質。伊吹戦国浪漫シンポジウム。伊吹薬草の里文化センター。伊吹町

#### 研修会・視察対応

北九州歴史博物館。2002年5月23日

JICA。2002年5月24日

安土城考古博物館。2002年5月26日

静岡県博物館準備室。2002年6月7日

一宮市博物館。2002年8月31日

JICA。2002年9月3日

フィンランド学校。2002年10月10日

伊吹山歴史文化資料館。2003年1月18日

仙台市歴史民俗資料館。2003年3月11日

明治大学。2003年3月12日

大内山村教育委員会。2003年3月25日

### 【資料整備活動】

考古資料. 配架整理. 100 [主担当]

民俗文化財資料. 資料写真撮影. 1000 [副担当]

### 【展示活動】

湖の十字路. 3月20日～5月12日. ギャラリー展示. 琵琶湖博物館 [主担当]

今森光彦原画展 うろこの輝きに魅せられて. 5月18日～6月15日. ギャラリー展示. 琵琶湖博物館 [副担当]

### 【企画調整事業】

月曜開館行事. 8月毎週月曜日. 準備 設営 撤収. 琵琶湖博物館 [主担当]

子ども水フォーラム. 8月20日. 博物館側主担当. 琵琶湖博物館 [主担当]

## 館内人事、館外活動等に関すること

### 【海外渡航】

7月25日～8月1日. トルコ・ギリシャ. 博物館調査

9月22日～26日. 中国東北部. 遺跡調査

11月18日～21日. 香港. 博物館調査

### 【館外の活動】

能登川町神郷亀塚古墳発掘調査指導委員会委員 (2002)

秦荘町歴史文化資料館運営委員会委員 (2002)

企画展副担当者であったため、そちらの業務にほとんどを費やすこととなった。企画展のテーマである中世の庶民生活は、本来の研究テーマではなかったが、企画展を準備するにあたって立ち上げたはしかけグループ「中世なんでも探検隊」の活動を通して、地域住民の協力を得ながら伝統文化の復元と継承に関する研究を行ない、その成果を展示するという手法について実践しながら学ぶことができた。こうした手法や活動経験については、いくつかの講演にて紹介する機会を得た。この経験を来年度以降の舟などの研究にも活用したいと思う。

## 印刷物

### 【一般向けの著作】

- 松井三四郎、松井三男、出口晶子、牧野久実 (2002.3) 企画展『湖の船』記念講演会。用田政晴。琵琶湖博物館研究調査報告書第19号。琵琶湖博物館、草津市。7-23
- 橋本道範、牧野久実、矢野晋吾 (2002) 企画展『中世のむら探検』ガイドブック。琵琶湖博物館第10回企画展示図録。琵琶湖博物館、草津市。127

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表など】

- 牧野久実 (2002年7月28日) 中世なんでも探検隊について。琵琶湖博物館連続講座。琵琶湖博物館。琵琶湖博物館、草津市 [発表]
- 牧野久実 (2002年10月18日) 中世なんでも探検隊と企画展。琵琶湖博物館研究セミナー。琵琶湖博物館。琵琶湖博物館、草津市 [発表]
- 牧野久実 (2002年10月19日) キンネレット湖の考古学。歴史研究会。守山市埋蔵文化財センター。守山市埋蔵文化財センター、守山市 [発表]
- 牧野久実 (2002年11月2日) イスラエルの人と文化。国際協力入門セミナー。兵庫県国際交流協会。ひょうご国際プラザ、神戸市 [発表]
- 牧野久実 (2002年11月23日) ヘレニズム時代のエンゲヴ出土土器について。西アジア考古学学会。西アジア考古学学会。天理大学、奈良県天理市 [発表]
- 牧野久実 (2002年12月4日) キンネレット湖の考古学 (コハビ教授講演)。考古学科研究セミナー。天理大学。天理大学、奈良県天理市 [通訳]
- 牧野久実 (2002年12月7日) キンネレット湖の考古学 (コハビ教授講演)。記念公開講演会。立教大学。立教大学、東京都 [通訳]

### 【研究プロジェクト等への参加】

- 文部科学省科学研究費調査「土壌に含まれる有機遺物の採集・分析法の開発—低湿地遺跡出土の動植物遺体—」研究分担者 (2001年度)
- 文部科学省科学研究費調査「イスラエル国ガリラヤ湖周辺地域の宗教文化についての総合研究」研究分担者 (2002年度)

### 【大学での講義・実習、学生の指導など】

- 夏期集中講義「琵琶湖探究」。牧野久実。7月25日～26日。昔の生活について。石部高校3年
- 夏期集中講義「琵琶湖探究」。牧野久実。7月25日～26日。昔の交通手段について。石部高校3年

教職研修者研修、牧野久実、2002.9.24,26. B展示室について、教職研修者  
職場体験、牧野久実、2002.11.20,21. 企画展について、草津新堂中学校  
特別研修、牧野久実、2003.2.14. 丸子船について、東宇治高校

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス活動】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

4月13日、中世なんでも探検隊、葦葺き、琵琶湖博物館アトリウム、滋賀県草津市、運営  
4月14日、中世なんでも探検隊、葦葺き、琵琶湖博物館アトリウム、滋賀県草津市、運営  
4月20日、中世なんでも探検隊、葦葺き、琵琶湖博物館アトリウム、滋賀県草津市、運営  
4月21日、中世なんでも探検隊、葦葺き、琵琶湖博物館アトリウム、滋賀県草津市、運営  
7月14日、中世なんでも探検隊、企画展準備、琵琶湖博物館企画準備室、滋賀県草津市、運営  
1月31日、丸子船探検隊、立ち上げ、琵琶湖博物館、滋賀県草津市、運営  
7月27日、体験学習、機織り体験、琵琶湖博物館企画展示室、滋賀県草津市、運営  
8月10日、体験学習、遊び体験、琵琶湖博物館実験工房、滋賀県草津市、運営  
8月24日、体験学習、七夕体験、琵琶湖博物館実験工房、滋賀県草津市、運営  
4月25日、質問コーナー、琵琶湖博物館図書情報利用室、滋賀県草津市、担当  
4月30日、質問コーナー、琵琶湖博物館図書情報利用室、滋賀県草津市、担当  
5月24日、質問コーナー、琵琶湖博物館図書情報利用室、滋賀県草津市、担当  
7月2日、質問コーナー、琵琶湖博物館図書情報利用室、滋賀県草津市、担当  
8月13日、質問コーナー、琵琶湖博物館図書情報利用室、滋賀県草津市、担当  
9月18日、質問コーナー、琵琶湖博物館図書情報利用室、滋賀県草津市、担当  
10月23日、質問コーナー、琵琶湖博物館図書情報利用室、滋賀県草津市、担当  
10月30日、質問コーナー、琵琶湖博物館図書情報利用室、滋賀県草津市、担当  
11月1日、質問コーナー、琵琶湖博物館図書情報利用室、滋賀県草津市、担当  
2月27日、質問コーナー、琵琶湖博物館図書情報利用室、滋賀県草津市、担当

#### 研修会・視察対応

椋山女学園大学文科情報学部、2002年4月6日、展示案内、琵琶湖博物館  
椋山女学園大学文科情報学部、2002年7月6日、展示案内、琵琶湖博物館  
天理大学考古学科、2002年8月13日、展示案内、琵琶湖博物館  
福島県立博物館、2002年11月22日、はしかけの活動について、琵琶湖博物館  
浦安郷土博物館、2003年2月27日、はしかけの活動について、琵琶湖博物館

#### テレビ・ラジオ等への出演・協力

4月21日、NHK、葦葺きと企画展  
7月10日、さんさんわいど滋賀、KBSラジオ、企画展  
7月30日、NHK、企画展  
9月5日、遠足テレビ！、関西テレビ、博物館撮影下準備  
10月25日、京滋インセンティブツアー誘致ビデオ、(株)メディアブレーション、館内  
10月30日、明日どこいこ、阪神ケーブルテレビハービススタジオ、館内  
11月7日、水フォーラム関連ビデオ、KBS京都、丸子船  
1月8日、読売テレビ、館内外  
1月11日、びわこ放送、館内外  
1月16日、KBS京都、館内外  
2月21日、英国国营放送、琵琶湖全般

- 2月26日. テレビ東京. 館内
- 2月28日. いくよくるよのしっとこ滋賀. KBSラジオ. もよおしもの
- 3月11日. びわこ放送. 水族企画展
- 3月13日. びわこ放送. (株)メディアブレイン. ギャラリー展
- 3月14日. 滋賀ネット. 水族企画展およびギャラリー展

**印刷メディアへの出演・協力**

- 4月21日. 京都新聞. 葦葦と企画展
- 5月2日. 京都新聞. カミツキガメ取材
- 6月6日. 関西ウォーカー. 博物館取材
- 6月10日. コープ神戸支社. 電話取材
- 7月18日. 中日新聞. 企画展
- 7月29日. 毎日新聞. 企画展
- 8月2日. 京都新聞. 企画展
- 8月14日. 産経新聞. 企画展
- 9月5日. 産経新聞. 企画展
- 11月20日. 朝日新聞. 400万人記念行事
- 11月20日. 京都新聞. 400万人記念行事
- 12月11日. 週刊「鉄道の旅」. (株)浩気社. 館内. 2003年4月1日発行
- 1月8日. 京都新聞. 丸子船
- 1月11日. 広報課. 館内外
- 1月18日. 京都新聞. 丸子船
- 2月18日. 日本建設工業新聞社. 琵琶湖全般

**【展示活動】**

平成14年度企画展. 実施設計 運営. 琵琶湖博物館 [副担当]

- 4月17日. 交流員新人研修. B展説明. 琵琶湖博物館
- 9月24日. 交流員新人研修. B展説明. 琵琶湖博物館
- 9月26日. 交流員新人研修. B展説明. 琵琶湖博物館
- 7月25日. 特別モーニングレクチャー. 企画展説明. 琵琶湖博物館企画展示室
- 7月26日. 特別モーニングレクチャー. 企画展説明. 琵琶湖博物館企画展示室
- 7月30日. 特別モーニングレクチャー. 企画展説明. 琵琶湖博物館企画展示室
- 2月3日. モーニングレクチャー. 展示におけるボランティア活動について. 琵琶湖博物館B展示室
- 2月4日. モーニングレクチャー. 展示におけるボランティア活動について. 琵琶湖博物館B展示室
- 2月5日. モーニングレクチャー. 展示におけるボランティア活動について. 琵琶湖博物館B展示室
- 平成14年度. 交流員と話そう (清水交流員). 指導. 琵琶湖博物館B展示室
- 平成14年度. 交流員と話そう (岩見交流員). 指導. 琵琶湖博物館歴史研究室

**【企画調整事業】**

2002年度. 広報 [主担当]

- 7月22日. 月曜開館特別ツアー. 企画展案内. 琵琶湖博物館企画展示室
- 11月10日. 開館6周年記念行事. 茂山千之丞氏企画展案内. 琵琶湖博物館企画展示室 [案内]
- 11月16日. 400万人記念行事. 琵琶湖博物館アトリウム [司会]

研究テーマは、「新生代の植物化石の研究」とし、分類学および系統学的研究や化石植物群の組成解析による古植生の復元、古植物相の変遷や古気候推定などを明らかにすることを目的にしている。

今年度の研究活動は、総合研究「博物館資料の収集・整理・保管と利用に関する研究」、と共同研究「琵琶湖堆積盆地の後期鮮新世約250万年前前後の古環境変化と古植生変化」を軸に、古琵琶湖層群や滋賀県の地質に関連した新生代の植物化石を題材に取り組んでいる。

1. 古琵琶湖層群産シダの葉化石：水口町水口大橋付近の野洲川河床に分布している古琵琶湖層群の迫火山灰層下部からシダ植物の葉化石が産出した。化石は *Onoclea* cf. *O. sensibilis* var. *interrupta*, *Davalliaceae* *D. mariesii* など4種を同定し、その記載と堆積環境の考察を行っている。年代は約230万年前後期鮮新世にあたり、新第三紀以降産出数が少ないシダ植物の化石記録として貴重な資料と言える。
2. 伊吹山麓の古環境復元：伊吹町藤川寺林の採石場に分布している阿蘇I火山灰層直上の地層から、材化石や大型植物化石、昆虫化石、花粉化石を検出し、古環境の解析を行っている。その結果、約247Ka前、伊吹山南麓周辺にコマツガ、チョウセンゴヨウ、トウヒ属、モミ属のマツ科常緑針葉樹と、ダケカンバ、シラカンバ、ズミなど落葉広葉樹が混在する冷温帯～亜寒帯の植生が林広がっていたことがわかってきた。
3. 古琵琶湖層群の化石林調査：甲西町朝国～吉永地域の化石林の調査から、約250万年前前後、の花粉化石が発見され、落葉針葉樹のメタセコイア、スイショウとハンノキ、モチノキ属、バラ科などの落葉広葉樹が混在する湿地林、後背地や周辺産地にコウヨウザン、サワラ、ツガ属、トウヒ属の針葉樹、オオバタクルミ、イヌシデ、ヒメブナ、ヒメシャラなど落葉広葉樹の分布する植生が明らかになってきた。今回の調査で発見された *Cathaya* (Pinaceae) は花粉以外では確認されておらず、山地斜面に生育していたと考えられる。
4. 二上層群産の植物化石：奈良県香芝市付近に分布している凝灰岩層 (二上層群) から大型植物化石を採集し。クリーニングを進めている。今後、植物化石群の組成および記載を行う予定である。

上記のほか、9月30日に日本地質学会で「後期鮮新世古琵琶湖層群産の球果化石群とその堆積環境」を小西省吾 (みなくち子どもの森) と共同でポスター発表を行った。

## 印刷物

### 【一般向けの著作】

山川千代美 (2002) 佐久良川河床の化石林. 琵琶湖流域研究会. 琵琶湖流域を読む (下). サンライズ出版, 滋賀県 26-29

山川千代美. 齊藤毅. 百原新 (2002) 日本で3例目のカタヤ属の花粉化石. 琵琶湖博物館. 琵琶湖博物館だより「うみんど」. サンライズ出版. 6

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表など】

山川千代美・小西省吾 (2002年9月15日) 上部鮮新統古琵琶湖層群から産出した球果化石群とその堆積環境. 第109年学術大会. 日本地質学会. 新潟大学, 新潟県新潟市 [ポスター発表]

山川千代美 (2002年11月15日) 中期更新世後半における伊吹山麓周辺の高植生. 平成14年度第8回. 琵琶湖博物館研究セミナー. 琵琶湖博物館, 滋賀県草津市 [口頭発表]

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館総合研究「博物館資料の収集・整理・保管と利用に関する研究」研究分担者（2002年度）

琵琶湖博物館共同研究「琵琶湖堆積盆地の後期鮮新世約250万年前前後の古環境変化と古植生変化」研究副代表（2002年度）

琵琶湖博物館専門「新生代における植物化石の研究」研究代表者（2001年度）

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス活動】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

2002年6月16日、植物化石からわかる琵琶湖周辺の気候変化、博物館連続講座、琵琶湖博物館セミナー室、滋賀県草津市、[講師]

2002年9月29日、化石の採集会、フィールド観察会、野洲川河床、滋賀県甲西町、主任

2002年9月8日、第10回地学研究発表会、琵琶湖博物館実習室、滋賀県草津市、里口保夫・宮本真二・高橋啓一と共同、[企画・運営]

2003年2月9日、第11回地学研究発表会、みなくち子どもの森、滋賀県水口町、里口保夫・宮本真二・高橋啓一と共同、[企画・運営・ポスター発表]

#### 他の博物館、組織・団体等の主催行事

滋賀県立石部高等学校、2002年7月24日、博物館展示・収蔵庫見学、琵琶湖博物館セミナー室・展示室・収蔵庫、滋賀県草津市、[講師]

滋賀県総合教育センター、2002年9月26日、展示について（A展示室）、教職経験者研修I、琵琶湖博物館自然史展示室、滋賀県草津市、[講師]

大津市立日吉中学校、2002年10月11日、「古環境学習」 収蔵庫見学、選択理科の学習、琵琶湖博物館収蔵庫、滋賀県草津市、[講師]

### 【資料整備活動】

琵琶湖博物館地学資料 鮮新-更新統の植物化石標本、整理と同定、琵琶湖博物館地学収蔵庫 [主担当]

### 【展示活動】

2002年2月1日、「亜熱帯の湖」リニューアル、里口保夫・宮本真二・高橋啓一と共同分担、企画・監修、琵琶湖博物館自然史展示室 [副担当]

## 館内人事、館外活動等に関すること

### 【館内の人事】

2002年～、展示担当、グループリーダー

共同研究「琵琶湖集水域における中世村落確立過程の研究—考古資料の分析を中心として—」の成果展である企画展示「中世のむら探検—近江の暮らしのルーツを求めて—」の準備と運営に全精力を傾注した。特に、はしかげさんと一緒に行う参加型・体験型の展示作りを展示制作戦略の中心に据えたため、「中世とはどんな時代か」をまず体験していただく中世の衣・食・住や遊びに関する体験学習プログラムの開発、実施を集中的に行った。

そのなかでも、近江の特産品であり、中世から生産が開始され、湖南地方の庶民の食生活に大きな影響を与えることになった信楽焼のすり鉢づくりでは、県陶芸の森、県文化財保護協会との連携のもと、陶芸作家のご指導により復元製作に取り組み、実際に来館者に手にとっていただく形で展示することができた。また、近江の特産品、近江上布の起源となった麻織物について、唯一残る機の中世資料(『七十一番職人歌合せ』)を基に、民俗資料も参照しながら、可能な限り忠実な復元製作を依頼し、機織の専門家のご指導により麻織物の制作に挑戦した。

このように、文献を中心とした日本中世史研究の成果だけにとらわれることなく、中世考古学、民俗学の成果に学び、絵画資料の分析を加え、更に、その道の専門家の指導を仰いで、はしかげさんと一緒に取り組むという体験型(実験型)の研究、参加型の研究スタイルを試行した。将来的には「村落社会史」という新しいジャンルを切り開きたいと考えている。

次に、総合研究「博物館資料の収集・整理・保管と利用に関する研究」については、「歴史資料情報のネットワーク化に関する研究」を分担しているが、昨年度に引き続き、地域の人自らが地域の歴史や文化について取りまとめた「集落誌」を取り上げ、収集した。収集できた「集落誌」は、すべて企画展示「中世のむら探検—近江の暮らしのルーツを求めて—」期間中、展示室および図書室で展示した。

次に、総合研究「東アジアのなかの琵琶湖—コイ科魚類の展開を軸とした—環境史に関する研究」については、中世のコイ科魚類の消費実態解明のため、『山科家礼記』に現れる魚介類のデータベース化を行ったが、分析までには至らなかった。

なお、岡山県邑久郡邑久町史の資料編の中世部分の編さんにも携わった。

## 印刷物

### 【一般向けの著作】

橋本道範編著（2002）滋賀県立琵琶湖博物館第10回企画展示 中世のむら探検—近江の暮らしのルーツを求めて—  
展示解説書。橋本道範。滋賀県立琵琶湖博物館、滋賀県草津市。36

橋本道範・牧野久実・矢野晋吾編著（2002）滋賀県立琵琶湖博物館第10回企画展示 中世のむら探検—近江の暮らしのルーツを求めて— ガイドブック わっ！中世？の歩き方。橋本道範・牧野久実・矢野晋吾。滋賀県立琵琶湖博物館、滋賀県草津市。128

## 研究活動に関する業績

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館総合研究「博物館資料の収集・整理・保管と利用に関する研究」研究分担者（2002年度）

琵琶湖博物館総合研究「東アジアのなかの琵琶湖—コイ科魚類を軸とした—環境史に関する研究」研究分担者（2002年度）

琵琶湖博物館共同研究「琵琶湖集水域における中世村落確立過程の研究—考古資料の分析を中心として—」研究代表者（2002年度）

琵琶湖博物館専門研究「琵琶湖関係古文書に関する歴史的評価—日本列島における13世紀の社会・経済構造の転換と琵琶湖地域—」（2002年度）

## 【大学の講義・実習、学生の指導など】

2003年2月3日、生物多様性論・「生物多様性論における文化の多様性論」、滋賀県立大学大学院 [講義]

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス活動】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

2002年4月13日・14日・20日・21日、展示物を作ろう 特別編－ヨシ葺きに挑戦！－、琵琶湖博物館はしかけ事業「近江の国 中世なんでも探検隊」、琵琶湖博物館アトリウム、滋賀県草津市（竹田勝博と共同）[主担当]

2002年5月3日・4日、展示物を作ろう 特別編－土器作り再び！（中世のすり鉢をつくろう）－、琵琶湖博物館はしかけ事業「近江の国 中世なんでも探検隊」・琵琶湖博物館観察会・滋賀県陶芸の森「中世体験薪窯焼成」事業、滋賀県陶芸の森、滋賀県信楽町（滋賀県陶芸の森、神山直彦・上田光春ほか共同）[主担当]

2002年5月18日・19日・25日・6月8日・15日・16日、展示物を作ろう 特別編－機織びと大募集！－、琵琶湖博物館はしかけ事業「近江の国 中世なんでも探検隊」、琵琶湖博物館アトリウム、滋賀県草津市（澤田絹子ほか共同）[主担当]

2002年7月27日、中世の機織をしよう、琵琶湖博物館観察会、琵琶湖博物館企画展示室、滋賀県草津市（澤田絹子ほか共同）[主担当]

2002年8月3日、企画展示解説ツアー、琵琶湖博物館観察会、琵琶湖博物館企画展示室、滋賀県草津市（木戸雅寿共同）[主担当]

#### テレビ・ラジオ等への出演・協力

橋本道範・牧野久実・矢野晋吾ほか、2002年4月21日、NHKニュース、ヨシ葺き体験

橋本道範・牧野久実・矢野晋吾ほか、2002年5月18日、NHKニュース、機織体験

橋本道範・牧野久実・矢野晋吾ほか、2002年5月18日、関西放送ニュース、機織体験

橋本道範・牧野久実・矢野晋吾ほか、2002年7月30日、NHKニュース、企画展示

#### メディアへの協力

橋本道範・牧野久実・矢野晋吾ほか、2002年4月14日、産経新聞、ヨシ葺き体験

橋本道範・牧野久実・矢野晋吾ほか、2002年5月17日、京都新聞、機織体験

橋本道範・牧野久実・矢野晋吾ほか、2002年5月20日、毎日新聞、機織体験

橋本道範・牧野久実・矢野晋吾ほか、2002年7月20日、中日新聞、企画展示

橋本道範・牧野久実・矢野晋吾ほか、2002年7月31日、読売新聞、企画展示

橋本道範・牧野久実・矢野晋吾ほか、2002年8月11日、読売新聞、中世の遊び体験

橋本道範・牧野久実・矢野晋吾ほか、2002年8月18日、産経新聞、企画展示

橋本道範・牧野久実・矢野晋吾ほか、2002年8月28日、朝日新聞 アイアイAI滋賀、朝日新聞社、2002年7月30日取材、企画展示

### 【展示活動】

2002年7月20日～11月24日、第10回企画展示「中世のむら探検－近江の暮らしのルーツを求めて－」琵琶湖博物館企画展示室（橋本道範・牧野久実・矢野晋吾・杉谷博隆ほか）[主担当]

堆積物試料中の花粉化石群集の組成変化や、遺跡を対象とした環境考古学的手法をもちいて最終氷期以降の自然環境の変遷と人間活動との関係性を検討している。最近では環境考古学はもとより、環境史といったフィールド科学としての環境研究の視点や立場を重視している。

「第9回企画展示・開館5周年記念企画展示」の最終成果として一般書の編集・執筆を、プロジェクトメンバー（前畑政善・牧野厚史）らと行った。この企画展示にかかわる調査活動の成果のひとつである、宮本ほか、2001（動物考古学16）を受けて、同様の手法をもちいたデータ・ベース作業を総研「東アジア」で行い、一部の途中検討経過を歴史地理学会大会で口頭発表した。公表にむけた作業を継続している。

琵琶湖博物館総合研究「東アジア」では、2002年度の査読付論文の成果として、宮本真二・牧野厚史（2002）琵琶湖の水位・汀線変動と人間活動—過去と現在をつなぐ視点—。地球環境7を得た。これまでのさまざまな研究プロジェクトでの議論をふまえて、事実解明型研究としての「過去」を対象とした研究と、政策に近い領域でおこなわれてきた「現在」を対象とした研究を省察し、人間の生活環境としての領域を重視する「環境考古学」的視点の重要性を指摘した。本研究にちかい問題関心において他の研究機関の研究者と申請していた科学研究費が採用され、実証に向けた作業を開始している。

申請専門研究では、近江盆地や山城盆地において継続してきた先史時代以降の地形環境変遷の成果を各種遺跡報告書で公表した。引き続き各地の遺跡立地にかかわる調査などを継続している。総合研究・申請専門研究にも関わることはあるが、自然環境変遷史ではなく、近年、社会学や中世史において試みられつつある「環境史」という領域に注目し、地理学における環境論との考察を行い、「フィールドからの環境史—地理学からの応答—」と題して投稿し、最近受理された。2003年度中には公表される予定である。

2001度からは湖北・高月町史の編集にかかわることになり、湖岸平野部の遺跡立地と地形環境に着目し、先史時代以降の土地開発過程と自然環境の関係性に考察する目的があり、詳細等高線図などの作業を開始している。

「人間が関与した形成された自然の歴史的研究」は、単に環境史や環境考古学の領域において重要なだけでなく、今後の人と自然との関係性を議論するうえでも新しい視点を提示できるものと考えられる。その為には、境界領域科学の理論や方法を、環境歴史学などの研究史から学ばなければと考えている。

これらの研究はA領域（環境史研究領域）を対象とするものであるが、環境考古学さらには環境史といった領域の研究は、境界領域に位置していると自覚している。

## 印刷物

### 【学術論文】

宮本真二・牧野厚史（2002）琵琶湖の水位・汀線変動と人間活動—過去と現在をつなぐ視点—。地球環境 7: 17-36.

### 【専門分野の著作】

宮本真二・河角龍典・小野映介・畑本政美（2003）野洲川下流域平野，播磨田城遺跡における地形環境の変遷と遺跡立地。播磨田城遺跡調査報告書，守山市教育委員会，75-82.

### 【一般向けの著作】

宮本真二（2003）ナマズの東進と人間活動—遺跡の魚類遺体から—。滋賀県立琵琶湖博物館（編）『鯰—魚と文化の多様性—』，サンライズ出版，55-66.

宮本真二（2002）中世の自然と人。橋本道範・牧野久美・矢野晋吾（編）滋賀県立琵琶湖博物館第10回企画展示「中世のむら探検—近江の暮らしのルーツを求めて—：わっ！中世？の歩き方」。滋賀県立琵琶湖博物館：110-111.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表など】

- 宮本真二・中島経夫・丸山真史（2002年5月25日）縄文時代以降における日本列島の主要淡水魚の分布変化と人為。第45回歴史地理学会大会。和歌山市民会館（和歌山県和歌山市）。
- 宮本真二（2002年7月7日）自然環境の変遷と人間活動。琵琶湖博物館連続講座「琵琶湖の環境史：私たちの暮らしと環境のなりたちを探る」。琵琶湖博物館（滋賀県草津市）。
- 宮本真二（2002年10月18日）琵琶湖の水位・汀線変動と人間活動。琵琶湖博物館研究セミナー。琵琶湖博物館（滋賀県草津市）。
- 宮本真二（2002年11月8日）先史時代以降における日本列島の主要淡水魚の分布変化と人為。琵琶湖博物館総合研究「東アジアの中の琵琶湖－コイ科魚類の展開を軸とした環境史に関する総合研究－」研究会（滋賀県西浅井町）。
- 宮本真二（2003年2月9日）琵琶湖の水位・汀線変動にみる過去と現在をむすぶ視点（ポスター）。第11回琵琶湖博物館地学研究発表会。みなくち子どもの森自然館（滋賀県水口町）。

### 【研究プロジェクト等への参加】

- 琵琶湖博物館総合研究「東アジアの中の琵琶湖－コイ科魚類の展開を軸とした環境史に関する総合研究－」（1997年4月～2004年3月）共同研究者。
- 琵琶湖博物館申請専門研究「近江盆地における遺跡の立地環境の解析」（2002年4月～2004年3月）。

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

- 2002年11月～2003年10月31日 人文地理学会公開セミナー[委員]
- 2001年1月～2003年11月 人文地理学会「地理学文献目録第11集」[編集委員]
- 日本歴史地理学会論説1件 [査読]

### 【大学での講義・実習、学生の指導など】

- 2002年10月19日 立命館大学文学部博物館実習 [講師]
- 卒業研究「古琵琶湖層群の花粉化石」滋賀大学教育学部4回生（安達孝紀）[分析指導]

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス活動】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

- 2002年4月～ 琵琶湖博物館情報誌「うみんど」[編集委員]
- 2002年10月6日 「中世の山城を見に行こう」。博物館観察会。滋賀県新旭町（牧野厚史と共同分担）[主担当]
- 2002年9月8日 第10回琵琶湖博物館地学研究発表会 [企画・運営]（山川千代美・高橋啓一・里口保文と共同分担）。
- 2003年2月9日 第11回琵琶湖博物館地学研究発表会 [企画・運営]（山川千代美・高橋啓一・里口保文・みなくち子どもの森自然館共同分担）。みなくち子どもの森自然館。

#### 研修会・視察対応

- 2002年5月16日 滋賀県高等学校理科教育研究会総会研修「博物館研修」[解説]
- 2002年8月3日 三田市有馬富士自然観察センター[視察対応]
- 2002年9月10日 滋賀県高等学校理科教育研究会経験者研修「現地研修」[解説]

#### 印刷メディア（新聞・雑誌・書籍等）等への出演・協力

- 2002年11月17日 インターネットページ「草津ガイド！「素敵な人」」[展示交流員取材対応]

## 【展示活動】

### 琵琶湖博物館の展示活動

A展示室の管理運営 [主担当]

「亜熱帯の湖」展示制作（山川千代美・高橋啓一・里口保文と共同分担）[企画運営] A展示室.

「コレクションギャラリー」キャプション制作（山川千代美・高橋啓一・里口保文と共同分担）[企画運営] A展示室.

「琵琶湖自然史研究室」顕微鏡関係補修[企画運営] A展示室. 「化石林」補修[企画運営] A展示室.

企画展示の運営[副担当]

「中世のむら探検」展示解説書編集（橋本道範・牧野久実・矢野晋吾と共同分担）[進行管理]

展示交流員の研修・会議運営[主担当]

「展示交流員と話そう」[企画運営]

「展示交流員懇談会」[企画運営]

2003年6月4・5・6日 「モーニングレクチャー」遺跡の魚類遺体とその分布の変遷について [解説]

2003年9月28日 「モーニングレクチャー」企画展示「中世のむら探検」について（牧野厚史と共同分担）. [解説]

「展示交流員館外研修」（井戸本純一・亀田佳代子・戸田 孝・松尾 知と共同分担）[企画運営]

2002年12月～2003年3月 展示交流員と話そう. [内容指導] 1名.

展示交流員の管理運営[副担当]

「2003年度展示交流員仕様書」作成（展示担当グループ構成員と共同分担）

## 【企画調整事業】

2002年8月2日 2002年度博物館実習. A展示室解説 [解説].

## 【博物館研究部に関する業績】

電子顕微鏡室管理運営[主任]

走査型電子顕微鏡2台保守契約委託作業[企画運営]

地学標本制作室管理運営[主任]

## 館内人事、館外活動等に関すること

## 【館外の活動】

2001年8月～ 高月町町誌史編纂委員会 [編纂委員]

主として、古琵琶湖層群とその同時代の地層（鮮新-更新統）にある火山灰をもとに、広範囲で詳細な地層層序を  
あみ、時空間的な地層形成環境の変化や、日本の大規模な鮮新-更新世爆発的火山噴火活動史を明らかにすることを  
目的としている。

2001年度から、申請専門研究「房総半島の鮮新統三浦層群を主軸とした本州中央部の鮮新統に挟在する火山灰の広  
域対比」をおこなっているが、今年度はその2年目にあたる。この研究は、古琵琶湖層群下部とほぼ同時代にあたる  
房総半島の三浦層群上部を対象に、そこに挟在する多くの火山灰の中から、古琵琶湖層群下部の火山灰と同じものを  
探し、両層群の同時時間面（ほぼ同じ時間に形成された地層の面）を設定するという目的で行っている。火山は、火山  
の爆発的噴火によって噴出され、広範囲に広がり、地質学的にみてほぼ同じ時間に降灰する。そのことから、同じ火  
山灰を離れた地域で見つけることは、その地層に同じ時間面を見付けることになる。火山はその噴火規模によって、  
数百kmの範囲で地層中に目に見える形で残すほどの火山灰を降らすものがある。古琵琶湖層群下部の火山灰につ  
いては、まだその性質が明らかになっていない。また、古琵琶湖層群下部の年代について琵琶湖博物館とは異なった意  
見を持つ研究者もいる。古琵琶湖層群下部の年代は、現在の琵琶湖につながる古琵琶湖の形成年代にも関わり、その  
年代を明らかにすることは、琵琶湖の形成史や環境史、さらには近畿・東海地域における構造運動史を検討する上で  
重要である。このことを明らかにするために、海成層で詳細な年代が明らかになっている房総半島の三浦層群を基準  
にして、火山灰の広域対比を行うことによって検討しようとしている。また、ここから得られる火山灰のデータや広  
域対比の検討は、日本の鮮新世火山噴火活動を検討するために重要な資料を提供する。この研究において、2002年は  
野外調査より三浦層群安野層上・中部および下部の一部の火山灰について層序学的位置を明らかにし、広域対比の可  
能性のある火山灰について、いくつかの記載岩石学的性質および火山ガラスの化学組成を明らかにした。さらに、そ  
れらの性質から古琵琶湖層群下部の火山灰と三浦層群の火山灰の対比を検討し、もっとも広域に対比されている火山  
灰との対比について、三浦層群中の火山灰からいくつかの候補を示したが、それらから一対一の対比をするには至ら  
なかったため、今後の問題点と解決する方法について検討した。その成果は、日本地質学会第109年学術大会にて発  
表した。

また、古琵琶湖層群にもその存在の可能性を検討している鮮新-更新統境界よりやや上位にあたる層準の火山灰に  
ついて、多摩丘陵で調査を行った。この地域は、目的とする火山灰を噴出した供給火山との距離が、古琵琶湖層群分  
布域との距離との関係に近く、ある意味似た地域といえる。その調査・研究はその地域の研究者が行っている団体研  
究の一員として参加し、その成果は現在投稿中である。

伊吹町藤川の地域には、従来の研究から、古琵琶湖層群よりも新しい時代である段丘堆積物が分布するとされてい  
るが、詳細については、まだよく調査がされていなかった。この地域についての調査は前年度から行っているが、今  
年度はさらに補足調査を行い、検討を行った。現在、論文準備中である。この研究は、総合研究「博物館資料の収集・  
整理・保管と利用に関する研究」の一部として行った。伊吹町藤川地域は砂取り場となっており、いずれは消滅する  
地層である。このような人間活動によって消滅する地層を対象に博物館資料としてどのように考えるべきか？につ  
いて、調査と議論を行った。地質資料については、近年消失する可能性が高い地層が多く見られるようになったことか  
ら、野外の情報をも博物館資料として保管する必要性があり、それらがモノ資料と同様に研究やそのほかの用途に利  
用されるために必要な整理と情報の収集について、問題点などを議論した。

以上のような研究成果とこれまでの研究、これから行おうとする研究や、研究を元にした交流活動をはじめとする  
博物館の活動を発信を、琵琶湖博物館インターネットページの個人管理ページで発信を行っている。

数年前から、滋賀県に關係する地学関係者による情報交換や交流、研究の活発化などを目的として、琵琶湖博物館  
地学関係学芸員と共同で事務局をもち、研究会を開いている。その第10回、第11回を行い、ニュースレターの発行  
も行った。この研究会の活動については、琵琶湖博物館の個人管理ページで研究会のページを作成して紹介している。

## 印刷物

### 【一般向けの著作】

里口保文 (2002). 私の逸品「虫生野火山灰の軽石」. うみんど, 22号, 琵琶湖博物館, 滋賀県: 5.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表など】

里口保文 (2002年9月16日). 房総半島に分布する三浦層群安野層からの鮮新統広域火山灰の検出. 日本地質学会第109年学術大会, 日本地質学会. 新潟大学, 新潟県新潟市

里口保文 (2002年9月27日). 火山灰の広域対比からみた古琵琶湖形成時期の検討. 琵琶湖博物館研究セミナー. 琵琶湖博物館. 琵琶湖博物館, 滋賀県草津市

Satoguchi, Y., Miyamoto, S., Takahashi, K. and Yamakawa, C. (2002年11月23日) The Karasuma deep-boring core and activities of the Lake Biwa Museum. Lake Biwa and Lake Suigetsu Drilling Project Workshop. International Continental Scientific Drilling Project. Kyoto University, Kyoto-city, Kyoto

里口保文 (2002年12月15日) 広域火山灰による鮮新統広域層序の整理. 地学団体研究会京都支部例会. 地学団体研究会京都支部. 琵琶湖博物館, 滋賀県草津市

### 【研究プロジェクト等への参加】

申請専門研究「房総半島の鮮新統三浦層群を主軸とした、本州中央部の鮮新統に挟在する火山灰の広域対比」. 研究代表者

琵琶湖博物館総合研究「博物館資料の収集・整理・保管と利用に関する研究－琵琶湖地域にある試料の利活用の方法論－」副代表者

琵琶湖博物館総合研究「東アジアの中の琵琶湖－コイ科魚類の展開を軸とした－環境史に関する研究」. 研究分担者

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

日本地質学会. 生涯教育委員会委員. 2002年2月～2003年10月.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス活動】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

2002年6月2日. 第1回「地層から昔の環境や出来事をさぐる」. 連続講座. 琵琶湖博物館, 滋賀県草津市. [講演者]

### 【情報整備活動】

14年度. 琵琶湖博物館インターネットページの更新・管理. 多数. [更新・管理: 主担当]

14年度. 琵琶湖博物館内学芸員個人ページの更新・管理. 多数. [更新・管理]

14年度. 静止画整備 (今津町教育委員会所蔵古写真). 1650件. [借入のやりとり, 手続き, 作業管理: 主担当]

14年度. 静止画整備 (デジタル化). 900件. [委託業務手続き, 作業管理: 主担当]

14年度. 静止画DBへの登録. 1500件. [委託業務手続き, 作業管理: 主担当]

14年度. 静止画DB移行に伴うデータチェック. 54742件. [データチェックと更新: 主担当]

14年度. 静止画貸し出し. 5件. [貸し出し: 副担当]

### 【資料整備活動】

ボーリング資料整理. 1948件. [試料用資料の整理：主担当]

### 【展示活動】

平成15年2月. A展示室亜熱帯の湖展示更新. [展示の検討. A展示室：副担当]

平成15年3月. A展示室岩石鉱物展示・展示替え. [展示替え. A展示室：主担当]

水生双翅類昆虫の水辺環境への適応がどのように進化し、地理的に広がっていったのかについて、時間軸が導入できる分子系統学的手法と伝統的な比較形態学的手法を用いて解析し、その系統進化過程を解明することを目標として研究を行っている。この系統発生像に生物地理学的観点をも含めて考察し、東アジアの中での琵琶湖の成立過程や固有性を明らかにしようと考えている。

海浜性のアシナガバエは島ごとに種分化している種がみられるので、それらのDNA解析を行い進化速度を計算し、島の成立年代と摺り合わせて、これらの分岐年代の推定を行う。そこで得られた分子時計を用いて、直接地史が推定できない場所に分布している淡水性のアシナガバエの分岐年代の推定を行おうと考えている。

本年度の学術論文の発表は英文で1本行った。論文タイトルは「A review of the genus *Hercostomus* from Nepal (Diptera: Empidoidea: Dolichopodidae) 『ネパール産*Hercostomus*属の検討 (双翅目: オドリバエ上科: アシナガバエ科)』」である。*Hercostomus*属は従来ネパールから2種のみが知られていたが、今回25種が発見された。そのうち16種が新種であり、それらの記載を行った。また本属のネパール産全25種について検索を容易にするために検索表を作成した。

学会活動は1講演を行った。2002年9月29日から10月4日にオーストラリア・ブリスベンで開催された第5回国際双翅目会議において参加・発表を行った。発表タイトルは、「Biogeography of the torrenticolous genus *Diostracus* Loew in Japan (Diptera: Dolichopodidae)」であった。学会後は、オーストラリア国内で調査を行った。

文部科学省の科学研究費補助金(科研費)の研究「大洋島における海洋性アシナガバエの種分化と起源」において研究代表者として、2002年12月2日から12月22日の間、ハワイ諸島(カウアイ、オアフ、モロカイ、ラナイ、マウイ、ハワイの6島)で調査を行った。ハワイ諸島はホットスポットにより形成された島なので、島の成立年代が分かっており、各島のハエのDNAを調べ、ハエの進化速度を計算しようと考えてる。

琵琶湖博物館の共同研究「東アジアにおける第三紀起源昆虫の分子進化学的研究」において研究代表者として、2002年7月1日から9日の間、台湾へ渡航し調査を行った。多数の水生双翅類標本が収集され、現在、標本作製やDNAの解析を行っている。

## 印刷物

### 【学術論文】

Yang, D., Saigusa, T. & Masunaga, K (2002) A review of the genus *Hercostomus* from Nepal (Diptera: Empidoidea: Dolichopodidae). *Entomologie*. 72: 221-243.

### 【一般向けの著作】

榎永一宏 (2002) どこでも博物館「台湾虫紀行」. うみんど(湖人). 琵琶湖博物館. 琵琶湖博物館. 24:7

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表など】

榎永一宏 (2002年9月27日) 渓流性アシナガバエ*Diostracus*属の分子系統. 琵琶湖博物館研究セミナー. 琵琶湖博物館. 琵琶湖博物館, 滋賀県草津市

榎永一宏 (2002年9月30日) Biogeography of the torrenticolous genus *Diostracus* Loew in Japan (Diptera: Dolichopodidae). 5th International Congresses of Dipterology 第5回国際双翅目会議. 国際双翅目学会. キーンズランド大学, オーストラリア・キーンズランド州・ブリスベン

榎永一宏 (2003年3月2日) 渓流性アシナガバエ*Diostracus*属の分子系統. 毛利秀雄岡崎国立共同研究機構長退官

### 【研究プロジェクト等への参加】

科学研究費補助金「大洋島における海洋性アシナガバエの種分化と起源」研究代表者（2002年）  
琵琶湖博物館共同研究「東アジアにおける第三紀起源昆虫の分子進化学的研究」研究代表者（2002年）  
琵琶湖博物館専門研究「双翅目アシナガバエ科昆虫の系統分類と生物地理」研究代表者（2002年）  
琵琶湖博物館総合研究「博物館資料の収集・整理・保管と利用に関する研究」研究代表者（2002年）

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

日本動物学会、Zoological Science [論文の査読1件]

### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

平成14年度博物館実習、榎永一宏、山口 幸江、2002年8月6日、動物標本整理-昆虫標本作製、大学生

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス活動】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

2002年7月20日、虫から見た里山、里山体験教室 II (夏編)、滋賀県日野町上駒月、八尋克郎と共同分担  
2002年7月21日、虫の話、たんぼ体験教室、琵琶湖博物館、八尋克郎と共同分担  
2002年8月24日、昆虫同定会、夏休み相談室、琵琶湖博物館、八尋克郎と共同分担  
2002年8月25日、ミドリセンチコガネを探しに行こう、博物館観察会、滋賀県栗東市、八尋克郎・山口幸江と共同分担

#### 他の博物館、組織・団体等の主催行事

2002年7月14日、水生昆虫観察会、滋賀県志賀町、講師  
2002年11月17日、水生昆虫探検観察、自然観察シリーズ 第2弾 川探検、滋賀県大津市、講師  
2002年11月20日、DNA解析について、職場体験学習、琵琶湖博物館、講師  
2003年2月20日、進路講話、守山高校、講師

#### 研修会・視察対応

榎永一宏・荒井紀子、2002年11月23日、国分寺町奥谷天神会ホタル部会（香川県）、滋賀県立琵琶湖博物館

### 【情報整備活動】

2002年度、昆虫液浸標本データベース構築、上原千春と共同分担、5000

### 【資料整備活動】

日本、台湾、オーストラリア、ハワイ産の昆虫の収集・整理（液浸、乾燥とも）。

### 【展示活動】

2002年度、常設展示C展示室の維持管理、八尋克郎・杉野由佳・山口幸江と共同分担。

## 館内人事、館外活動等に関すること

### 【館内の人事】

うみんど編集委員

### 【海外渡航】

2002年7月1日～7月9日、台湾、東アジアにおける海洋性アシナガバエの種分化と分散」の調査

2002年9月28日～10月20日、オーストラリア、学会発表と海洋性アシナガバエの種分化と分散」の調査

2002年12月2日～12月22日、ハワイ、ハワイ諸島における海洋性アシナガバエの種分化と分散」の調査

## 印刷物

## 【学術論文】

- J.C. Dasilao Jr., A. Rossiter and K. Yamaoka (2002年) Adaptive ontogenetic shape change in flyingfish *Parexocoetus mento mento*. *Fisheries Science* 68. 71-76
- H. Ochi, A. Rossiter and Y. Yanagisawa (2002年) Paternal mouthbrooding bagrid catfishes in Lake Tanganyika. *Ichthyological Research* 49. 270- 273

## 【専門分野の著作】

- A. Rossiter (2002年) A study of the littoral fish assemblages of Lake Tanganyika. *Limnology and Ecology of Lake Tanganyika XI*. 72-73
- A. Rossiter (2002年) Habitat-related differences in the morphology of rocky-shore littoral gastropods of Lake Tanganyika?. *Limnology and Ecology of Lake Tanganyika XI*. 67-68
- A. Rossiter (2002年) Environmental effects on the biomass of epilithic algae. *Limnology and Ecology of Lake Tanganyika XI*. 71
- A. Rossiter (2002年) Niche partitioning within the ostracod assemblages of Lake Tanganyika?. *Limnology and Ecology of Lake Tanganyika XI*. 69-70

## 研究活動に関する業績

## 【学会・研究会での発表など】

- A. Rossiter. 2002年12月9日. 亀類における個体群固有の形態・行動差異について. 南アフリカ共和国 ケープ州 自然環境保護局. 南アフリカ共和国 ケープ州 自然環境保護局会議室, 南アフリカ共和国 ステロンブッシュ.
- A. Rossiter. 2002年12月17日. タンガニーカ湖カワズメ科魚類の交配システム. 南アフリカ共和国水生動物多様性研究所. 南アフリカ共和国水生動物多様性研究所セミナー室. 南アフリカ共和国グラハムズタウン

## 【研究プロジェクト等への参加】

- 文部科学省科研費プロジェクト「タンガニーカ湖カワズメ科魚類の交配システム」リーダー代理 (2003年1月5日～3月4日)
- 琵琶湖博物館専門研究「亀類の生物地理学・生態学・進化について」プロジェクトリーダー (2002年～)
- 琵琶湖博物館共同研究「定量形態計測法を用いた魚類群研究」プロジェクトリーダー (2001年～)
- 琵琶湖博物館総合研究「琵琶湖沿岸帯の生物群集における生物間相互作用」プロジェクトリーダー (2002年～)

## 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

国際科学誌 6 件・国内科学誌 2 件. confidential: 生態学/魚類学/水生昆虫/魚類行動学についての論文 [査読]

## 【大学の講義・実習、学生の指導など】

アフリカにおけるタンガニーカ湖科研費プロジェクトメンバーへの指導. 魚類生態について. 大阪市立大学・北海道大学の学生

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス活動】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

琵琶湖博物館。2001年6月～2003年3月。英語版「琵琶湖博物館ガイド」の共同執筆。琵琶湖博物館，滋賀県草津市。1  
琵琶湖博物館。2001年6月～2003年3月。英語版「琵琶湖博物館ガイド」の執筆編集。琵琶湖博物館，滋賀県草津市。1  
琵琶湖博物館。2001年6月～2003年3月。英語版「琵琶湖博物館ガイド」の写真撮影。琵琶湖博物館，滋賀県草津市。1

#### 他の博物館、組織・団体等の主催行事

滋賀県庁。2001年11月～2002年4月。滋賀県庁子供の教育委員会委員。滋賀県庁，滋賀県大津市。1  
琵琶湖博物館／ILEC。2001年5月～2002年6月。琵琶湖博物館「今昔」プロジェクト、USA部会コーディネーター。  
琵琶湖博物館，滋賀県草津市。1

#### 研修会・視察対応

水フォーラムの派遣団。2001年6月5日。琵琶湖博物館視察随行動説明。  
ペンシルベニア大学の教授。2001年10月20日。琵琶湖博物館視察随行動説明。  
ミシガン大学。2001年7月21日。琵琶湖博物館視察随行動説明。  
ESCAPからの派遣団。2001年8月28日。琵琶湖博物館視察随行動説明。  
JICA。2001年9月18日。琵琶湖博物館視察随行動説明。  
JICA。2001年9月27日。琵琶湖博物館視察随行動説明。  
JICEの学生。2001年10月5日。琵琶湖博物館見学随行動説明。  
県庁交換プログラム。2001年10月6日。琵琶湖博物館見学随行動説明。  
JICAの学生。2001年10月23日。琵琶湖博物館見学随行動説明。  
ミシガン州知事一行。2001年11月11日。琵琶湖博物館見学随行動説明。  
JICA。2002年4月16日。琵琶湖博物館見学随行動説明。  
イギリス自治体幹部職員。2002年10月24日。琵琶湖博物館見学随行動説明。  
マラウイ天然資源環境省大臣。2002年11月19日。琵琶湖博物館見学随行動説明。  
水フォーラムの派遣団。2003年3月18日。琵琶湖博物館見学随行動説明。

#### テレビ・ラジオ等への出演・協力

国際放送。TV/radio。2004年。タンガニーカ湖と琵琶湖魚類に関するネイチャー番組。BBC英国放送。2003年3月。  
学術的助言とインタビュー  
国際放送。TV。2004年。タンガニーカ湖の蛇。ディスカバリーチャンネル（衛星放送）。2003年3月。学術的助言

### 【展示活動】

展示科サブグループリーダー。2002年4月1日～2003年3月31日。[副担当]  
水族展示副主任。2002年4月1日～2003年3月31日。[副担当]  
英語版「琵琶湖博物館ガイド」の共同執筆・編集。2001年6月～2003年3月。[主担当]

## 館内人事、館外活動等に関すること

### 【海外渡航】

米国フロリダ亀類研究所。2002年6月1日～6日。陸亀についての研究室調査と博物館研究  
米国カリフォルニア科学院。2002年6月8日～15日。陸亀の博物館研究  
米国アラスカ クック川。2002年6月16日～22日。鮭の共同研究プロジェクト野外調査  
南アフリカ共和国北ケープ州。2002年12月2日～24日。陸亀生態の野外調査

南アフリカ共和国水生動物多様性研究所グラハムズタウン. 2002年12月16日～18日. 1) アフリカの三大湖生息魚類の共同研究 2) 南アフリカ共和国水生動物多様性研究所と琵琶湖博物館との姉妹提携実現に向けた協議  
南アフリカ共和国ポートエリザベス博物館. 2002年12月19日～20日. 陸亀についての研究室調査と博物館研究  
ザンビア タンガニーカ湖水産部調査課. 2003年1月5日～3月4日. タンガニーカ湖魚類の生態・進化・行動研究  
(文部科学省助成プロジェクト)

生態系における鳥類の役割の解明が研究テーマであり、現在は魚食性かつコロニー性 (集団営巣性) の鳥類であるカワウを対象として研究を行っている。具体的には、博物館共同研究「カワウ問題」解決に向けての生態学的アプローチを立ち上げ、1) 湖から森林への物質輸送が森林生態系に与える影響、2) カワウの食性の季節変化および個体変異、を明らかにし、その成果を、3) カワウによる森林および漁業被害問題検討のための生態学的情報の収集と統合、に位置づける研究を行っている。

1) の研究に関しては、2002年度は、カワウの営巣が森林生態系に与える長期的影響を調べるため、窒素安定同位体比を用いて森林のどの地域がどの程度カワウの影響を受けているのかを共同研究者と共に明らかにすることを試みた。また、今年度は共同研究者に昆虫学者を加え、コロニー内外の甲虫相の調査を行い、森林動物相へのカワウの営巣の影響を明らかにした。一方、植物の生理活性に与える影響や、コロニー内での落葉落枝 (リター) の分解速度のデータを得るなど、生物相の変化だけでなく、変化のメカニズムや有機物の分解過程についても新たな知見を得た。

2002年度の調査と平行して、昨年度までに得られた結果については、月刊海洋など他分野の研究者や一般の人々が購読する雑誌において発表し、より多くの人々へと研究の発信を行った。

2) の研究については、昨年度行った消化管内容物による食性解析を継続し、年間を通じたカワウの食性の変化を明らかにした。この結果については、8月に行われた第23回国際鳥学会および9月の日本鳥学会2002年度大会において発表した。また、消化管内容物分析の他に、安定同位体比分析を用いたカワウ個体の食性分析の一部も行った。これらの研究と関連して、本研究以前に行われた日本のカワウの食性と採食場所選択についての研究をとりまとめ、総説論文として日本鳥学会誌2002年5月号に掲載した。

2) の研究の他に、カワウの食性や物質輸送に関わる一つの要素として、2002年度はカワウの行動パターンや行動範囲を明らかにする調査の準備を始めた。レーダーを用いたカワウの調査の検討と試行である。5月に試行し、ある程度の結果が得られたため、2003年度以降に本格的に調査を開始するべく、準備を行っている。

このように、2002年度は、これまで行ってきた研究を継続すると共に、新たな調査手法を用いてさらなるデータを得て研究を進めてきた。得られた研究成果については、国内外の学会やさまざまな分野の雑誌において発表した。

なお、その他の研究活動として、国や地方自治体の審査会や委員会などに、鳥類学またはカワウ研究の専門家として参加し、情報提供や提言を行っている。

## 印刷物

### 【学術論文】

- 亀田 佳代子・松原 健司・水谷 広・山田 佳裕 (2002) 日本におけるカワウの食性と採食場所選択. 日本鳥学会誌 51(1): 12-28.
- 高橋 鉄美・亀田 佳代子・川村 めぐみ (2002) 尾鰭骨格による琵琶湖産アユおよびワカサギの種判別と体長の推定. 日本水産学会誌 68(4): 576-578.
- Osono, T., Hobara, S., Fujiwara, S., Koba, K., and Kameda K. (2002) Abundance, diversity, and species composition of fungal communities in a temperate forest affected by excreta of the Great Cormorant *Phalacrocorax carbo*. *Soil Biology & Biochemistry* 34: 1537-1547.
- 齊藤 友則・木庭 啓介・酒井 徹朗・亀田 佳代子・吉岡 崇仁 (2002) コンジョイント分析を用いた野生動物問題に対する仮想的対策事前評価-滋賀県琵琶湖におけるカワウ問題を事例として-. 日本評価研究 2 (2): 79-90.

### 【専門分野の著作】

- 亀田 佳代子・保原 達・大園 享司・木庭 啓介 (2002) カワウによる水域から陸域への物質輸送とその影響. 月刊海洋 特集「森と海の相互作用」 34(6): 442-448. (海洋出版)
- 亀田 佳代子 (2002) 水辺におけるカワウのネットワーク-水域から森への物質輸送が意味するもの-. エコソフィ

ア (10): 20-27. (昭和堂)

亀田 佳代子 (2002) 「カワウ問題」におけるIntegrated Ecological Economic Modeling 構築の試み. 平成13年度トヨタ先端科学技術研究助成プログラム研究成果報告書. (トヨタ自動車株式会社)

### 【一般向けの著作】

亀田 佳代子 (2002) 生態系の中でのカワウの役割. Birder (バーダー) 16 (6) : 24-27. (文一総合出版)

亀田 佳代子 (2003) 中国のカワウ事情／どこでも博物館. 杉谷博隆・他 (編). うみんど (湖人). 琵琶湖博物館, (25) : 7.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表など】

Kameda, K. and Kawamura, M. (2002年8月11～17日) Temporal and Spatial Difference of Food of the Great Cormorant in Lake Biwa in Japan. XXIII International Ornithological Congress (第23回国際鳥学会). International Ornithological Committee. Beijing International Convention Center (Beijing, China).

亀田 佳代子・川村 めぐみ・高橋 鉄美 (2002年9月13～16日) 琵琶湖におけるカワウの食性の季節変化. 日本鳥学会2002年度大会. 日本鳥学会. 日本大学歯学部 (東京都千代田区).

亀田 佳代子 (2002年4月13日) カワウの生態と日本での現状について. 「内水面における生物相互および人間の共生に関する研究—京都府木津川のアユを巡る共生に関する実態究明—」研究会. 滋賀県立琵琶湖研究所 (滋賀県大津市).

亀田 佳代子 (2002年9月27日) 琵琶湖におけるカワウの食性の季節変化. 琵琶湖博物館研究セミナー. 琵琶湖博物館 (滋賀県草津市).

亀田 佳代子 (2003年3月3日) 1) 特定鳥獣保護管理技術マニュアル作成の基本的考え方 (2) (1) 被害状況の把握、被害防除対策の手法及び事例 イ. 森林被害 滋賀県の事例. 平成14年度カワウ保護管理方策検討調査ワーキンググループ第2回会議. 日本野鳥の会. 日本野鳥の会初台事務所 (東京都新宿区).

亀田 佳代子 (2002年4月6日) 日本鳥学会員近畿地区懇談会第73回例会. 日本鳥学会員近畿地区懇談会. 琵琶湖博物館 (滋賀県草津市). [企画・運営]

亀田 佳代子 (2003年3月29日) 日本鳥学会員近畿地区懇談会第76回例会. 日本鳥学会員近畿地区懇談会. 琵琶湖博物館 (滋賀県草津市). [企画・運営]

### 【研究プロジェクト等への参加】

共同研究「カワウ問題」解決に向けての生態学的アプローチ」研究代表者 (2001年4月～2005年3月)

総合研究「琵琶湖沿岸帯の生物群集における生物間相互作用に関する研究」研究副代表者 (2001年4月～2003年3月)

専門研究「水域—陸域間の相互作用における鳥類の役割に関する研究」 (2001年4月～2005年3月)

永井研究助成基金「内水面における生物相互および人間の共生に関する研究—京都府木津川のアユを巡る共生に関する実態究明—」研究分担者.

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

2000年1月～2003年12月 日本鳥学会ホームページ委員会. [委員]

2000年9月～2003年12月 日本鳥学会企画委員会. [委員長]

### 【大学での講義・実習、学生の指導など】

2001年度後期 生物多様性論. 滋賀県立大学大学院. [非常勤講師]

### 【受賞など】

2003年3月5日 第二級陸上特殊無線技士 免許取得.

2003年3月17日 平成14年度学芸員資格 認定.

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス活動】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

- 2002年7月28日 「漁船に乗ってエリの漁を見に行こう」. 博物館観察会. 守山漁業協同組合. 滋賀県守山市. (井戸本 純一・松田 征也・牧野 厚史と共同分担)
- 2002年12月8日 「冬の水鳥を観察しようー鳥類の観察とその仕方ー」. 博物館入門講座. 琵琶湖博物館. 滋賀県草津市.

#### 他の博物館、組織・団体等の行事

- 2002年11月19日 高月町教育委員会. 琵琶湖の生き物たち～鳥類～. 高月町ふるさと講座第6回. 高月町中央公民館. (滋賀県伊香郡高月町).
- 2002年7月21日 21世紀のまちづくりグループ きらり・びわ. カワウの一般的生態や生態系での役割について. 竹生島自然環境フォーラム 竹生島は今?. びわ町リュートプラザ (滋賀県東浅井郡びわ町).

#### 研修会・視察対応

- 2002年7月25～26日 滋賀県立石部高等学校夏期集中講義「琵琶湖探究」. [指導]
- 2002年9月12日 栃木県内水面漁場管理委員会事例調査. [視察対応]
- 2003年1月31日 財団法人日本ナショナルトラスト「すぐれた自然環境としての葦原・茅場の保全活用調査」. [視察対応]

#### テレビ・ラジオ等への出演・協力

- 2003年2月9日 びわ湖放送「うぉーたんのこどもプラスワン「シンシンぱわーあっぷ」」琵琶湖博物館でふしぎ発見! [質問コーナーでの対応]

#### 印刷メディア(新聞・雑誌・書籍等)等への出演・協力

- 2002年12月19日 インターネットページ「草津ガイド! 「素敵な人」」[取材対応]
- 2003年2月7日 毎日新聞 [竹生島のカワウ対策に関する取材対応]
- 2003年3月4日 中日新聞 [竹生島のカワウ対策に関する取材対応]

### 【資料整備活動】

#### 琵琶湖博物館の資料整備活動

- 鳥類本剥製標本製作 5点
- 鳥類骨格標本製作 5点
- 鳥類仮剥製標本製作 65点 (瀬川 也寸子と共同)
- 鳥類本剥製標本の寄贈および提供の受け入れ 3点

### 【展示活動】

#### 琵琶湖博物館の展示活動

- ディスカバリー・ルームの運営管理 [副主任]
- 「世界の子どもたち」展示更新 (山中 裕子・松尾 知と共同分担) [企画・監修] ディスカバリー・ルーム.
- 「石の下のいきもの・水の中のいきもの」補充用生物レプリカ製作 (山中 裕子・松尾 知と共同分担) [企画・監修] ディスカバリー・ルーム.
- 「にんぎょうげきじょう」人形製作 (山中 裕子・松尾 知と共同分担) [企画・監修] ディスカバリー・ルーム.
- 「ディスカバリー・ボックス」昆虫分解レプリカ製作 (山中 裕子・松尾 知と共同分担) [企画・監修] ディスカバ

リー・ルーム.

企画展示等の運営管理 [主任]

2002年12月～2003年3月 展示交流員と話そう. [内容指導] 1名.

#### 【企画調整事業】

2002年8月2・8日 2002年度博物館実習. ディスカバリー・ボックス製作 (山中 裕子・松尾 知と共同分担).

#### 【博物館研究部に関する業績】

生態系研究担当の研究推進 [サブグループリーダー].

### 館内人事、館外活動等に関すること

#### 【館内の人事】

2002年4月～ 昇任. 主任学芸員.

#### 【海外渡航】

2002年8月10日～8月25日 中国 国際会議出席 鳥類調査

#### 【館外の活動】

1997年4月1日～ 京都大学生態学研究センター 協力研究員

2000年12月22日～2003年3月31日 環境省 カワウ保護管理方策検討調査ワーキンググループ 委員

2001年5月15日～2003年3月31日 兵庫県伊丹市 昆陽池カワウ調査指導員 指導員

2001年7月17日～2003年6月23日 滋賀県大津市 大津市環境影響評価専門委員会 委員

2001年9月23日～ 滋賀県 カワウ対策連絡会議 委員

2002年2月15日～2005年2月14日 滋賀県 滋賀県環境影響評価審査会 委員

2002年10月1日～2003年3月31日 滋賀県 滋賀県立大学大学院 非常勤講師

## 専門員

研究部生態系研究担当  
(兼) 事業部交流センター

本年度の研究は、「マザーレイク 2 1 計画の理念から見た住民参加型ビオトープづくりの課題と可能性」というテーマで、滋賀県マキノ町海津地先での事例を参考に進めた。

滋賀県が策定した「マザーレイク 2 1 計画」は、「琵琶湖と人との共生」を基本理念とし、昭和47年から25年間にわたって実施された「琵琶湖総合開発計画」を引き継ぎ、琵琶湖の総合保全を目的としている。

一般的には、「琵琶湖総合開発計画」=開発、「マザーレイク 2 1 計画」=保全というイメージを持たれがちである。しかし、そのような視点以上に、二つの計画の重要な相違点は、「琵琶湖総合開発計画」が行政主導による公共事業が中心であったのに対し、「マザーレイク 2 1 計画」は住民参加・行政との協働が中心となっている点であると考えられる。

既に、琵琶湖流域の各地で地域住民による保全活動の取り組みが始まっている。こうした活動と行政の保全をめざす施策が、どのような仕組みのなかで、連携が図られるかが今後の大きな課題である。この研究を通して、琵琶湖流域に暮らす人々が、主体的かつ継続的に保全活動を実施していくための具体的な仕組みを考え、湖沼保全のモデルづくりに貢献していきたいと考えている。

## 印刷物

## 【一般向けの著作】

杉谷博隆・牧野厚史・宮本真二・榎永一宏・矢野晋吾・芦谷美奈子（編）（2002）23号・24号. 琵琶湖博物館広報誌「うみんど」. 8

杉谷博隆・牧野厚史・宮本真二・榎永一宏・矢野晋吾・芦谷美奈子（編）（2003）25号・26号. 琵琶湖博物館広報誌「うみんど」. 8

## 研究活動に関する業績

## 【学会・研究会での発表など】

杉谷博隆（2002.4.23）海津地区ビオトープ事業と環境学習との連携. 平成14年度農業農村整備計画セミナー. 全国農業土木技術連盟. ヤマハホール, 東京都銀座

杉谷博隆（2003.1.17）マザーレイク 2 1 計画の理念から見た住民参加型ビオトープづくりの課題と可能性. 琵琶湖博物館研究セミナー. 琵琶湖博物館. 琵琶湖博物館

## 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「マザーレイク 2 1 計画の理念から見た住民参加型ビオトープづくりの課題と可能性」（2002年度）

## 博物館事業に関する業績

## 【交流・サービス活動】

## 琵琶湖博物館の主催行事

2002.4.20～2002.12.7. 「里山の山菜」他. 里山体験教室, 日野町大字上駒月. 副担当

2002.5.12～2003.2.16. 「田植え」他. 田んぼ体験教室. 琵琶湖博物館 生活実験工房. 企画・実施

2002.4.14. 「中世のヨシ葺き屋根を作ってみよう」. 琵琶湖博物館はしかけ事業. 琵琶湖博物館. 助手

2002.5.25.「中世の機織りを体験しよう」. 琵琶湖博物館はしかけ事業. 琵琶湖博物館. 助手  
2002.8.10.「中世の遊びをやってみよう」. 琵琶湖博物館体験学習の日. 琵琶湖博物館. 助手  
2002.11.9 2002.11.23.「中世のはきものをつくろう」. 琵琶湖博物館体験学習の日. 琵琶湖博物館. 助手  
2002.12.14.「かがみもちをつくってみよう」. 琵琶湖博物館体験学習の日. 琵琶湖博物館. 助手

#### **他の博物館、組織・団体等の主催行事**

2002.9.10 2002.9.12 2002.9.24 2002.9.26.「農村の暮らし体験」. 教職経験者研修Ⅰ. 琵琶湖博物館. 講師  
2002.11.20 2002.11.21.「中世企画展スタッフ実習」. 新堂中学校2年生職場体験実習. 琵琶湖博物館. 指導

#### **研修会・視察対応**

独立行政法人農業研究センター. 2002.5.9. 琵琶湖の生態系と農業との関連について.  
財団法人日本グラウンドワーク協会. 2002.5.23 2002.5.24. 体験学習及び住民参加による事業活動に関する調査.  
湖南地域振興局. 2002.5.30. 展示案内. 琵琶湖博物館  
JICA水資源開発コース研修. 2002.6.20. 琵琶湖の生態系について.  
偕成社. 2002.8.18. 琵琶湖博物館における田んぼ体験教室について.  
甲西町農林課. 2002.8.26. ひょうたん池における生き物調査について.  
東京農業大学. 2002.11.22. 琵琶湖の生態系について.  
独立行政法人農業工学研究所. 2002.12.19. 博物館展示案内.  
マキノの夢の森づくり委員会. 2003.2.15. 博物館展示案内.  
愛知県知多市緑と花の推進室. 2003.2.25. 琵琶湖博物館における交流事業について.  
子供水フォーラム参加者. 2003.3.16. 博物館展示案内.

#### **【情報整備活動】**

琵琶湖博物館広報誌「うみんど」. 4回発行. 企画・編集 [主担当]

#### **【展示活動】**

企画展「中世のむら探検」. 企画・実施 [副担当]

## **館内人事、館外活動等に関すること**

#### **【館外の活動】**

2002年度. 滋賀県農政水産部耕地課企画調整担当. 主幹を兼務  
2002年度. 滋賀県農政水産部農村整備課「魚のゆりかご水田プロジェクト」. 検討会参加  
ウォーターフェア2002東京における琵琶湖の魚についての展示. 2002.7.29~2002.8.7. 水の週間実行委員会.  
展示担当

2002年度は、主に学位論文の仕上げに専念した。そのため、フィールド調査はほとんどできなかった。学位論文の一部は当該年度を含めてすでに4篇をしあげている。したがって、2002年度はおもにこれらを総括的にまとめた論文1篇を完成し、現在、海外の雑誌に投稿準備をすすめているところである。

## 印刷物

### 【学術論文】

MAEHATA, Masayoshi (2002) Features of the reproductive behavior of the rock catfish, *Silurus lithophilus*, Ichthyological Research, The Ichthyological Society of Japan. 49: pp.109-113.

MAEHATA, Masayoshi (2002) Stereotyped sequence of mating behavior of the Far Eastern catfish, *Silurus asotus*, Ichthyological Research, The Ichthyological Society of Japan. 49: pp.202-205.

### 【専門分野の著作】

前畑政善・長井健生 (2002) 水族館・博物館における希少淡水魚の系統保存. 生命の科学 遺伝. 裳華房 東京 56 (6) : pp.72-75.

前畑政善 (2003) 消えてしまった琵琶湖の魚, その復活は可能か. 魚類自然史研究会会報. 「ボテジャコ」(7) :1-24.

マーク ジョセフ グライガー・前畑政善 (2003) 水生大型甲殻類調査法. 農業土木技術者のための生き物調査 (その3). 農業土木学会誌70 (11) : 1025-1031.

### 【一般向けの著作】

前畑 政善 (2002) カムルチー. In:日本生態学会 (編) 外来種ハンドブック. 地人書館, 東京, 120.

前畑 政善 (2002) 岩床鯰と余呉鮒. 湖国と文化. 滋賀県文化振興事業団101 : pp.92-95.

前畑 政善 (2003) ナマズはなぜ田んぼをめざすのか? In:琵琶湖博物館 (編)「鯰—魚と文化の多様性—」サンライズ出版, 彦根市 : pp.107-121.

牧野厚史・北村孝・北村勇・泉峰一・藤岡康弘・大槻恵美・前畑 政善 (2003) 総合討論 鯰からみた田んぼのゆくえ. In : 琵琶湖博物館 (編)「鯰—魚と文化の多様性—」サンライズ出版, 彦根市 : pp.165-214.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表など】

前畑政善 (2002年5月17日) 琵琶湖産ナマズ類3種の繁殖生態. 琵琶湖博物館研究セミナー. 琵琶湖博物館セミナー室, 草津市 [口頭発表]

前畑政善 (2002年9月13日) 日本産ナマズ類3種の繁殖生態 学位審査公聴会. 京都大学理学部, 京都市 [口頭発表]

前畑政善 (2002年10月12日) 日本産ナマズ類3種の繁殖生態と系統との関連日本魚類. 学会年会. 日本魚類学会. 信州大学経済学部, 松本市 [口頭発表]

金尾滋史・山中佐紀子・沢田裕一・前畑政善 (2002年10月13日) 琵琶湖周辺の水田側溝における魚類群集の季節変化. 日本魚類学会年会. 日本魚類学会. 信州大学経済学部, 松本市 [ポスター発表]

前畑政善・長田智生・岡田隆 (2002年11月) 琵琶湖周辺の水田利用魚類の生態. 魚類自然史研究会. 島根県立宍道湖自然館ゴビウス [口頭発表]

金尾滋史・山中佐紀子・沢田裕一・前畑政善 (2002年11月) 琵琶湖周辺の水田側溝における魚類群集の季節変化. 魚類自然史研究会. 島根県立宍道湖自然館ゴビウス [口頭発表]

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究 「日本産ナマズ類3種の繁殖生態」 研究代表者

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

2001年6月(社)日本魚類学会 日本魚類学会自然保護委員会. [委員]

### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

2001年12月2日 滋賀県立大学大学院 生物多様性論「水辺エコトーンの機能を考える1」[講師]

2001年12月9日 滋賀県立大学大学院 生物多様性論「水辺エコトーンの機能を考える2」[講師]

金尾滋史. 修論指導. 滋賀県立大学大学院

山中佐紀子. 卒論指導. 滋賀県立大学

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス活動】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

2002年4月20日 里山体験教室. 里山観察会. 琵琶湖博物館, 日野町 [講師]

2002年4月21日 今森洋輔琵琶湖の魚原画展 モーニングレクチャー. 琵琶湖博物館企画展示室(滋賀県草津市) [講師]

2002年4月22日 今森洋輔琵琶湖の魚原画展 モーニングレクチャー. 琵琶湖博物館企画展示室(滋賀県草津市) [講師]

2002年5月28日 今森洋輔琵琶湖の魚原画展 モーニングレクチャー. 琵琶湖博物館企画展示室(滋賀県草津市) [講師]

2002年7月20日 里山の魚. 里山体験教室. 琵琶湖博物館. 日野町上駒月の里山(滋賀県蒲生郡日野町) [講師]

2002年7月23日 魚の群れ. モーニングレクチャー. 琵琶湖博物館 水族館企画展示室(滋賀県草津市) [講師]

2002年7月24日 魚の群れ. モーニングレクチャー. 琵琶湖博物館 水族館企画展示室(滋賀県草津市) [講師]

2002年8月1日 ナマズの研究. 常盤小学校Mスクール 琵琶湖博物館 博物館と田んぼ(滋賀県草津市) [講師]

2002年8月8日 ナマズの研究. 常盤小学校Mスクール 琵琶湖博物館 博物館実習室(滋賀県草津市) [講師]

2002年9月12日 魚とは何か モーニングレクチャー. 琵琶湖博物館水族展示室(草津市) [講師]

2002年9月13日 魚とは何か モーニングレクチャー. 琵琶湖博物館水族展示室(草津市) [講師]

2002年9月18日 魚とは何か モーニングレクチャー. 琵琶湖博物館水族展示室(草津市) [講師]

2002年10月27日 観察会. 「秋の里山を歩いてみよう」. 琵琶湖博物館(草津市) [観察用品等の輸送]

#### 他の博物館・組織・団体等の行事

2002年4月23日 琵琶湖の環境、魚. 第17回セタジミ祭 第17回セタジミ祭実行委員会. 琵琶湖湖上(大津市～西浅井町) [講師]

2002年5月16日 「水族展示について」. 平成14年度滋賀県高等学校理科教育研究会研修, 平成15年度滋賀県高等学校理科教育研究会. 琵琶湖博物館水族展示(草津市) [解説]

2002年6月8日 ヒトと魚が出会う場所. 近畿科教協研究集会滋賀集会. 近畿科学教育研究会科教協滋賀支部. 滋賀科学教育研究会. 近江兄弟社学園, 甲賀郡甲西町 [講師]

2002年7月16日 淡水魚入門講座. シニア自然大学. 大阪自然環境保全協会. 梅田東生涯学習ルーム, 大阪市 [講師]

2002年7月22日 淡水魚入門講座. シニア自然大学. 大阪自然環境保全協会. 梅田東生涯学習ルーム, 大阪市 [講師]

2002年7月29日 淡水魚入門講座. 野外実習 シニア自然大学. 大阪自然環境保全協会. 大戸川, 大津市 [講師]

2002年7月30日 淡水魚入門講座. 野外実習 シニア自然大学. 大阪自然環境保全協会. 大戸川, 大津市 [講師]

2002年8月6日 琵琶湖博物館紹介とバックヤード案内. 博物館実習. 大阪市立大学文学部. 琵琶湖博物館会議室・収蔵庫, 草津市 [講師]

- 2002年8月6日 投網体験と淡水魚の解剖、理科教育講座、滋賀県総合教育センター、琵琶湖博物館実習室・琵琶湖岸、草津市 [講師]
- 2002年9月10日 水族展示の解説、魚類採集 平成14年度教職経験者講習1、琵琶湖博物館、県総合教育センター、博物館水族展示、琵琶湖湖岸(草津市) [講師]
- 2002年9月12日 魚類に親しむ体験、教職経験者研修1、滋賀県総合教育センター、琵琶湖博物館実習室・琵琶湖岸、草津市 [講師]
- 2002年9月18日 水族展示の解説 魚類採集 平成14年度教職経験者講習2、琵琶湖博物館、県総合教育センター、博物館水族展示、琵琶湖湖岸(草津市) [講師]
- 2002年9月24日 魚類に親しむ体験、教職経験者研修1、滋賀県総合教育センター、琵琶湖博物館実習室・琵琶湖岸、草津市 [講師]
- 2002年10月2日 博物館実習、東大津高等学校、琵琶湖博物館実習室・琵琶湖岸、草津市 [講師]
- 2002年10月14日 びわ湖の環境と魚たち、チョコちゃん環境フェスティバル、滋賀県理容生活衛生同業組合、竜王町ドラゴンハット、蒲生郡竜王町 [講師]
- 2002年10月30日 魚の体のしくみ、鱗、鯰、常盤小学校ミュージアムスクール、琵琶湖博物館、琵琶湖博物館実習室、草津市 [講師]
- 2002年11月2日 川の生き物観察会、世界水フォーラムイベント守山川・目田川ウォッチング、豊穰の里赤井湾流域協議会、守山市の守山川・目田川、守山市 [講師]

#### 研修会・視察対応

- 2002年7月28日 琵琶湖博物館協議会 [水族企画展示、バックヤード案内]
- 2002年11月19日 砥部動物園職員 [博物館概要説明]
- 2002年11月20日 フィンランド学校職員ほか [水族バックヤード案内]
- 2002年12月11日 琵琶湖博物館協議会 [水族バックヤード案内]
- 2003年3月17日 世界子供水フォーラム [水路探検講師]

#### テレビ・ラジオ等への出演、協力

- 2003年3月31日 NHK 琵琶湖の魚紹介 [インタビューにて魚類の解説]

#### 【展示活動】

- 2002年5月18日～6月15日 ギャラリー展示「今森洋輔びわ湖の魚原画展」(琵琶湖博物館) [企画・運営, 主担当]
- 2002年7月13日～9月23日 水族企画展示「魚のむれ探検 魚はなぜ群れをつくる？」(琵琶湖博物館) [企画・運営, 主担当]
- 2002年8月20日～8月31日 今森洋輔イラストレーション教室子ども絵画展 (琵琶湖博物館) [企画・運営, 主担当]

## 館内人事、館外活動等に関すること

#### 【館外の活動】

- 2002年6月～2003年3月 環境省、自然環境局、平成14年度自然環境基礎調査検討会 [検討員(淡水魚類作業部会)]
- 2002年9月～ 滋賀県農政水産部 みずすまし構想推進委員会 [生態系保全専門部会委員]
- 2002年5月～2003年3月 (社)日本動物園水族館協会 種保存委員会 [技術部会人工繁殖検討委員]
- 2002年5月～2003年3月 (社)日本動物園水族館協会 種保存委員会 [日本産希少淡水魚繁殖検討委員会委員]
- 2003年1月～ 滋賀県土木交通部河港課 近江の川づくり検討委員会 (琵琶湖統合部会) [委員]

During the 2002 fiscal year my main research concerned the large branchiopod crustaceans of Asian rice paddies. In order to clarify the ranges of the species in Japan, I collected in Gifu, Mie, Shiga (especially NE and SE Shiga, in joint surveys with "Hashikake" teams), Nara, Tottori, Tokushima, Kagawa, Ehime, Fukuoka, and Kumamoto Prefectures, and received specimens from Miyagi, Shizuoka, Wakayama, and Okayama Prefs. Of the clam shrimps, *Leptestheria* was confirmed in northern Kyushu, and *Eulimnadia* just about everywhere. Again this year, I made repeated surveys of a specified block of rice fields, to monitor temporal changes in the "shrimp" species composition, and also their reproductive potential in the fall. I sent eggs of two forms (species?) of *Eulimnadia* to S.C. Weeks (Univ. Akron, U.S.A.) for laboratory rearing and determination of the sexual system, and alcohol-preserved specimens of *Triops* tadpole shrimps to G. Murugan and colleagues (Mexico) for morphometry and DNA sequencing. I also sent *Caenestheriella* and *Leptestheria* clam shrimps to J.W. Martin (Nat. Hist. Mus. Los Angeles County, U.S.A.) for taxonomic revision and DNA sequencing, and juvenile *Lynceus* clam shrimp to F.D. Ferrari (Smithsonian Inst., U.S.A.) for study of trunk limb development. Four new manuscripts were submitted to journals: 1) a survey guide for the larger crustaceans of rice paddies (with M. Maehata); 2) an SEM-based description of the nauplius larvae of *Eulimnadia* clam shrimp (with J. Olesen); 3) a description of the structure, ontogeny, and homologies of spinicaudatan clam shrimp trunk limbs (with F.D. Ferrari); and 4) new faunistic records of *Cyclestheria* clam shrimp in Southeast Asia (with J.W. Martin & S. Boyce). My efforts, with much local assistance, to collect large branchiopods in Taiwan in July failed, but later I received photographs of *Lynceus* clam shrimp from there.

Work on aquatic parasitology of the Lake Biwa region included the collection of helminths from various gobiid fishes for I.-S. Chen's co-evolutionary studies (Nat. Mus. Mar. Biol. & Aquarium, Taiwan), the provision of *Tanakia* spp. fishes infested with metacercaria larvae of "katsurada-kyuchu" to T. Shimazu (Nagano Pref. College) for experimental confirmation of the worms' identity, and the isolation of worms and mites from three species of Lake Biwa bivalve. I wrote a note (with M. Urabe) on introduced fish parasites in Lake Biwa for the Lake Biwa Museum's newsletter "Umindo" and made progress on a paper (with R. Hirasawa) on the wide host ranges of two nematode species in the Lake Biwa area. I provided much literature on Japanese nematomorphs to A. Schmidt-Rhaesa (Univ. Bielefeld, Germany), who identified the Lake Biwa Museum's collection.

In April, 2002, I accompanied G.L. Hendler (Nat. Hist. Mus. Los Angeles County, U.S.A.) to Okinawa for the first half of his 3-week stay there. Assisted by Y. Fujita and R. Tamura (Univ. Ryukyus), we surveyed the brittle-star fauna of the coral reefs mostly around Sesoko Is. and investigated in detail the nature and specificity of the relationship between the "brood-parasitic" juveniles of one species and its confamilial host. In February, 2003, I spent a week with S. Ohtsuka (Hiroshima Univ. Fisheries Lab.), preparing (but not finishing) a long-delayed taxonomic paper on a new genus of monstrilloid copepods.

Finally, two manuscripts concerning matters of zoological nomenclature, including a suggestion to clarify the intended meaning of Art. 13.1.1 of the International Code of Zoological Nomenclature, were submitted for publication.

2002年度の私の主な研究は、アジアの水田に生息する大型鰓脚類という甲殻類に関するものであった。日本種の生息域を確定するために、私は岐阜、三重、滋賀（特に北東部と南東部において「はしかけ」のグループと共同調査を

行った)、奈良、鳥取、徳島、香川、愛媛、福岡、熊本の各県で採集を行い、宮城、静岡、和歌山、岡山各県から標本を受け取った。カイエビ類の中では、九州北部においてトゲカイエビが確認され、ヒメカイエビはほとんどの地域で確認された。今年度も私は特定の田んぼで継続調査を行い、エビの種構成の一時的変化と秋期における繁殖可能性を観察した。私は2形態のヒメカイエビの卵を、研究室での飼育と性システムの決定のためにS.C.Weeks(米国、アクリオン大学)に送り、アルコール保存したカブトエビの標本を、形態計測とDNA配列のためにG.Muruganとその同僚(メキシコ)に送った。また、カイエビとトゲカイエビを、分類の訂正とDNA配列のためにJ.W.Martin(米国、ロサンゼルス郡立自然史博物館)に送り、タマカイエビの幼体を、脚の発達研究のためにF.D.Ferrari(米国、スミソニアン研究所)に送った。さらに、4編の新しい論文を学術雑誌に投稿した。1) 水田における大型鰓脚類の調査の手引き(前畑政善との共著)。2) SEM写真に基づくヒメカイエビのノープリウス幼生の記載(J.Olesenと共同)。3) カイエビの脚の構造、個体発生、および相同の記載(F.D.Ferrariと共同)。4) 東南アジアにおけるマルカイエビの新しい記録(J.W.MartinおよびS.Boyceと共同)。7月には、台湾で現地の協力を得て大型鰓脚類を採集しようとしたが、失敗に終わった。しかし、後日私はタマカイエビの写真を受け取った。

琵琶湖水域の水生寄生虫の研究の一環として、I.S.Chen(台湾、国立海洋生物博物館)の共進化研究のために、様々なハゼ科の魚から蠕虫を採取した。また、カツラダ吸虫のメタセルカリア幼虫が寄生しているアブラボテとヤリタナゴを、寄生虫の同定確認のために嶋津武(長野県短期大学)に提供したり、琵琶湖の二枚貝の3種から得た寄生虫や寄生ダニを検出した。私は琵琶湖博物館のニューズレター「うみんど」に、移入された魚類寄生虫について論説を書いた(浦部美佐子と共著)。また、琵琶湖の線虫2種の広範な宿主範囲に関して平澤理世と共同論文を執筆し、内容の進展をみる事ができた。私は日本産のハリガネムシに関する多くの文献をA.Schmidt-Rhaesa(ドイツ、ビーレフェルト大学)に提供し、彼は琵琶湖博物館のコレクションを同定した。

2002年4月、私はG.L.Hendler(米国、ロサンゼルス郡立自然史博物館)と沖縄へ行き、彼の3週間の滞在日程前半に同行した。藤田喜久氏と田村裕氏(琉球大学)の協力を得て、我々は主に瀬底島周辺のサンゴ礁におけるクモヒトデ相を詳しく調査し、1種の「血液寄生性」幼体と同科宿主との類縁関係の性質および特殊性を研究した。2003年2月、私は大塚攻氏(広島大学水産実験所)とともに1週間を過ごし、執筆が遅れているカイアシ類モンストリラ目の新しい属についての分類学的論文の執筆を行った(未完)。

最後に、動物の命名の問題に関する私の2編の論文が出版に向けて投稿され、その1編の中で、私は「国際動物命名規約」の条13.1.1の意味を明確にすることを提案した。

## 印刷物

### 【学術論文】

- Grygier, M. J., Kusuoka, Y., Ida, M. and Lake Biwa Museum Field Reporters (2002) Distributional survey of large branchiopods of rice paddies in Shiga Prefecture, Japan: a Lake Biwa Museum project based on lay amateur participation. *Hydrobiologia*, 486: 133-146.
- Olesen, J. and Grygier, M. J. (2003) Larval development of Japanese 'conchostracans': part 1, larval development of *Eulimnadia braueriana* (Crustacea, Branchiopoda, Spinicaudata, Limnadiidae) compared to that of other limnadiids. *Acta Zoologica* (Stockholm), 84: 41-61.

### 【専門分野の著作】

- マーク ジョセフ グライガー・前畑政善 (2002) 農業土木技術者のための生き物調査(その3) -水生大型甲殻類調査法-。農業土木学会誌, 70(11): 1025-1031.
- Grygier, M. J. (2003) Comment on the proposed conservation of the generic names *Porites* Link, 1807, *Galaxea* Oken, 1815, *Mussa* Oken, 1815 and *Dendrophyllia* Blainville, 1830 (Anthozoa, Scleractinia). *Bulletin of Zoological Nomenclature*, 60: 49-51.

### 【一般向けの著作】

- 楠岡 泰・マーク グライガー (2002) はしかけによる「田んぼの生きもの調査」マニュアル。琵琶湖博物館, 草津, 12 pp.

マーク ジョセフ グライガー・浦部美佐子 (2003) 海外から琵琶湖に移入した魚類寄生虫. うみんど, 26: 6.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表など】

- Olesen, J. and Grygier, M. J. (2001年7月25日) Branchiopod phylogeny in the light of "conchostracan" larval development - the monophyly of the "Conchostraca" is not supported by larval characters. *Fourth European Crustacean Conference and 2002 Annual Summer Meeting of The Crustacean Society*. University of Lodz, Lodz, Poland. 要旨集のp.118.
- Grygier, M. J. and Ohtsuka, S. (2002年7月26日) An undescribed, species-rich genus of monstrilloid copepods from coral reef plankton. *8th International Conference on Copepods*. National Taiwan Ocean University, Keelung, Taiwan, R.O.C. 要旨集のp.56.
- マーク・ジョセフ・グライガー (2001年6月16日) 琵琶湖とその集水域における水生動物の寄生虫相に関する研究. 琵琶湖博物館研究発表会. 琵琶湖博物館 (滋賀県草津市). 要旨集のpp.11-12.
- マーク・ジョセフ・グライガー (2001年6月16日) たんぼにおける大鰓脚類 (ハウネンエビ・カプトエビ・カイエビ類) に関する研究. 琵琶湖博物館研究発表会. 琵琶湖博物館 (滋賀県草津市). 要旨集のpp.14-15.
- マーク・ジョセフ・グライガー (2001年6月24日) 日本の水田における大鰓脚類 (ハウネンエビ・カプトエビ・カイエビ類) に関する研究. 日本科学者会議 (J S A) 九州農研分会第1回分会研究会. 九州沖縄農業研究センター (熊本県西合志町)
- マーク・J・グライガー (2002年12月20日) 国際動物命名規約の条13.1.1における表現の問題: カイアシ類モンストリラ目の1種を例として. 琵琶湖博物館研究セミナー. 琵琶湖博物館 (滋賀県草津市)
- シンポジウム「使える琵琶湖博物館をめざしてー研究推進型博物館をどう利用するかー」. (2003年3月2日) 琵琶湖博物館 (滋賀県草津市): アトリウム展示の係
- 世界水フォーラム (2002年3月21日) 大津プリンスホテル (滋賀県大津市): 会場・受付の係

### 【研究プロジェクト等への参加】

- 琵琶湖博物館総合研究「博物館資料の収集・整理・保管と利用に関する研究」研究協力者 (2001年～)
- 琵琶湖博物館共同研究「琵琶湖とその集水域における水生動物の寄生虫相に関する研究」研究代表者 (2000年～2003年)
- 琵琶湖博物館共同研究「たんぼにおける大鰓脚類 (ハウネンエビ・カプトエビ・カイエビ類) に関する研究」研究代表者 (2000年～2003年)
- 琵琶湖博物館専門研究「甲殻類の系統分類学・海洋無脊椎動物の寄生虫に関する研究」(1997年～)

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

- 日本動物分類学会. Species Diversity. [Editorial Consultant]
- 日本ベントス学会. Benthos Research. [編集委員 (English editor)]
- 日本ベントス学会. Japanese Journal of Benthology. (日本ベントス学会誌) [編集委員 (English editor)]
- 日本付着生物学会. Sessile Organisms. [編集委員 (English editor)]
- Zoological Institute, Russian Academy of Sciences. Zoosystematica Rossica. [International Advisory Board]
- 日本動物学会. Zoological Science. [査読 1件]
- 日本陸水学会. Limnology. [査読 2件]
- 日本甲殻類学会. Crustacean Research. [査読 1件]
- The Crustacean Society. Journal of Crustacean Biology. [査読 1件]
- Biological Society of Washington. Proceedings of the Biological Society of Washington. [査読 1件]
- Institute of Zoology, Academia Sinica. Zoological Studies (Proceedings of the Eighth International Conference on Copepoda). [査読 3件]
- The Arctic Institute of North America. Arctic. [査読 1件]

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス活動】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

はしかけ：田んぼの生き物調査グループ. [副担当]

フィールドレポーター：フィールドレポーター掲示板, 22, pp.2-3. [山崎千晶によるインタビュー].

2002年8月6日「資料担当の全体説明」. 平成14年度博物館実習. 琵琶湖博物館（滋賀県草津市）. [発表者]

2002年8月24日～25日「プランクトン（その他の生物）」. 平成14年度夏休み相談室. 琵琶湖博物館（滋賀県草津市）.  
[担当者]

#### 研修会・視察対応

2002年10月24日 研修会. 琵琶湖博物館. 平成13年度JICA衛生・環境分析技術者研修

2003年3月7日 研修会. 琵琶湖博物館. ミシガン州立大学連合日本センター

### 【資料整備活動】

#### 琵琶湖博物館の資料整備活動

無脊椎動物（昆虫、貝類以外）32件（499点）. [標本受入]

甲殻類大型鯉脚類338点. [標本同定]

甲殻類等脚類21点. [標本同定依頼]

甲殻類ムカシエビ類6点. [標本同定依頼]

ヒル14点. [標本同定依頼]

ハリガネムシ20点. [標本同定依頼]

甲殻類338点. [標本仮データ入力]

#### その他の資料整備活動

カイアシ類2点. シチェチェン農大（ポーランド）. [貸出]

線虫13点、条虫8点. チェコ科学アカデミー寄生虫研究所（チェコ）. [研究依頼]

### 【展示活動】

#### 琵琶湖博物館の展示活動

Rossiter, A. [author], Frenette, J.-J. & Grygier, M. J. [contributors] (2003) A Guide to the Lake Biwa Museum. Lake Biwa Museum, Kusatsu, 124 pp.

滋賀県立琵琶湖博物館（編）, 鯉 -魚と文化の多様性-, 淡水文庫26, サンライズ出版, 彦根市, 214+6 pp. [Mark J. Grygier: 作成協力]

## 館内人事、館外活動等に関すること

### 【館外の活動】

2003年2月4日更新（米国）スミソニアン研究所国立自然史博物館（生物体系学研究部無脊椎動物研究科）. [協力研究員]

（米国）ロサンゼルス郡立自然史博物館資料・研究部（無脊椎動物学研究科）. [協力研究員]

2002年度は、専門研究のテーマを「多自然型川づくりの評価手法」としていたが、これに加えて「彦根における降雨特性の変動」についても傾向分析を行い、また共同研究「堅田内湖における魚類の生態に関する研究」においては研究副代表として研究調査を行った。なお、専門研究にあたっては土木交通部河港課との兼務でもあり、県の河川行政で活用することに主眼をおいて取り組んでいる。

### 1. 多自然型川づくりの評価手法

平成9年の河川法改正において「河川環境の整備と保全」が法の目的として追加され、河川改修は基本的に「多自然型川づくり」として実施されるようになった。しかし実際の現場では、親水護岸や植生護岸など工法に偏重したものや人工的に作りすぎたものなど、必ずしも適切とは言えない事例もある。「多自然型川づくり」の評価をしっかりと行い、今後の川づくりへ反映していくことが滋賀県の河川行政の課題でもあり、河港課と連携して「多自然型川づくりの評価手法」の開発を進めることとした。2002年度はまず既往の評価手法を収集するとともに、現場担当者を含めた評価検討ワーキング(3回)により、評価指標の抽出と定量的な評価手法の検討を行った。今後はモデル河川においてその適用性を検証する予定である。なお抽出した評価指標の主なものは以下のとおりである。

#### (1) 生物の生息・生育環境要素

- ①河川林幅(日射遮断・有機物供給・倒木供給・[水質保全]・生物の生息環境提供に必要な保全推奨幅)
- ②植生分布(冠水頻度別面積割合)
- ③必要水量(対象魚種に必要な水深および流速)
- ④H I M10項目(滋賀県改良版として横断方向の連続性を追加)

#### (2) 生物の生息状況

- ①種の多様性(生息している生物種類数と多様性指数)
- ②生態系構造(上位性、移動性、貴重性、良好環境、環境悪化の各指標生物の出現)

### 2. 彦根における降雨特性の変動

近年の大雨の規模や発生頻度の状況は時として異常気象として認知され、あるいは地球温暖化の影響として見られる向きもあるが、いずれにしても降雨特性が変動することは治水計画上、確率水文学の根拠を揺るがし重大な影響を与えることとなる。そこで滋賀県内で最も古くから気象観測が行われている彦根地方気象台の降雨データを用い、24時間雨量が100ミリメートルを越える降雨を対象として降雨特性の変動について類推を試みた。データ数は50降雨と少ないものの、近年の強い降雨は短時間で収束する傾向が得られ、このことを研究セミナーで報告した。

### 3. 堅田内湖における魚類の生態に関する研究

前年度までの調査では堅田内湖は他の内湖と比較して多様な魚類組成を維持していることが確認されている。2002年度は共同研究の最終年度であり、堅田内湖において魚類採集およびオオクチバス・ブルーギルの胃内容物の調査などを行うとともに、既存資料を収集整理し、魚類相と内湖環境の関係について類推を試みた。2000年度に県で実施された32箇所の内湖調査結果を見ると、集水域の市街地率が高い内湖はブルーギルとオオクチバスの占有率が低い傾向にあり、湖水の透視度の低い内湖も同様の傾向が見られた。このことから生活排水等の都市排水の流入による透視度の低さがブルーギルとオオクチバスの増加に何らかの制限要因となる可能性が推察された。濁りの原因説明には至らなかったが、堅田内湖の透視度は上昇傾向にあり、これは下水道の普及に追随しているものと推察された。

## 印刷物

### 【一般向けの著作】

野崎信宏(2003)琵琶湖博物館紹介. SHIGA建設No.42. 滋賀県建設技術協会, 大津. 59-61.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表など】

野崎信宏（2002.12.20）彦根における降雨特性の変動について、琵琶湖博物館研究セミナー、琵琶湖博物館、琵琶湖博物館、滋賀県草津市

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館共同研究「堅田内湖における魚類の生態に関する研究」（2002年）  
琵琶湖博物館専門研究「多自然型川づくりの評価手法に関する研究」（2002年）

### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

博物館実習（2002.8.1）屋外展示、琵琶湖博物館博物館実習  
博物館実習（2002.8.2）B展示室、琵琶湖博物館博物館実習。（橋本道範と分担）

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス活動】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

2002年5月12日 田植え、田んぼ体験教室、琵琶湖博物館、滋賀県草津市、運営補助

#### 研修会・視察対応

2002年5月29日 国土交通省 [視察対応]  
2003年1月22日 大阪府河川課 [視察対応]  
2003年2月26日 栗東市役所 [視察対応]  
2003年3月18日 第3回世界水フォーラム参加者 [視察対応]

### 【情報整備活動】

土木関係写真、1 [借用受入れ]

### 【資料整備活動】

近江国琵琶湖淡水魚絵巻、1. [購入]  
歴史資料、3. [購入補助]

### 【展示活動】

野崎信宏、常設展示、維持管理 [主担当]  
野崎信宏、屋外展示、植栽・施設管理 [主担当]  
野崎信宏、環境絵馬展示ソフト、更新企画・制作管理 [主担当]  
野崎信宏、ミクロの世界更新、更新企画・制作管理 [主担当]  
野崎信宏、第11回企画展、進行管理 [副担当]

## 館内人事、館外活動等に関すること

### 【館外の活動】

2002年 滋賀県多自然型川づくり評価検討ワーキング、ワーキング担当  
2002年 琵琶湖総合保全整備計画、ワーキング担当

2002年 琵琶湖湖辺域保全・再生検討委員会ワーキング担当国会議, 運営補助  
2002年 淡海の川づくり検討委員会, 運営補助  
2002年 滋賀県内河川川づくり会議, 運営補助  
2003年 2月1日 淡海の川づくりフォーラム, 運営補助  
2003年 3月20日 第3回世界水フォーラム分科会「流域管理と住民参加」, 運営補助

## 主査

研究部生態系研究担当  
(兼) 事業部交流センター

森林は、水土保全、生活環境保全、人間の健康促進（森林浴など）というように私たちの生活に多面的に貢献しています。それらの森林機能を効果的に発揮してくれるためには、木々の健全性の維持が不可欠な要素です。私は、その観点から「樹木の健全性と森林の効用」を研究テーマとしています。具体的には、樹木の健全性の面では、滋賀県内の樹木の病虫獣害等のデータの収集や樹木の健全性の簡易診断法の検討、特に、葉のクロロフィル蛍光測定から健全性を診断する方法を検討しています。森林の効用の面では、里山の再生と活用法の調査、特に、森林療法など人間の健康面での活用法を研究しています。

## 印刷物

## 【専門分野の著作】

- 長崎泰則・満井千鶴人（2002）ヒノキ林における間伐の土壌等への影響. 滋賀県森林センター業務報告, (35) : 5-15.
- 長崎泰則（2002）ヒノキ林における降雨がもたらす土壌の酸性化等に関する研究. 滋賀県森林センター業務報告, (35) : 30.

## 【一般向けの著作】

- 長崎泰則（2002）. 森林認証アンケート集計!. 滋賀県森林センターだより, (第2号) : 3.
- 長崎泰則（2002）. 教職員の新規採用者研修で森林・林業教育!. 滋賀県森林センターだより, (第3号) : 2-3.
- 長崎泰則（2002）. 滋賀県林業職員森林所有意向アンケート. 滋賀県森林センターだより, (第4号) : 2-3.
- 長崎泰則（2003）. 琵琶湖博物館ギャラリー展示「森づくり・・・琵琶湖をはぐくむ森と人・・・」開催中!. 滋賀県森林センターだより, (第5号) : 3.

## 研究活動に関する業績

## 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「滋賀県における里山の再生と活用について」

## 博物館事業に関する業績

## 【交流サービス活動】

## 琵琶湖博物館の主催行事

- 2002年4月13日 はしかけ活動「里山の会 里山体験教室下見」. 滋賀県蒲生郡日野町上駒月. (企画・実施)
- 2002年4月20日 里山体験教室(春編)「里山の山菜」 滋賀県蒲生郡日野町上駒月. (企画・実施)
- 2002年5月11日 はしかけ活動「里山の会 夏そば種まき」. 滋賀県蒲生郡日野町上駒月. (企画・実施)
- 2002年6月22日 はしかけ活動「里山の会 そばの草刈り」. 滋賀県蒲生郡日野町上駒月. (企画・実施)
- 2002年7月13日 はしかけ活動「里山の会 里山体験教室下見」. 滋賀県蒲生郡日野町上駒月. (企画・実施)
- 2002年7月20日 里山体験教室(夏編)「里山の虫たち」滋賀県蒲生郡日野町上駒月. (企画・実施)
- 2002年8月3日 はしかけ活動「里山の会 そばの脱穀、製粉」. 琵琶湖博物館. 滋賀県草津市. (企画・実施)
- 2002年9月7日 はしかけ活動「里山の会 秋そば蒔き」. 滋賀県蒲生郡日野町上駒月. (企画・実施)
- 2002年10月12日 はしかけ活動「里山の会 里山体験教室下見」. 滋賀県蒲生郡日野町上駒月. (企画・実施)

- 2002年10月19日 里山体験教室（秋編）「里山のキノコ」滋賀県蒲生郡日野町上駒月。（企画・実施）  
2002年11月24日 はしかけ活動「里山の会 そば収穫」, 滋賀県蒲生郡日野町上駒月。（企画・実施）  
2002年11月30日 はしかけ活動「里山の会 里山体験教室下見」, 滋賀県蒲生郡日野町上駒月。（企画・実施）  
2002年12月7日 里山体験教室（冬編）「里山のくらし」滋賀県蒲生郡日野町上駒月。（企画・実施）  
2002年1月25日 はしかけ活動「里山の会 総会」, 琵琶湖博物館, 滋賀県草津市。（企画・実施）  
2003年3月16日 はしかけ活動「里山の会 シイタケ植菌」, 滋賀県蒲生郡日野町上駒月。（企画・実施）

## 館内人事、館外活動等に関すること

### 【館外の活動】

1999年4月1日～ 滋賀県森林センター 主査（林業専門技術員）を兼務

共同研究「堅田内湖における魚類の生態に関する研究」では、同内湖でブルーギルおよびオオクチバスが異常増殖していない原因を解明するため、これらの繁殖行動の水中ビデオ観察、成魚の摂餌実態の調査、仔稚魚の餌料環境としてのプランクトン動物調査等を行った。その結果、日中に親魚が離れたブルーギルの産卵床を小型のブルーギルが集団でおそうことが観察されたものの、ほかの生物が産卵床に来遊することは昼夜(夜間は赤外線撮影)を問わずほとんど観察されなかった。成魚の肥満度はブルーギル、オオクチバスともに琵琶湖や他の内湖にくらべて高く、オオクチバスの胃からはタイリクバラタナゴや在来魚が多数出現し、ブルーギルは出現しなかった。また、左右対称性のゆらぎ(FA)に注目した結果、ブルーギルの胸びれ長のFAが南湖などの集団にくらべて大きく、この内湖における稚魚期以降の淘汰圧が異常に低い可能性が示唆された。いっぽう、他の内湖でブルーギル、オオクチバスの稚魚が多く捕食していたミジンコ類が、堅田内湖にはわずかしこ出現せず、これらの稚魚も採集されなかった。以上のような結果から、堅田内湖における魚類生態系の現状は、ブルーギル、オオクチバスの増殖が仔稚魚期以前の段階で何らかの要因によって抑制されたものであり、それは少なくとも魚種間の直接的な相互作用に基づく共生的なものではない実態が明らかになってきた。その要因については、いまのところ同内湖の特性の一つである水の濁りがブルーギル、オオクチバスの繁殖行動におよぼす影響やプランクトン組成の特徴(ワムシ類が多くミジンコ類が少ない)による仔稚魚餌料の不足などの可能性を考えている。

専門研究「水産生物における遺伝的多様性の管理に関する研究」では、滋賀県水産試験場醒井養鱒分場と協力し、ニジマスの遺伝的多様性の制御に関する技術開発を進めた。とくに、精子の遺伝子だけで個体を発生させる雄性発生誘導技術について、簡便で安全な紫外線(殺菌灯)を用いて卵の遺伝的不活性化を安定的に達成する技術の開発に一定のめどがついた。雄性発生誘導技術は、養殖魚の選抜育種の効率化につながるだけでなく、精子凍結による希少魚類の遺伝子保存にも応用することが可能である。

また、琵琶湖固有種であるセタシジミの資源回復をめざして滋賀県水産試験場在職時に担当した種苗放流効果試験(1992年度~1995年度)の成果の一部をとりまとめ、滋賀県水産試験場研究報告に寄稿するとともに、琵琶湖博物館研究セミナーで発表した。

## 印刷物

### 【専門分野の著作】

井戸本純一・橋本佳樹(2003) 琵琶湖砂浜帯におけるセタシジミD型仔貝の放流効果. 滋賀県水産試験場研究報告, 50: 51-64.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表など】

井戸本純一(2002年12月20日) セタシジミ増殖の現状と課題. 琵琶湖博物館研究セミナー. 琵琶湖博物館(滋賀県草津市).

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館共同研究「堅田内湖における魚類の生態に関する研究」 研究代表者  
琵琶湖博物館専門研究「水産生物における遺伝的多様性の管理に関する研究」

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス活動】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

- 2002年5月26日「姉川のヤナを見に行こう」観察会. びわ町中浜. [副担当]  
2002年7月28日「漁船に乗ってエリの漁を見に行こう」観察会. 守山市木浜. [主担当]  
2002年11月16日「ビワマスの産卵を調べよう」観察会. マキノ町知内. [副担当]  
2003年3月2日「水族展示の舞台裏」見学会. 琵琶湖博物館水族展示室. [主担当]  
2003年3月21日「琵琶湖の漁業を体験しよう」観察会. 草津市下物町. [主担当]

#### 研修会・視察対応

- 2002年7月22日～26日 夏期集中講座「琵琶湖探求」. 滋賀県立石部高校. [指導]  
2002年9月26日 展示について（水族展示）. 滋賀県教職経験者研修Ⅰ. [講師]  
2002年12月17日 先進環境教育施設等の視察調査. 熊本県環境センター

#### 印刷メディア（新聞・雑誌・書籍等）等への出演・協力

- 2003年1月27日 ビワコオオナマズ幼魚のトピック展示について. [資料提供]  
2003年3月16日 なぜ？なに！イラスト探検隊（エリ漁について）. 京都新聞

### 【展示活動】

#### 琵琶湖博物館の展示活動

- 常設展示室C「淡水の生き物たち」の維持管理.  
展示製作用大判プリンターの整備ならびに運用補助.  
第11回企画展示「外来生物 つれてこられた生き物たち」実施設計. [副担当]  
2002年4月24日 展示交流員新任研修. 水族展示について. [主担当]  
2003年2月14日 展示交流員館外研修. 大阪海遊館. 大阪市港区海岸通. [指導]

森林伐採の研究を通じて、人間の森林に対する管理、働きかけが、森林の物質循環や水質調節機能にどのような影響を及ぼすか、森林土壌や水、及び、下流域の琵琶湖に与える影響を明らかにすることを目的として研究を行っている。

これまで、対照流域法により、伐採前から伐採流域と、対照としての森林流域の水文観測を通じて、数年間にわたり普段の水と大雨の水の観測を続けてきた。その結果、伐採前には流出の少なかった富栄養化物質である硝酸イオンが、大雨時には伐採流域にのみ高濃度に流出することを明らかにした。これらの結果は、生態学会や湖沼会議でも発表し、館の共同研究発表会でも報告したが、森林伐採(皆伐)により表層土壌の吸着塩基が溶脱を起し、伐採1年後、斜面平均で約7割に減少すること、また、硝酸が斜面中、下部で形成され、それが台風などの大雨流出の際高濃度に流出すること(最高濃度10.54mg/l)、量として、この台風一雨で約10kg/haの硝酸が伐採地に流出し、森林流域の流出量0.26 kg/haの約40倍になることを明らかにし、斜面下部の保全の重要性を指摘したことなどである。これは、琵琶湖研究所、滋賀県立大、都立大との共同研究「森林伐採が環境に及ぼす影響」や、申請専門研究でも進めてきた。

数年間、月別、大雨時にサンプリングした降水、土壌浸透水、渓流水について、硝酸以外の他のイオン、主要成分についても分析を進め、その組成についての検討を行った。その結果、伐採前には伐採流域、森林流域共に組成が非常に類似しているのに対し、伐採後は、特に大雨時に組成が急変することを、博物館の研究セミナーで報告した。また、斜面の上部、中部、下部という斜面位置の異なる土壌浸透水についても解析を行っている。現在、森林生態系の森林及び水系の水生生物にとって、害物質として重要なアルミニウムについて分析を進めている。また、降水量、水位の水文データを入手し、流出量についても検討を行っている。月刊海洋には共著で伐採実験の紹介と現在までの成果の概略を紹介した。

申請専門研究では、混合による渓流水質の形成メカニズムを中心に、特に大雨流出時の水質の変化に焦点を当てて、研究を行った。それによると、大雨直接流出時の硝酸イオン濃度は、主に斜面中部及び下部の表層と下層の高濃度硝酸を含む土壌浸透水により、ピーク流出時に高い硝酸濃度が維持されていることを明らかにした。また、斜面上部は硝酸を発生しないことも明らかになった。このこととあわせ、斜面表層で硝酸が形成される環境条件について調べるために表層から下層の土壌水分量と温度について連続的なデータロガーによる観測を続けている。この要因究明は、応用的には、伐採しても硝酸化が起こりにくい方法を見いだすために大変重要である。人の森林管理の一形態としての伐採が森林の窒素循環を乱し、大量の富栄養化物質を流出する森林に変えてしまう結果となりつつあるが、どのような管理方法が琵琶湖への負荷の少ない水質保全的な森林につながるのか知見を得るために館外研究者との共同研究を進めている。具体的には、最も多く硝酸を発生する斜面下部を面的に切らずに残して、発生させないと同時に、他所からの流入分を吸収させる管理方法を提案した。その有効性や、また、発生した硝酸を吸収できる草本の播種や、萌芽再生樹木を積極的に残して植生に吸収させる従来型の管理方法等の有効性を確かめることなどを目的として、100m x 10mコドラートを単位とした小面積伐採実験を共同で計画開始し、今年7月から伐採前の土壌浸透水や土壌水分、土壌温度などの環境条件データを収集している。2003年度秋に伐採処理して継続測定し、その影響の違いを評価する予定である。

また、植物標本、資料の研究として、滋賀県で故橋本忠太郎氏が過去に採集された標本のデータベース再構築に2002年から着手し、現在までに公開業務の方々の協力でコケ474種の標本データ、維管束植物約2000点の素データ入力を行った。これには、主に大正時代から昭和初期にかけての人為的な影響が少ない時代の標本が含まれており、データ蓄積を進めている滋賀県の現在のフローラ(植物相)の解明に対応して、過去から現在への変化という視点で進めているものである。2003年3月には、琵琶湖博物館のさく葉標本の製作・登録・管理マニュアルがみんなの知恵と試行錯誤の積み重ねを集めて、出来上がった。

また、今年度夏、びわ湖・フブスグル湖交流協会主催の温暖化と水位上昇問題の生じているフブスグル湖集水域での調査に同行し、近年モンゴルで多発している森林火災跡地(フブスグル国立公園内)の森林再生の緩慢さに驚き、長期コドラートを設置して定着実生の調査を開始した。その結果、ほぼ唯一の優占樹種シベリアアカマツの林が樹冠火災を受けた場合、十数年後でも、その実生による更新が非常に少ないことが明らかとなった。現地の気候的条件、

森林構成種、更新の仕方、火災による環境変化、放牧による影響等様々な要因を検討中である。

一方、2002年9月から2003年3月まで中国湖南省森林植物園の曾志新氏を技術研修生として迎え、「自然保護とエコツーリズム」というテーマで指導した。ツーリズムが盛んになり出した今後の中国での施策に生かせるべく、日本の国立公園の施設の現状と問題点を視察した。

同時に、2003年1月4日～2月28日まで、ギャラリー展「森づくり－琵琶湖をはぐくむ森と人」の準備・開催を手伝った。

## 印刷物

### 【専門分野の著作】

濱端悦治・國松孝男・草加伸吾 (2002) 「硝酸態窒素の流出に及ぼす森林伐採の影響－琵琶湖集水域での野外実験から－」, 月刊 海洋, 34(6)396-401.

布谷知夫・草加伸吾・芦谷美奈子・桑垣瑞・中井大介 (2003) 琵琶湖博物館植物さく葉標本製作・登録・管理マニュアル. 琵琶湖博物館資料目録(9):104-111.

吉良竜夫・草加伸吾 (2003) 「カレハガの大発生」, グリーン・パワー, 290 : 36-39.

### 【一般向けの著作】

草加伸吾 (2003) どこでも博物館「朽木朝日の森でのフィールド実験」, うみんど (湖人) (琵琶湖博物館), 8 (1) : 7.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会で発表など】

草加伸吾 (2002年7月28日) 森林伐採の水系影響－大雨流出観測からわかること－, 第13回滋賀自然環境研究会発表会, 彦根勤労福祉会館 (滋賀県彦根市).

草加伸吾 (2002年10月19日) フブスグル湖カラマツ林火災の現場とその森林復活再生の可能性は? 「モンゴル・フブスグル湖からの情報配達 I」びわ湖・フブスグル湖交流協会. 大津市生涯学習センター視聴覚室 (滋賀県大津市)

草加伸吾 (2003年1月17日) 現在までに森林伐採実験でわかってきたこと. 琵琶湖博物館研究セミナー. 琵琶湖博物館 (滋賀県草津市).

草加伸吾 (2003年2月23日) モンゴル北部の森林植物と山火事災害. 滋賀県植物研究会講演会, 琵琶湖博物館 (滋賀県草津市)

吉良竜夫・草加伸吾 (2003年3月8日) フブスグル湖の湖盆における天然の植生、森林火災および森林の再生－水域環境への負荷に関する記録とともに－, 「モンゴルの湖沼－環境の現状と変化」ワークショップ. びわ湖・フブスグル湖交流協会. 滋賀県琵琶湖研究所 (滋賀県大津市). : 前半と後半に分け、後半で森林火災と再生状況、水域環境への影響について講演した.

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「植生と水質調節：降雨流出時の水質変化の組成解析」研究代表者 (1995年度～).

琵琶湖フブスグル湖交流協会研究プロジェクト「モンゴル・フブスグル国立公園からの環境情報発信と環境教育支援」研究分担者

### 【大学での講義・実習、学生の指導など】

中国湖南省技術研修生 (曾志新氏：湖南省森林植物園) の受け入れ、テーマ指導. テーマ：自然林保護とエコツーリズム

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス活動】

もよおしもの案内ちらし・カレンダー編集印刷業務主担当  
「うみっこ」編集委託業務主担当

### 琵琶湖博物館の主催行事

2002年11月16日 「紅葉の秋探して歩こう」フィールド観察会、滋賀県朽木村麻生、朝日の森 搦み谷周辺。

### 他の博物館、組織・団体等の主催行事

2002年6月14日 「森林と琵琶湖の共生」、滋賀県六年次教員研修、滋賀県総合教育センター（滋賀県野洲町）[講師]

2002年7月25日～26日石部高校ミュージアムスクール課題研究指導「森林の分布と歴史的推移」

2002年12月5日 「森林と水環境」、高校理科部会生物部会研修、琵琶湖博物館会議室（滋賀県草津市）、[講師]

### 【資料整備活動】

#### 琵琶湖博物館の資料整備活動

屋外展示植栽苗木由来調査

植物標本資料収集整理（モンゴル国植物標本資料用53点）

橋本忠太郎植物標本整理：3700点の維管束植物データベース入力整理（日下部さん、岡部さん、坂口さん、嶋田さんと）

植物収蔵庫維持管理副担当者

実験温室主担当

### 【展示活動】

#### 琵琶湖博物館の展示活動

2003年1月4日～2月28日「森づくりー琵琶湖をはぐくむ森と人」博物館企画展示室 [ギャラリー展示副担当]

2003年1月7日ギャラリー展 交流員研修

2002年4月18日、19日 新任職員研修(C展示・屋外展示)

2002年9月11日、12日、17日 展示交流員、[モーニングレクチャー]

2002年12月～2003年1月 展示交流員と話そう、[内容指導] 2名、

平成14年度屋外展示植栽維持管理業務（野崎信宏氏と共同）、

屋外展示「太古の森」苗圃排水促進工事实施（野崎信宏氏と共同）、

屋外展示植栽木（高木、亜高木）ラベル調査実施（落下、読めないもの対応）

植栽空間管理用コドラート杭設置

## 館内人事、館外活動等に関すること

### 【海外渡航】

2002年7月31日～8月12日 モンゴル、フブスグル湖集水域山火事跡地調査、蛾食害地視察、植物標本収集

### 【館外の活動】

滋賀県森林センター委員

琵琶湖研究所共同研究者

滋賀県博物館協議会研修委員会委員

琵琶湖にはさまざまな繊毛虫(原生動物)が生息しているが、その生活史はおろか、存在すら報告されていない種が多い。そのうちのある種が餌の密度によって形態が変化することを以前みつけた。この種は餌濃度が高いときは吻(餌を捕獲するための器官)の長さが短い、餌密度が低くなると吻の長さが伸長した。吻の長さや餌の捕獲効率の関係を解析した。

2002年12月から2003年3月まで文部科学省在外派遣研修生として、英国ロンドンのThe Natural History Museumで繊毛虫を中心とした原生動物の染色法、永久プレパラート(スライド標本)の作製法および標本の保存法について学んだ。繊毛虫の多くはホルマリンなどで固定すると細胞は破裂してしまう。このためか、国立科学博物館をはじめ日本の博物館には系統だった繊毛虫の標本はない。自然史博物館には長い原生動物研究の歴史があり、200年以上も前からの原生動物のプレパラートが保存されている。ここでは現在でもカナダバルサムによる包埋を行っている。これはカナダバルサムによる包埋標本が200年経過しても変色はあるものの、ほとんど形態的には変化していないためである。ニューヨークの米国自然史博物館では1930年代からワムシ類などの微小生物のプレパラート標本にはすべてMurrayite という合成包埋材が使われていた。最近 Murrayite の劣化が著しく、多くの貴重な標本が失われつつあり、大きな問題になっていると聞く。ロンドンの自然史博物館では博物館の標本は数百年後研究者が利用できることを念頭に保存しなければならないことを学んだ。

## 印刷物

### 【学術論文】

Mark J. GRYGIER, Yasushi KUSUOKA, Miyoshi IDA and the Lake Biwa Museum Field Reporters.  
(2002年12月) Distribution survey of large branchiopods of rice paddies in Shiga, Japan, a museum project based on lay amateur participation. *Hydrobiologia* 486: P133-146.

### 【専門分野の著作】

楠岡 泰 (2003年3月) 原生動物の調査法. 地球環境調査計測事典第2巻陸域編②. (株)フジ・テクノシステム, 東京都. P108-110.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表など】

Yasushi Kusuoka (2003年3月13日) Lake Biwa Museum: the integration of research results into public displays. *Special Zoology Seminar*. Zoology Department, The Natural History Museum. The Natural History Museum. London UK

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館共同研究「田んぼにおける大鰓脚類(ハウネンエビ・カブトエビ・カイエビ類)に関する研究」共同研究者(2001年)

琵琶湖博物館専門研究「琵琶湖における共生藻類をもつ繊毛虫の生態」研究代表者(2002年)

## 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

日本動物学会. Zoological Science [論文査読 1件]

## 【大学の講義・実習、学生の指導など】

Yasushi KUSUOKA (2002年9月24日) Environmental education: a case study in the Lake Biwa Museum.  
JICA and ILEC Environmental education course focused on aquatic environments

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス活動】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

2002年4月20日. 里山の山菜. 里山体験教室, 日野町上駒月. [補助]  
2002年6月9日. 田んぼの生き物. フィールド観察会. 琵琶湖博物館, 草津市下物. [主担当]  
2002年7月20日. 里山の虫たち. 里山体験教室, 日野町上駒月. [補助]  
2002年8月24日・25日. プランクトンおよび微小生物. 夏休み相談室. 琵琶湖博物館, 草津市下物. 微小生物担当  
2002年10月19日. 里山のキノコ. 里山体験教室, 日野町上駒月. [補助]  
2002年10月27日. 秋の里山を歩こう. フィールド観察会, 大津市仰木. [主担当]

#### 他の博物館、組織・団体等の主催行事

守山高校. 2002年7月16日・17日. 陸水学の基礎: 生態観察池での観測. 体験学習. 琵琶湖博物館, 草津市下物. 生態観察池担当  
石部高校. 2002年7月23日. 琵琶湖探求. ミュージアムスクール. 琵琶湖博物館および琵琶湖, 草津市下物. プランクトン担当  
滋賀県中学校理科部会. 2002年8月7日. 琵琶湖のプランクトン観察. 自然調査ゼミナール. 琵琶湖博物館, 草津市下物. プランクトン担当  
滋賀県教育センター. 2002年10月10日. プランクトンの観察. 教員研修. 琵琶湖博物館, 草津市下物. プランクトン担当

#### 研修会・視察対応

全国市町村国際文化研修所. 2002年6月1日. 概要説明.  
UNEP-IETC 世界環境デー関連事業. 2002年6月5日. 概要説明、意見交換、展示案内.  
JICA 農業・農村における持続的な水資源開発コース. 2002年6月20日. 概要説明、意見交換、展示案内.  
JICA 社会資本関連影響評価コース. 2002年6月21日. 概要説明.  
大阪大学留学生センター. 2002年6月26日. 概要説明、意見交換、展示案内.  
JICA 淡水魚養殖コース. 2002年7月11日. 概要説明、意見交換、展示案内.  
中国湖南省湘潭市中学生使節団. 2002年7月22日. 概要説明.  
JICA 国別特設フィリピン環境管理コース. 2002年7月27日. 概要説明、意見交換、展示案内.  
滋賀県教育委員会 国際青年育成交流事業. 2002年7月30日. 概要説明.  
米国グラッド・ラピッド公立博物館. 2002年8月12日. 概要説明、意見交換、展示案内.  
JICA 水質環境管理コース. 2002年9月18日. 概要説明、意見交換、展示案内.  
JICA 水環境を主題とする環境教育コース. 2005年9月24日. 講義、体験研修、概要説明、意見交換、展示案内.  
JICA 博物館技術コース. 2002年10月2日. 展示制作の裏話、概要説明、意見交換、展示案内.  
韓国中央日報. 2002年10月3日. 概要説明、意見交換、展示案内.  
ESCAP エクスカーション. 2002年10月28日. 概要説明、意見交換、展示案内. 琵琶湖博物館. 韓国京畿開発研究院  
2002年10月30日. 概要説明、意見交換、展示案内.  
JICA 生物多様性コース. 2002年10月16日. 概要説明、意見交換、展示案内.

中国科学院南京地理湖沼研究所, 2002年11月19日, 概要説明、意見交換、展示案内。  
ドイツバイエルン州首相府国際部長, 2002年11月22日, 概要説明、意見交換、展示案内。  
JICA 生活排水対策コース, 2002年11月28日, 概要説明、意見交換、展示案内。

#### 【資料整備活動】

2002年, プラントンコーナーの写真更新, C展示室生き物コレクション。

#### 【企画調整事業】

2002年 国際交流担当 [主担当]

2002年 博物館実習担当 [主担当]

### 館内人事、館外活動等に関すること

#### 【海外渡航】

2002年12月～2003年3月, 英国自然史博物館, 文部科学省在外派遣研修生

#### 【館外の活動】

「多自然型水路実験」研究部会 検討委員, 2002年4月～2003年3月 (財)琵琶湖・淀川水系水質保全機構 琵琶湖・淀川水質浄化共同実験センター, 水路実験などに対する助言  
環境教育に関する研究Ⅱの専門委員, 2002年4月～2003年3月, 滋賀県総合教育センター, 研究に対する助言

## 専門研究

外来種に関連した研究の継続で、年度前半は『外来種ハンドブック』の編集作業に努力を傾注することになった。その途中、6月に滋賀県・琵琶湖のレジャー利用の適正化に関する条例(案)が公開され、そこに釣り上げた外来魚(ブラックバス・ブルーギル)のリリース(再放流)禁止が盛り込まれていたことから、釣り人や業界の大きな反発が起こり、以後、争乱の中に巻き込まれることになってしまった。秋にはヨーロッパ諸国とアメリカ合衆国を訪問する機会を得、それぞれとりわけ魚をめぐる外来種問題の実情とバス・ギルの現地での状況とを目の当たりにすることができた。こうした海外での情報収集の結果も、次年度に開催予定の企画展示『外来生物 つれてこられた生き物たち』の内容に反映させたいと考えている。

## 共同研究

滋賀県内の陸貝分布に関する研究は、今年度が最終年度であった。7月の現地調査で腕を負傷したため、その後の現地調査への参加はほとんどできなくなった。冬以降、これまでに蓄積したデータを総括し、滋賀県における陸貝の分布様式の概要が明らかになってきた。年度末現在、約4400件のデータをデータベース上で分析中である。

## 印刷物

## 【学術論文】

Nozaki, K., Morino, H., Munehara, H., Sideleva, V. G., Nakai, K., Yamaguchi, M., Kozhova, O. M. and Nakanishi, M. (2002) Composition, biomass, and photosynthetic activity of the benthic algal communities in a littoral zone of Lake Baikal in summer. *Limnology*, 3: 175-180.

## 【専門分野の著作】

Nakai, K., Timoshkin, O. A., Hartoto, D. I., Sulastri, Doi, A., Iwakuma, T., Melnik, N. G., Yuma, M. and Nakanishi, M. (eds.) (2002) Chapter 3. Freshwater ecosystems. In: Nakashizuka, T. and Stork, N. (eds.) *Biodiversity Research Methods - IBOY in Western Pacific and Asia*. Kyoto University Press, Kyoto and Trans Pacific Press, Melbourne. pp. 111-161.

Nakai, K., Nakao, H., Fujita, K. and Sawada, H. (2002) Alien invasive species in Lake Biwa, Japan. In: *Ecologically Equivalent and Exotic Aquatic Species in Great and Large Lakes of the World - The Second International Symposium (Proceedings)*, Publishing House of the Buryat, Ulan-Ude (Russia), pp. 86-87. [Abstract]

中井 克樹 (2002) 陸産貝類. In: 京都府企画環境部環境企画課 [編] 京都府自然環境目録 2002. 京都府企画環境部環境企画課, 京都. pp. 179-183.

中井 克樹 (2002) 陸産貝類. In: 京都府企画環境部環境企画課 [編] 京都府レッドデータブック上巻. 京都府企画環境部環境企画課, 京都. pp. 464-489.

中井 克樹 (2002) 「ブラックバス問題」の現状と課題. In: 日本魚類学会自然保護委員会 [編] 川と湖沼の侵略者 ブラックバス—その生物学と生態系への影響. 恒星社厚生閣, 東京. pp.127-147.

中井 克樹 [編] (2002) 魚類; 陸水域(湖沼・河川など). In: 日本生態学会 [編] 外来種ハンドブック. 地人書館, 東京. pp.109-121; 253-272.

中井 克樹 (2002) 魚類; ブルーギル; 非海産無脊椎動物; 陸水域(湖沼・河川など); 外来種リスト(魚類); 魚類・参考リスト(定着未確認種). In: 同上. pp. 109; 119; 163; 253; 303-304; 304-305.

中井 克樹・浜端 悦治 (2002) 琵琶湖. In: 同上. pp.265-268.

松田 征也・中井 克樹 (2002) カワヒバリガイ. In: 同上. p.173.

中井 克樹 (2002) 琵琶湖における外来魚問題の経緯と現状. 生物の科学 遺伝, 56 (6) (2002年11月号): 35-41.

中井 克樹 (2003) 許田様・竹入様へ 中井克樹先生からのお返事. 同上, 57 (1) (2003年1月号):107-108.

### 【一般向けの著作】

中井 克樹 (2002) ブラックバスから見えてくる外来種問題. 植物の自然誌 プランタ [研成社], 2002-9 (83): 25-30.

中井 克樹 (2002) どちらが問題? ブラックバスとブルーギル. リバプレ隊だより, (10 / 2002-10): 2.

中井 克樹 (2002) 野鳥と外来魚(1) ブラックバス釣りを考える; (2) カワウと外来魚. そんぐぼすと [日本野鳥の会京都府支部], 2002; 2002-12.

中井 克樹 (2002) ブラックバス問題?生態系の保全と釣りの魅力との葛藤?. 東京新聞サンデー版・世界と日本大図解シリーズ (549)「淡水魚を脅かす! 外来魚の実態」 2002/10/05: 8.

中井 克樹 (2002) 琵琶湖をめぐる水の問題, 命の問題. 水情報, 22 (11): 14-16.

中井 克樹・萱間 修 (2002~2003) バス問題を考える「駆除駆除言うな!」9—中井克樹氏に聞く「リリース禁止の意味」(前編; 後編; 続編) スポーツ&フィッシングニュース, (99 / 2002-11): 12-13; (100 / 2002-12): 12-13; (101 / 2003-1): 20-21.

中井 克樹 (2003) 琵琶湖の外来魚は多すぎる. 放っておくことはできない: 琵琶湖博物館主任学芸員 中井克樹さん. 滋賀プラスワン(滋賀県広報課), 44 (1): 7.

中井 克樹 (2003) ゴマオカタニシ, ホラアナゴマオカチグサガイ, キョウトギセルガイ, カスガコギセルガイ, ヒロクチコギセルガイ, オオコウラナメクジ, コシタカコベソマイマイ, ミヤマヒダリマキマイマイ (ヒラヒダリマキマイマイ). In: 京都府レッドデータ調査選定・評価委員会 普及版編集委員 [編] 京都府レッドデータブック [普及版] 2003. サンライズ出版, 彦根. p.96, p.96, p.97, p.97, p.98, p.98, p.99, p.99.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表など】

<発表>

中井 克樹 (2002年 5月18日) 非海産魚類の保全におけるゴリの位置づけ. 2002年度ゴリ研究会. 長崎大学環境科学部(長崎県長崎市).

藤田 建太郎・中尾 博行・中井 克樹・沢田 裕一 (2002年 5月19日) 琵琶湖におけるオオクチバスの生態—特に食性について—. 同上.

中尾 博行・藤田 建太郎・中井 克樹・沢田 裕一 (2002年 5月19日) 琵琶湖の3ヶ所におけるブルーギルの摂餌生態. 同上.

中井 克樹 (2002年 6月29日) ビオトープづくりと魚～魚の移殖に関わる問題を中心に. 滋賀ビオトープ研究会総会. 彦根勤労福祉会館(滋賀県彦根市).

中井 克樹 (2002年 6月28日) 外来魚問題を考える～琵琶湖の事情, 北海道の事情, そして日本は? 第9回サケマス増殖研究会. ホテルライフオーソ札幌(北海道札幌市).

中井 克樹 (2002年 9月18日) 琵琶湖における外来魚の食性. 第4回琵琶湖生態系研究会. 滋賀県合同庁舎(滋賀県大津市).

中井 克樹 (2002年11月15日) 琵琶湖沿岸域の魚類群集の現状?外来魚の優占状況の定量的データ. 琵琶湖博物館研究セミナー. 琵琶湖博物館.

中井 克樹 (2002年11月19日) (学識者としての意見発表). 民主党第1回移入種対策WTヒアリング. 参議院議員会館(東京都千代田区).

中井 克樹 (2002年11月22日) 生態的攪乱—移殖放流の類型化を試みる. 東京大学海洋研究所共同利用研究集会「内水面における魚類の移殖・放流と資源管理」. 東京大学海洋研究所(東京都中野区).

中井 克樹 (2002年11月30日) バス釣りにおけるリリース禁止の影響～滋賀県・琵琶湖では? 平田市では? 第35回魚類自然史研究会. 島根県立青少年の家サンレイク(島根県平田市).

中井 克樹 (2002年12月13日) 琵琶湖における侵害的外来魚の現状と対処—既存データでどこまで言えるのか? 第7

回ヒューマンインパクトセミナー「琵琶湖スペシャル」(京大大学生態学研究センター)・京大大学生態学研究センター(滋賀県大津市)。

中井 克樹(2003年1月18日) EUの外来魚・遊漁事情. 移入種問題ワークショップ「ヨーロッパから知る移入種問題: EU移入種対策調査報告」(生物多様性JAPAN)・明治薬科大学剛堂会館ビル講堂(東京都千代田区)。

<座長・コーディネーター等>

中井 克樹(2002年11月2日) フロアを含んだ総合討論. 応用生態工学会フォーラム in 松江「自然再生事業と市民活動-霞ヶ浦・琵琶湖・穴道湖・中海-」. 松江テルサ(島根県松江市)[パネリスト]。

中井 克樹(2003年1月19日) 移入種(外来種)問題シンポジウム「どのような活動が移入種問題を実効的に解決するか」(生物多様性JAPAN)・明治薬科大学剛堂会館ビル講堂(東京都千代田区)・[総合司会・コメントーター]。

中井 克樹(2003年3月15日) 「理論と実践のリンク」に関するコメント. 京大大学生態学研究センター共同利用公募研究会「生態系デザイン方法論をめぐって」. 京大大学生態学研究センター(滋賀県大津市)・[コメントーター]

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館共同研究「滋賀県における陸産貝類の分布に関する研究」研究代表者(1998~2002年度)

琵琶湖博物館共同研究「シジミに関する研究」研究協力者(1998~2001年度)

琵琶湖博物館共同研究「カワウによる水域生態系から陸域生態系への物質移動とその影響」研究協力者(1998年度~)

琵琶湖博物館専門研究「琵琶湖等における外来生物に関する研究」(1992年度~)

東京大学海洋研究所外来研究員: 研究課題「日本の湖沼における外来魚とその遊漁に関する研究」(2001年度)

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

日本生態学会 英文誌「Ecological Research」編集委員(2000年7月~2003年6月)

日本生態学会 自然保護専門委員会 外来種問題検討作業部会: 部会員(2001年3月~)

日本生態学会 ブラックバス問題要望書アフターケア委員会: 委員(2001年5月~)

日本生態学会 自然保護専門委員会: 委員(2002年1月~)

日本生態学会 近畿地区会 自然保護専門委員会: 委員(1998年~)

日本生態学会 近畿地区委員会: 委員(2000年1月~)

日本魚類学会 自然保護委員会: 委員(2001年2月~)

日本魚類学会 自然保護委員会 外来魚問題検討部会: 部会員(2001年2月~)

日本貝類学会: 評議員(1999年1月~)

応用生態工学会 「応用生態工学」会誌編集委員会: 専門編集委員(2000年4月~)

応用生態工学会 パートナーシップ委員会: 委員(2001年12月~)

日本BICER協議会 将来構想検討委員会: 幹事(1996年~)

阪神貝類談話会: 理事(2000年1月~)

山口貝類同好会: 査読協力員(1996年~)

「応用生態工学」(応用生態工学会) 投稿論文の査読: 1件。

「Ecological Research」(日本生態学会) 投稿論文の責任編集: 1件(うち1件は昨年度からの継続)。

「Ichthyological Research」(日本魚類学会) 投稿論文の査読: 2件(うち2件は昨年度からの継続)。

「貝類学雑誌Venus」(日本貝類学会) 投稿論文の査読: 1件(うち1件は昨年度からの継続カワニナ)。

### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

2002年度 滋賀医科大学非常勤講師「生物学特論: 外来生物の問題を考える」(1年生対象)。

滋賀県立大学大学院 環境科学研究科 博士後期課程1年生2名(中尾 博行・藤田 建太郎) 副指導教官。

京都大学大学院理学研究科博士後期課程3年生(丸山 敦) 博士学位論文「Life-history dimorphism in a landlocked goby *Rhinogobius* sp. (the orange form)」の審査

京都大学大学院 理学研究科大学院生博士後期課程2年生(西 浩孝) 博士後期課程研究「ニシキマイマイの生態と

形態変異に関する研究」 助言と調査補助。

滋賀県立大学環境科学研究科 修士課程1年生(金尾 滋史) 研究に関する 助言。

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス活動】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

- 2002年7月13日 フィールドレポーターため池観察会。瀬田丘陵のため池および京都大学生態学研究センター(滋賀県大津市)。「桑原雅之と共同、米倉 竜次氏(京都大学生態学研究センター)・神松幸弘氏(総合地球環境学研究所)の協力」
- 2002年8月18日 観察会「水辺の貝を調べてみよう」 琵琶湖博物館。[松田征也と共同]
- 2002年8月25日 夏休み相談室。琵琶湖博物館。[貝類・魚類を担当]
- 2003年2月9日 琵琶湖の激変。博物館講座「琵琶湖の魚たちはどうなっているか?淡水魚の生態と環境」。琵琶湖博物館。

#### その他の博物館、組織・団体等の行事

- 2002年4月21日 企画・運営協力。シンポジウム「ブラックバス問題から水辺の自然を考える」(朝日新聞大阪本社・朝日関西スクエア)。琵琶湖博物館。
- 2002年5月5日 講師。黒田田んぼの学校2002(黒田村づくり委員会ほか)。黒田集会所(滋賀県木之本町)。
- 2002年5月26日 講演「外来魚はなぜ駆除されるのか～琵琶湖のバス・ギル駆除をめぐる。」 琵琶湖外来魚駆除の日シンポジウム(琵琶湖を戻す会ほか)。琵琶湖博物館。
- 2002年6月8日 意見発表「津田内湖公開ヒアリングによせて。」 津田内湖公開ヒアリング。近江八幡市総合福祉センター「ひまわり館」(滋賀県近江八幡市)。
- 2002年7月25日 講師(外来魚について)。滋賀県立石部高校。
- 2002年7月27日 講演「世界・日本の湖・河川の現状。」 国際ロータリー第265地区2002～2003年度第1回環境保全委員長会議及び研修会。京都アスニー(京都市上京区)。
- 2002年8月6日 琵琶湖の現状に関する講義。灘学習院校外学習。琵琶湖博物館。
- 2002年8月6日 琵琶湖の生態系の概略と博物館の紹介。大東市視察。琵琶湖博物館。
- 2002年8月20日 話題提供「琵琶湖の外来魚および在来魚について。」 びわ湖会議第3回拡大運営委員会(「びわ湖を守る水環境保全県民運動」県連絡会議)。滋賀ビル(滋賀県大津市)。
- 2002年9月6日 パネラー。シンポジウム「自然と人のつきあい方ー琵琶湖のレジャー利用を考えるー」(滋賀県琵琶湖環境部自然保護課)。都道府県会館101大会議室(東京都千代田区)。
- 2002年9月21日 講師。平成14年度「自然観察会ー実験センターのさかなたちー」((財)琵琶湖淀川水質保全機構・国土交通省近畿地方整備局・滋賀県・水資源開発公団関西支社)。琵琶湖・淀川水質浄化共同実験センター(滋賀県草津市)。
- 2002年11月7日 ゲストティーチャー。総合学習「琵琶湖の魚について」(草津市立志津小学校5年)。志津小学校(滋賀県草津市)。
- 2003年1月15日 講演「琵琶湖の生態系について。」 びわ湖会議合同研修会「滋賀の環境は今」(「びわ湖を守る水環境保全県民運動」県連絡会議)。野洲文化ホール小劇場(滋賀県野洲町)。
- 2003年1月26日 講演「外来魚の再放流は常識か、非常識か?」 第2回琵琶湖外来魚駆除シンポジウム「釣った外来魚をどうしよう? (琵琶湖を戻す会)。」 琵琶湖博物館。

#### テレビ・ラジオへの協力・出演等

- 2002年7月9日 札幌テレビ放送「STV朝6生ワイド:ブラックバス専門家が大量で調査」[ブラックバスに関する現地インタビュー](7月8日現地取材)
- 2002年7月18日 NHK総合(関西ローカル)「ニュースかんさい発:かんさい情報交差点ーびわ湖の外来魚は今」[専門研究における野外調査内容の紹介とインタビュー](7月17日現地取材)。

- 2002年7月26日 NHK総合(函館ローカル)「NHKニュース道南ニュースぱれっと：道南クローズアップ(特集)ーブラックバス発見から1年」[琵琶湖・野尻湖の水中映像資料提供]
- 2002年8月1日 NHK総合(北海道ローカル)「NHKニュースおはよう北海道：おはようリポーター大沼ブラックバス発見から1年」[琵琶湖水中映像資料提供]
- 2002年8月26日 KBS京都ラジオ「笑福亭晃瓶のほっかほかラジオ：晃瓶のゴミバスターが行くー人類の遺産としての琵琶湖の大切さ」(当日、電話インタビュー)
- 2002年9月3日 関西テレビ「スーパーニュース・ほっとカンサイ：琵琶湖外来魚"リリース条例"で波紋」[水中映像資料提供、現地調査インタビュー](8月14日現地取材)
- 2002年9月6日 読売テレビ「ニューススクランブル」[琵琶湖レジャー利用適正化条例案に関するインタビュー](9月5日大阪で取材)
- 2002年9月9日、14日 朝日放送「ゆう」[琵琶湖の外来魚の現状に関するインタビュー](9月8日取材)
- 2002年9月21日 毎日放送ラジオ(ローカル)「鋭ちゃんのあさいちラジオ：ゲストコーナーパート2 中井克樹さん」[琵琶湖レジャー利用適正化条例に関してパーソナリティと対談](当日スタジオで生出演)
- 2002年10月18日 クローズアップ関西.
- 2002年11月25日 NNNきょうの出来事 日本テレビ系ネット(8月27日取材)

#### 視察等対応

2002年8月5日 大木環境大臣

#### 【資料整備活動】

琵琶湖博物館の資料整備活動.  
 日本産淡水貝類液浸標本の整理.  
 世界の淡水貝類標本類の体系的収集.  
 陸産貝類に関する標本資料の整備.  
 菱田 嘉一 氏・池辺 進一 氏・吉田 耕司 氏：淡水貝類標本提供.

#### 【展示活動】

##### 琵琶湖博物館の展示活動

平成15(2003)年度企画展「(仮称)外来生物 つれてこられた生きものたち」：主担当.

##### その他の展示活動

鳥羽水族館「外来生物展」(2002年4月19日～6月30日)：展示用オオクチバスの確保[担当：若林 郁夫 氏].

#### 【企画調整事業】

滋賀県博物館協議会：広報委員.  
 琵琶湖博物館業績集編集：主担当.

## 館内人事、館外活動等に関すること

#### 【館内の人事／海外への渡航】

2002年10月5日～19日(職務専念義務の免除) 「生物多様性JAPAN」(代表：岩槻邦男)によるヨーロッパ諸国における外来種問題の現状視察(河川整備基金による補助). パリ自然史博物館, フランス環境省/フランス共和国, 王立自然科学研究センター, IUCNヨーロッパ地域事務所, ブリュッセル空港CITES関係事務所, ヨーロッパ連合事務所/ベルギー王国, IUCN 法制度センター, バイエルン州水産研究所/ドイツ連邦共和国, ライデン大学, 国立自然史博物館ナチュラリス/オランダ王国, 国立水産研究所, 国立自然史博物館/オーストラリア共和国.

2002年10月25日～11月1日(休暇) ニッセイ財団環境問題研究助成「外来生物の侵入・定着リスク評価に関する生態

学的研究—新たな外来生物種の侵入・定着を予防する—」研究協力者として現地調査. ウィスコンシン大学マディソン校陸水学研究所, アイオワ州自然資源局/アメリカ合衆国.

### 【館外の活動】

環境省: 希少野生動植物種保存推進員 (1997年6月～)

環境省自然環境保全基礎調査検討会: 検討員 (無脊椎動物分科会) (1996年度～)

琵琶湖・淀川水質浄化共同実験センター「多自然型水路実験」研究部会: 検討委員 (1998年9月～; [財] 琵琶湖・淀川水系水質保全機構)

利根川ヤマトシジミ勉強会: 委員 (1998年1月～; 建設省関東地方建設局利根川下流工事事務所)

河川水辺の国勢調査スクリーニング委員会、底生動物スクリーニング・グループ: 委員 (1999年2月～; [財] リバーフロント整備センター)

河川水辺の国勢調査 [ダム湖版] スクリーニング委員会、底生動物スクリーニング・グループ: 委員 (1999年10月～; [財] ダム水源地環境整備センター)

ISSG (= Invasive Species Specialist Group) of SSC (= Species Survival Commission): member (2001年1月～; IUCN [= The World Conservation Union: 世界自然保護連合])

琵琶湖生態系研究会: 委員 (2001年11月～; 滋賀県)

主任学芸員

研究部生態系研究担当  
(兼) 総務部企画調整課

淡水貝類と他の生物、そして人間生活のとの関わりを明らかにすることを目的とした研究活動を目指している。

専門研究では、5月5日に貝類の保全活動を地域の方々、行政、大学とともに行っている木之本町黒田において貝類の観察会「黒田田んぼの学校」を開催した。観察会には地域の子どもたちが参加し、身近な生物が実は全国的に減少していることを理解してもらう機会を提供することができた。また、1993年より調査を実施している同町内農業水路において、インガイ科貝類の調査を大阪教育大学と共に実施し、環境変化とインガイ科貝類の生息数変動について、基礎的な情報を蓄積することができた。

共同研究「外国産シジミ類に関する研究」では、滋賀県内におけるシジミ類の採集調査を実施したところ、予想以上に外国産シジミ類が県内の集水域に分布している可能性を示すデータが得られた。「堅田内湖における魚類の生態に関する研究」では、オオクチバスとブルーギルの産卵生態を明らかにするため、内湖内の産卵床を調査した。調査の結果、ブルーギルの産卵行動が観察され卵も確認できたが、オオクチバスのそれは確認できなかった。また、堅田内湖で外来魚が急激に増えない要因の一つとして濁りに着目し、カオリンを用いて人為的に濁り（透視度）をコントロールし、濁りの変化がオオクチバスの捕食行動に与える影響について、加速度計を用いた実験を行った。「水草刈り取りが貝類におよぼす影響」では、琵琶湖内に繁茂する水草帯を刈り取ることで、そこにすむ貝類にどのような影響が現れるかについて調査を行った。

2002年度は上記の研究成果を報告するには至らなかったが、琵琶湖・淀川に生息する淡水貝類を広く知ってもらうために、琵琶湖・淀川淡水貝類の図鑑の作成に着手している。この他、外国産シジミ類の調査のなかで、共同で調査を行っている滋賀淡水貝類研究会のメンバーから、本県に棲息することは知られていたが、完全な標本がなかったサガノミジンツボと考えられるミズツボ科の貝類の寄贈を受けた。また、県内で絶滅が心配されていたカタハガイの新たな生息地を、湖西地域ではじめて確認することができた。

## 印刷物

### 【専門分野の著作】

松田征也・中井克樹(2002)カワヒバリガイ,外来種ハンドブック.pp173.日本生態学会編, 地人書館,東京.  
松田征也(2002年11月9日)カンボジア, トンレサップ湖の貝類. 淡水貝類研究会 第8回研究集会 講演要旨集.11pp.  
大阪教育大学.

### 【一般向けの著作】

松田征也(2002年8月18日)湖の貝を調べてみよう,琵琶湖博物館フィールド観察会テキスト.6pp.  
松田征也(2003年3月11日)琵琶湖の生き物たちから自然を考える. 子ども水フォーラムプログラム, びわ湖・淀川・大阪湾 水の旅 3館連携企画展事業, pp8-9. 海遊館ホール.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表など】

池田康秀・関慎太郎・松田征也(2002年6月5日)水族企画展「滋賀のカメたち」からみえてきたもの.第68回(社)日本動物園水族館協会, 近畿ブロック水族館飼育係研修会.大阪・海遊館.  
松田征也(2002年11月9日)カンボジア, トンレサップ湖の貝類. 淡水貝類研究会 第8回研究集会. 大阪教育大学.

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館共同研究「外国産シジミ類に関する研究」研究責任者

琵琶湖博物館共同研究「堅田内湖における魚類の生態に関する研究」研究分担者  
琵琶湖博物館共同研究「水草刈り取りが貝類におよぼす影響」研究分担者  
琵琶湖博物館総合研究「東アジアの中の琵琶湖，その成立と人間生態系の比較研究」研究協力者  
琵琶湖博物館共同研究「滋賀県における陸産貝類の分布に関する研究」研究協力者  
琵琶湖博物館専門研究「木之本町黒田における淡水貝類の生態学的研究」

#### 【大学での講義・実習、学生の指導など】

2002年9月19日 琵琶湖の水生生物.同志社大学学際科目講座.同志社大びわこリトリートセンター.

## 博物館事業に関する業績

#### 【交流・サービス活動】

##### 琵琶湖博物館の主催行事

2002年7月9日 35回 琵琶湖博物館特別研究セミナー，カワニナ属（主に*S. libertina*, *S. reiniana*）の形態変異と遺伝的変異について. 東北大学 神谷敏詩・島本昌憲琵琶湖博物館. [開催運営]  
2002年7月28日 漁船に乗ってエリの漁を見に行こう. フィールド観察会. 琵琶湖博物館. [井戸本純一氏・牧野厚史氏らと共同分担]  
2002年8月19日 湖辺の貝を調べてみよう！フィールド観察会.琵琶湖博物館.[中井克樹氏と共同分担]  
2003年3月2日 水族館探検隊. 博物館講座, 琵琶湖博物館.[井戸本純一・前畑政善・秋山廣光・桑原雅之氏らと共同分担]  
2003年3月21日 琵琶湖の漁業を体験しよう. 琵琶湖博物館観察会, 琵琶湖博物館.[井戸本純一氏と共同分担]  
2003年3月11日 びわ湖・淀川・大阪湾 水の旅 ー子ども水フォーラムー 第3回世界水フォーラム後援行事. 水族企画展関連行事. 大阪・海遊館, 水道記念館との共同開催. 海遊館ホール.

##### 研修会・視察対応

2002年4月23日 琵琶湖の貝について,琵琶セタンジミ祭り.琵琶湖上インターラーケン船内.  
2002年5月5日 田んぼの学校. くらだ村づくり委員会. 黒田集会所.  
2002年6月25日 淡水貝類の調査方法について,坂田郡教育研究会. 琵琶湖博物館.  
2002年7月6日 水辺のいきものと水環境, 淡海生涯カレッジ, 大津市立瀬田公民館. 琵琶湖博物館.  
2002年7月13日 淡水貝類の移入種について, 関西水生生物談話会. 大阪府立食とみどりの総合技術センター みどり環境部 水生生物センター.  
2002年8月7日 琵琶湖の貝を調べよう, 第26回自然調査ゼミナール. 琵琶湖博物館.  
2003年3月11日・12日 ワークショップ動物解説パネルを作ろう. (社)日本動物園水族館協会. 天王寺動物園.

##### 印刷メディア（新聞・雑誌・書籍等）への出演・協力

2002年4月3日 滋賀もカメ, 水族企画展示「滋賀のカメたち」. 毎日新聞.  
2002年4月3日 滋賀のカメたち, 水族企画展示「滋賀のカメたち」. あいあいA I (朝日新聞).  
2002年4月9日 環境問題カメに学ぶ, 水族企画展示「滋賀のカメたち」. 読売新聞  
2002年4月10日 カメと人の関係紹介, 水族企画展示「滋賀のカメたち」. 京都新聞.  
2002年5月2日 これが、どう猛なカミツキガメ, 水族企画展示「滋賀のカメたち」. 中日新聞.  
2002年5月8日 カミツキガメの声が聞こえますか, 水族企画展示「滋賀のカメたち」. 毎日新聞.  
2002年8月7日 スジシマドジョウ繁殖成功. 京都新聞.  
2002年8月9日 スジシマドジョウ小型種琵琶湖型 人工授精で繁殖に成功. 毎日新聞.  
2002年8月14日 スジシマドジョウ小型種 人工繁殖に成功. 読売新聞.  
2002年8月17日 絶滅危惧のスジシマドジョウ 琵琶湖博物館が繁殖成功. 産経新聞.  
2003年1月18日 発信器でブラックバス追跡.毎日新聞.  
2003年3月11日 水環境熱く語り合う, びわ湖・淀川・大阪湾 子ども水フォーラム. 京都新聞.

2003年3月11日 「水を守ろう」小学生が討論, びわ湖・淀川・大阪湾 子ども水フォーラム, 産経新聞(夕刊).  
2003年3月12日 外来魚の影響など研究の成果発表, びわ湖・淀川・大阪湾 子ども水フォーラム, 読売新聞.  
2003年3月13日 琵琶湖の生き物観察発表, びわ湖・淀川・大阪湾 子ども水フォーラム, 朝日新聞.  
2003年3月9日 水族企画展示「びわ湖・淀川・大阪湾 水の旅 ーびわ湖で少なくなった魚と貝ー」, 京都新聞.

### 【資料整備活動】

#### 琵琶湖博物館の資料整備活動

貝類標本1060件収集

### 【展示活動】

#### 琵琶湖博物館の展示活動

第11回水族企画展示「滋賀のカメたち」(2002年3月21日～5月19日) 水族企画展示室: 展示主任.  
第13回水族企画展示「びわ湖・淀川・大阪湾 水の旅 ーびわ湖で少なくなった魚と貝ー」(2003年3月8日～4月6日) 水族企画展示室: 展示主任.  
(この水族企画展示は第3回世界水フォーラム事務局、第3回世界水フォーラム滋賀県委員会の後援を受けている。)

#### 他の博物館等の展示活動

虹の森公園 おさかな館, タモロコ・モツゴの企画展への展示協力(2002年8月10日～9月30日)

### 【研究部事業】

危険物倉庫の管理 [主担当]

研究調査船の管理 [副担当]

## 館内人事、館外活動等に関すること

### 【館外の活動】

守山湖岸再生部会: 委員(1999年3月3日～; 湖南地域振興局 河川砂防課).  
木浜内湖再生部会: 委員(2000年～; 湖南地域振興局 河川砂防課).  
琵琶湖湖辺域保全・再生検討委員会委員(2002年～; 土木交通部 河港課)  
(社) 日本動物園水族館協会, 種保存委員会, 希少淡水魚種別調整者(アユモドキ・イタセンパラ・ホトケドジョウ)  
(社) 日本動物園水族館協会, 教育・普及事業推進委員会委員(2000年7月25日～)

2002年度の研究活動は、主に共同研究として「琵琶湖水系に生息するイワナの地理的分布とその形成過程」、専門研究として「琵琶湖水系におけるビワマスとアマゴの関係」の二本立てで行った。

日本列島に生息するイワナ類は、斑紋の様子からいくつかの亜種に分類されている。琵琶湖水系に生息するイワナの分布についても、これまで斑紋の様子から湖東側にヤマトイワナが湖西側にニッコウイワナが分布しているとされている。しかし、イワナ類の斑紋は変異が大きく、分類の基準とするには疑問が持たれている。そこで、マイクロサテライトDNAをマーカーとして用いることによって、琵琶湖水系に生息するイワナの遺伝的な集団構造を明らかにし、実際にいわれているような分布があるのかどうかを調べ、その分布がどのようにして形成されてきたかについて考察することを、共同研究の最終的な目的としている。2002年度は、この共同研究の1年目に当たり、琵琶湖水系のイワナの大まかな分布状況を明らかにすることを目指した。ただ、マイクロサテライトDNAの分析という手法は初めて使う分析手法であるため、特に年度前半は、分析手法の確立を目指した。また、サンプリングについては、湖西側と湖東側で3地点ずつ行った。サンプリング地点の選定に当たっては、放流が行われていない自然の個体群である必要があるため、生息状況の確認と放流の有無の確認を行った後決定した。その結果、これまでいわれているような湖東側と湖西側というようなグループではなく、鈴鹿山系付近とそれ以外というようなグループができる可能性のあることがわかった。

ビワマスとアマゴの関係については、まだ十分に解明されているとは言い難いビワマスの生活史を明らかにすることを目指して、研究活動を行っている。2002年度は、ごく初期の生活史について継続して調査を行うとともに、形態的にビワマスと考えられた早期遡上個体について、mt-DNAを用いて分析を行った。後者については、ビワマス親魚と滋賀県で放流用に使われている醒井養鱒場産のサツキマス(アマゴ)について同様に分析を行い、これらの結果と早期遡上個体の分析結果の比較を行った。その結果、形態的な分析の結果とよくあい、早期遡上個体の多くはビワマスであることが確認された。また、形態的にサツキマスに判別された個体は、mt-DNAからもやはりサツキマスに判別され、早期遡上個体の中には、多くはないもののサツキマスも含まれることが明らかになった。ただ、これら早期遡上のサツキマスは、鱗が擦れていたり再生鱗が多いなど養殖個体の特徴を持つものが多く、放流されたアマゴが琵琶湖に下ってサツキマスになったのではないかと考えられた。ただ、比較のために分析を行ったビワマス親魚の中に、アマゴ型のmt-DNAを持つものが1個体見つかると、ビワマスとサツキマスが交雑を起こしている可能性のあることも明らかになった。この結果については、10月に信州大学で開催された日本魚類学会年会において発表を行った。

## 印刷物

### 【専門分野の著作】

- 桑原雅之・来見誠二・井口恵一郎 (2002) 琵琶湖水系におけるイワナの分布に関する研究計画について. 平成13年度  
ゴリ研究会講演要旨集. ゴリ研究会. 15
- 桑原雅之・井口恵一郎・西田睦 (2002) ミトコンドリアDNAによる琵琶湖産早期遡上マスの由来判定. 2002年度  
日本魚類学会年会講演要旨. 日本魚類学会. 7
- 桑原雅之 (2002) 展示水槽アクリルガラス破損事故について. 第12回動物園水族館設備会議講演要旨集. 日本動物園  
水族館協会. 2
- 酒井治己・北川慎介・中島則久・宇野郁・米花正三・桑原雅之 (2002) 山口県小野ダム湖産タモロコ属魚類はホンモ  
ロコ *Gnathopogon caeruleus* とタモロコ *G. elongatus* の雑種群. 日本水産増殖学会第1回大会講演要旨集.  
日本水産増殖学会. 12

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表など】

- 桑原雅之・来見誠二・井口恵一郎（2002年5月19日）琵琶湖水系におけるイワナの分布に関する研究計画について。平成13年度ゴリ研究会。長崎大学。長崎大学水産学部。長崎県長崎市文教町1-14
- 桑原雅之・井口恵一郎（2002年10月12日）ミトコンドリアDNAによる琵琶湖産早期遡上マスの由来判定。2002年度日本魚類学会年会。日本魚類学会。信州大学松本キャンパス。長野県松本市旭3-1-1
- 桑原雅之（2002年9月24日）展示水槽アクリルガラス破損事故について。第12回動物園水族館設備会議。（財）日本動物園水族館協会。ふくしま海洋科学館。福島県いわき市小名浜辰巳町50
- 桑原雅之・来見誠二・井口恵一郎（2003年1月17日）琵琶湖水系におけるイワナの分布に関する研究について。琵琶湖博物館研究セミナー。琵琶湖博物館。琵琶湖博物館。草津市下物町
- 酒井治己・北川慎介・中島則久・宇野郁・米花正三・桑原雅之（2002年9月19日）山口県小野ダム湖産タモロコ属魚類はホンモロコGnathopogon caerulescensとタモロコG. elongatusの雑種群。日本水産増殖学会第1回大会。日本水産増殖学会。長崎県立総合体育館。長崎県長崎市油木町

### 【研究プロジェクト等への参加】

- 琵琶湖博物館共同研究「琵琶湖水系に生息するイワナの地理的分布とその形成過程」研究代表者（2002年）
- 琵琶湖博物館専門研究「琵琶湖水系におけるビワマスとアマゴの関係」研究代表者（2002年）

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス活動】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

- 2002年4月24日。展示交流員研修。琵琶湖博物館。滋賀県草津市下物町。[指導]
- 2002年7月2日。常磐小学校ミュージアムスクール。琵琶湖博物館。滋賀県草津市下物町。[指導]
- 2002年8月1日。うろこを調べてみよう。常磐小学校ミュージアムスクール。琵琶湖博物館。滋賀県草津市下物町。[指導]
- 2002年8月18日。フィールドレポーター。ヘチマ交流会。宮荘公民館。五個荘町宮荘。[運営]
- 2002年8月24～25日。夏休み相談室。琵琶湖博物館。滋賀県草津市下物町。[講師]
- 2002年10月30日。常磐小学校ミュージアムスクール。琵琶湖博物館。滋賀県草津市下物町。[指導]
- 2002年11月17日。ビワマスの産卵を観察してみませんか。フィールド観察会。滋賀県マキノ町知内（知内川）。滋賀県マキノ町知内（知内川）。[企画、運営、主担当]
- 2003年3月2日。水族展示の舞台裏。博物館探検隊。琵琶湖博物館。滋賀県草津市下物町。[指導]
- フィールドレポーター。琵琶湖博物館。滋賀県草津市下物町。[運営、主担当]

#### 他の博物館、組織・団体等の主催行事

- 滋賀県高等学校理科教育研究会総会。2002年5月16日。平成14年度滋賀県高等学校理科教育研究会総会研修。琵琶湖博物館。滋賀県草津市下物町。[講師]
- 滋賀県総合教育センター。2002年9月24日。平成14年度 教職経験者研修。琵琶湖博物館。滋賀県草津市下物町。[講師]

#### テレビ・ラジオ等への出演・協力

- 2002年11月10日。うおーたんのこどもプラスワン。びわ湖放送。ビワマスの産卵および採卵状況について [現場案内および出演] 10月28日取材

### 【資料整備活動】

水族資料，収集〔主担当〕

水族資料，維持管理〔主担当〕

### 【展示活動】

平成15年度企画展示「外来生物」〔副担当〕

ジオラマ水槽アクリル破損補修〔主担当〕

水族展示，維持管理

## 館内人事、館外活動等に関すること

### 【館内の人事】

琵琶湖総合保全整備計画，2002年4月1日～2003年3月31日，ワーキング担当

### 【館外の活動】

2002年4月1日～2003年3月31日，琵琶湖総合保全学術委員会小委員会，委員

2002年4月1日～2003年3月31日，琵琶湖総合保全整備計画推進部会，ワーキング担当

## 主任学芸員

研究部生態系研究担当  
(兼) 事業部交流センター

今日の環境問題では、住民の参画や協働による政策の必要性が指摘されているが、そのためには、環境に働きかけている住民たちの社会組織や価値観の分析が不可欠となっている。そこで、「まちづくり」や「むらづくり」とも呼ばれる地域計画についてのフィールドワークを行い、地域環境に住民が行う意思決定の観察を通して、決定と関わる社会組織の仕組みや価値観の解明を試みてきた。事例地は、琵琶湖集水域のみではなく、当該テーマを深める上で必要な日本各地の地域社会も含まれている。

本年度の専門研究としては、考古学上の遺跡である佐賀県吉野ヶ里遺跡の保存活用策について、周辺農村からみた問題点と可能性を考察した論文を公表した。これに対して、宮本真二との共著論文、大塚泰介・矢野晋吾との共著論文は、琵琶湖の水辺推移帯についての博物館総合研究・共同研究の成果である。人間と環境との相互作用を社会の側からとりあげる社会学という方法論のみでは、水辺推移帯のような特定地帯の環境特性把握は難しいのだが、地元の人々をはじめ、地学や生態学などの研究者の協力と、水辺の遊び研究などの琵琶湖博物館でのこれまでの研究成果を取り入れることで、ようやくかたちにすることができたと考える。また、第9回琵琶湖博物館企画展『鯰一魚がむすぶ琵琶湖と田んぼ』の一環として開催したシンポジウムを本という形態で公表し、その中に、琵琶湖岸の漁家と農家、農政・水産行政の担当者と水田のあり方をめぐって行ったセッションの様子も併せて収録した。

## 印刷物

## 【学術論文】

- 牧野厚史 (2002) 遺跡保存における土地利用秩序の共同性と公共性－佐賀県吉野ヶ里遺跡保存における公共性構築－。環境社会学研究第8号Vol. 8。環境社会学会。181-197
- 宮本真二・牧野厚史 (2002) 琵琶湖の水位・汀線変動と人間活動－過去と現在をつなぐ視点－。地球環境Vol. 7 No. 1。(社)国際環境研究協会。17-36

## 【専門分野の著作】

- 牧野厚史・大塚泰介・矢野晋吾 (2002) 水田漁撈は消滅したか－水辺の遊びにみるホリとギロ(ン)の村の過去と現在－。滋賀県立琵琶湖博物館。鯰一魚と文化の多様性－。サンライズ出版、滋賀県。136-153

## 【一般向けの著作】

- 牧野厚史 (2002) 記憶を伝える調査活動－記憶をデータに置き換え未来につなげる－。滋賀県立琵琶湖博物館。琵琶湖博物館第10回企画展示図録 わっ! 中世?の歩き方。108-109

## 研究活動に関する業績

## 【学会・研究会での発表など】

- 牧野厚史 (2002年7月13日) 場所にねざした体験と記憶をどうとらえるか－圃場整備実施村落でのGIS(地理情報システム)を利用した調査の試み－。西日本地区研究会。日本村落社会研究学会。同志社大学、京都市
- 牧野厚史 (2002年10月18日) 「ローカル・コモングの崩壊と再生－守山市木浜における内湖再生活動－」。平成14年度琵琶湖博物館研究セミナー。琵琶湖博物館。琵琶湖博物館、草津市

## 【研究プロジェクト等への参加】

- 琵琶湖博物館総合研究「東アジアの中の琵琶湖－コイ科魚類の展開を軸とした－環境史に関する研究」分担者 (1996. 4～2004. 3)

琵琶湖博物館総合研究「博物館資料の整理・保管と利用に関する研究」(1997.4～2004.3)

**【大学の講義・実習、学生の指導など】**

関西学院大学社会学部(2002年10月～3月) 地域・生活・環境特論A. 社会学部 二回生・三回生

**【受賞など】**

学芸員資格

**博物館事業に関する業績**

**【交流・サービス活動】**

**琵琶湖博物館の主催行事**

- 2002年5月25日 姉川のヤナを見に行こう. 博物館観察会.(秋山廣光・井戸本純一と共同) 南浜, 滋賀県湖北町.  
[副担当]
- 2002年7月27日 漁船に乗ってエリの漁を見にいこう. 博物館観察会(松田征也・井戸本純一・亀田佳代子と共同)  
守山漁港, 滋賀県守山市. [副担当]
- 2002年9月15日 湖の周りの巨木を見に行こう(布谷知夫と共同)(JR) 高月駅周辺, 滋賀県高月町. [主担当]
- 2002年10月5日 中世の山城を見に行こう. 博物館観察会(宮本真二と共同) 清水山城, 滋賀県新旭町. [副担当]

2001年度から始まった南湖の沈水植物に関する共同研究の2年目であり、専門研究もこれに関連の深いものを行った。

1) 琵琶湖南湖の沈水植物の分布・種類組成・現存量を明らかにした。

南湖全域に1kmごと52地点を調査地点として、スキューバによる沈水植物の定量採取を行った。採取した沈水植物を種類別に仕分けし、乾燥重量を測定した。この結果、センニンモ・クロモ・オオカナダモが量的に主要な沈水植物であること、オオカナダモやコカナダモを除く在来種が全体の80%以上を占めていることが明らかになった。

また南湖全域の沈水植物の総量を、乾燥重量で約1万4千トンと推定した。

2) 沈水植物の繁茂が湖水の酸素環境に与える影響の調査

上記52地点の沈水植物の定量調査にあわせて、酸素濃度の観測を南湖全域で行った(全86地点、0.7kmメッシュ)。その結果、沈水植物の繁茂が著しい場所で湖底直上の溶存酸素濃度が低くなっている場所のあることが確認された。湖底付近の酸素環境の悪化は二枚貝など移動力の小さい底生動物に悪影響が及ぶ可能性があると考えられる。

3) 貝曳きによる沈水植物の除去の効果と影響の調査

県自然保護課・水産試験場との協力の下に、貝曳きにより沈水植物を除去した場合の影響について調査を行った。博物館のチームは沈水植物の種類・量の変化、二枚貝への影響を担当し、共同研究者の茨城大学の中里氏はユスリカを主体とする底生動物を担当した。実験では50m四方の除去区画と比較対照区画を3つずつ設け、スキューバにより沈水植物や底生動物を定量採集して、比較を行った。実験区域は堅田地先と北山田地先の2箇所である。この調査は2003年まで継続して行う予定だが、北山田実験区では沈水植物がまばらにしか生えなくなってしまったため、場所の変更を検討中である。

これまでに行った堅田実験区の調査で、貝曳きによって沈水植物の現存量が10分の1に減少し、その後除去区画でも伸長が見られるものの、統計的に有意に除去区画の沈水植物の現存量が低い状態が、冬まで維持されることが明らかになった。底生動物への影響については、共同研究者が解析中である。

4) 河川環境管理財団の研究助成を受け、カラー魚群探知機による沈水植物の分布ならびに現存量の広域モニタリング手法の開発を行った。データをビデオに記録可能な魚群探知機を調査船「うみんど」に設置し、時速18kmで湖を東西に横断する観測線27本(南北500mおき)上の沈水植物の分布を記録した。これと並行してスキューバによる沈水植物の定量採取を行い、魚群探知機の記録と実際の沈水植物の量の換算式の作成を行った。

## 印刷物

### 【学術論文】

Sakuma, M., Hanazato, T., Nakazato, R., Haga, H. (2002) Methods for quantitative sampling of epiphytic microinvertebrates in lake vegetation. *Limnology*. 日本陸水学会, 115-119

### 【未掲載分】

芳賀裕樹・大塚泰介(2003) 琵琶湖北湖沖帯における透明度の73年間の変遷. *陸水学雑誌*. 日本陸水学会

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表など】

大塚泰介・芳賀裕樹・桑原靖典. 2002年9月28日. 音波探査機を用いた琵琶湖南湖の沈水植物現存量の推定. 日本陸水学会第67回大会. 日本陸水学会. 東京農工大, 東京都府中市

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館共同研究「沈水植物が琵琶湖南湖の富栄養化に与える影響の解明」研究代表者(2002年)  
河川環境管理財団助成研究「魚群探知機による沈水植物の分布・現存量のモニタリング手法の開発」芳賀裕樹・芦谷美奈子・大塚泰介(2002年6月～2003年5月)

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

日本陸水学会. 陸水学雑誌 [査読 1件]

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス活動】

#### 他の博物館、組織・団体等の主催行事

滋賀県高等学校理科教育研究会. 2002. 5.16. 平成14年度滋賀県高等学校理科教育研究会総会研修. 琵琶湖博物館. [講師]  
近畿工業高等学校科長連絡協議会. 2002. 6.14. 総会・講演. [講師]  
滋賀県立石部高等学校. 2002.7. 22～26. 琵琶湖探求. 環境セミナー船・琵琶湖博物館. [講師]  
滋賀県総合教育センター. 2002.9.12 2002.9.24. 教職経験者研修Ⅰ. 琵琶湖博物館. [船上実習・講師]  
安土町立老蘇小学校. 2002.10.31. 琵琶湖学習. 水質ゴミグループ担当  
兵庫県教育委員会. 2002.11. 2. 琵琶湖博物館のボランティア活動. 博物館ボランティアコーディネーター養成講座. 兵庫県立のじぎく会館, 兵庫県神戸市. [講師]  
兵庫県立人と自然の博物館. 2002.11. 3～4. ボランティアメッセ. 兵庫県立人と自然の博物館, 兵庫県三田市. はしかけ世話係  
国際湖沼委員会/JICA. 2003. 1.21. 湖沼水質保全研修. 琵琶湖博物館. [講師]  
安曇川町教育委員会. 2003.2. 1. 楽しく学ぶ環境講座. [講師]  
国際湖沼委員会/JICA. 2003.3. 11. 湖沼水質保全研修. 琵琶湖博物館. [講師]

#### 研修会・視察対応

加賀市立勅使小学校. 2003.2. 25. 総合研究のための教諭による見学(研修). 琵琶湖博物館  
加賀市立片山津小学校. 2003. 2.27. 加賀三湖の学習に関する相談. 琵琶湖博物館

私が2002年度に最も力を注いだのは、博物館資料データベースの共通項目・公開項目の作成である。これは情報センターが行う琵琶湖博物館情報システムの「web公開に伴うDB改良」を行うのを受けて、この機会に資料データベース公開のための共通化をはかろうと、資料担当として働きかけたのが発端である。本館の資料データベースは分野ごとの担当者が作成し共通化をはかる機会が少なかったため、同じ内容の項目でも項目名が異なっていたり、同じ項目名でも表記方法が異なっていたりすることが多々あった。そこで、資料データベースの共通項目を検討するために、資料担当の私と榊永学芸員、そして各資料データベースの担当者、実際に入力をする作業者をメンバーとして、メーリングリストによる議論や検討会を行った。今まで困難で誰も行おうとしなかったことであるが、今、これを行ったことが将来必ず評価されるはずという確信をもって進めた。特に、生物分野の共通項目の設定は、学問分野ごとの慣例などの壁があり、かなり難しい議論になった。門外漢の私にはお手上げで、とりまとめは全面的に榊永学芸員の力を頼ることとなった。また各データベースの共通項目の設定は、資料整理委託業務担当の上原千春さんをはじめとする入力作業者のみなさんの力なしでは円滑に進めることはできなかつたろう。おかげで9月にはほぼ共通項目も固めることができた。しかし、みなさんに感謝の意を表し、その労をねぎらう機会も作れぬまま、長期休暇に入ってしまったのは大変、残念だった。

この「総合博物館における博物館資料データベースの項目の共通化とその将来」については機会をつくってまとめ、館内外で批評していただきたいと考えている。

ところで、琵琶湖博物館には学芸員一人一人が自分の研究を紹介する「研究最前線」という展示コーナーがある。私は、そこで、自分の研究のキーワードとして「琵琶湖漁撈」「淡水魚食文化」「民具」「伝統的な地域文化の再評価」の4つを掲げている。

前二者については、調査研究の成果を、2000年度の企画展示「湖の魚・漁・食」やその翌年の企画展示「鯉」の場で発表してきた。岐阜県の輪中地帯におけるナマズ食調査については、展示解説書に「地域食文化を支える淡水魚流通ネットワークの形成—輪中地帯におけるナマズを中心として—」と題してまとめ、人文地理学会一般研究発表の場で発表することができた。

その一方で、私は民俗学部門担当という立場から、開館以来、博物館に収蔵する民具の整理を担当している。20年近くかかって収集された数千点の民具を整理する仕事は荷が重い、歴史資料整理室のスタッフに支えられながらコツコツ続け、ギャラリー展示「琵琶湖博物館民俗資料展」として、これまでに2回、その成果を発表してきた。今後続けていくが、単に展示するだけでは物足りない。昔のくらしの証人であるこの民具を使って、これからの社会に役立てていく道を模索している。

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表など】

中藤容子（2002年7月19日）本館に収蔵する琵琶湖の漁獲データについて、琵琶湖博物館研究セミナー、琵琶湖博物館 [発表者]

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「琵琶湖水系における伝統的資源利用とその変化」研究代表者（1998年度～）

### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

夏期集中講義「琵琶湖探究」, 2002年7月25・26日, 滋賀県の食生活, 石部高校3年生徒  
夏期集中講義「琵琶湖探究」, 2002年7月25・26日, フナズシの歴史, 石部高校3年生徒  
教職経験者研修, 2002年8月27日, 民俗資料（鉄製品）の保存処理, 上田上小学校教諭

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス活動】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

- 2002年4月17日. 展示交流員研修（B展示室）. 琵琶湖博物館, 滋賀県草津市  
2002年5月9日. 漁師と魚の知恵くらべ. フロアトーク. 琵琶湖博物館, 滋賀県草津市  
2002年6月20日. 魚をとるためのわなの仕かけ. フロアトーク. 琵琶湖博物館, 滋賀県草津市  
2002年7月10～12日. B展示室に関する展示交流について. モーニングレクチャー. 琵琶湖博物館, 滋賀県草津市  
2002年7月29日. 漁具にさわってみよう. フロアトーク. 琵琶湖博物館, 滋賀県草津市  
2002年8月23日. 身近な魚をとって食べる暮らし. フロアトーク. 琵琶湖博物館, 滋賀県草津市  
2002年9月18日. 琵琶湖の魚を使った料理. フロアトーク. 琵琶湖博物館, 滋賀県草津市

#### 他の博物館、組織・団体等の主催行事

- 草津公民館. 2002年6月12日. 琵琶湖で使われる漁具に注目して. 草津公民館やすらぎ学級. 草津公民館, 滋賀県草津市  
滋賀県断酒会. 2002年7月20日. 琵琶湖博物館展示のみどころ. 琵琶湖博物館, 滋賀県草津市

### 【情報整備活動】

- 琵琶湖博物館民俗資料: 収蔵資料データベース書式作成とデータ入力 [主担当]  
琵琶湖博物館情報システム、データベース改良事業（資料データベース担当） [主担当]

### 【資料整備活動】

- 琵琶湖博物館民俗資料: 保存処理、整理・登録作業 [主担当]  
琵琶湖博物館民俗資料: 新規収集 3件 [主担当]  
琵琶湖博物館民俗資料: 資料貸出 1件 [主担当]  
民俗資料特別観覧対応 [主担当]  
民俗収蔵庫維持管理業務 [主担当]  
環境収蔵庫維持管理業務 [副担当]  
資料担当 収蔵庫担当者会議担当・燻蒸担当・資料利用担当・資料目録担当 [主担当]

### 【展示活動】

- 常設展示B展示室「湖に生きる人々」コーナー展示管理 [主担当]

## 館内人事、館外活動等に関すること

### 【館内の人事】

- 2002年9月24日～12月31日. 出産前後休暇  
2003年1月1日～5月11日. 育児休暇

### 【館外の活動】

- 2002年11月開催. 平田町教育委員会主催「なまず展」. 展示協力

## 印刷物

### 【専門分野の著作】

- 矢野晋吾 (2002) 「村落における労働力の社会的性格」, 矢野敬生・林在圭, 『村落社会のフィールドワーク』, 早稲田大学人間科学部村落社会学研究室, 埼玉県所沢, 128-155
- 牧野厚史・大塚泰介・矢野晋吾 (2003) 「水田漁撈は消滅したかー水辺の遊びにみるホリとギロ (ン) のムラの過去と現在ー」 滋賀県立琵琶湖博物館, 『鯰ー魚と文化の多様性ー』, サンライズ出版, 滋賀県彦根市, 136-153

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表など】

- 矢野晋吾, 2002年6月20日, 環境管理における小規模沿岸漁業の位置, 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館, 琵琶湖博物館, 滋賀県草津市
- 池田康秀・関慎太郎・松田征也・矢野晋吾, 2002年6月3日, 水族企画展「滋賀のカメたち」から見えてきたもの, 第68回日本動物園水族館協会近畿ブロック水族館飼育係研修会, 日本動物園水族館協会, 海遊館, 大阪市
- 矢野晋吾, 2003年1月5日, 漁協新規参入者と地域環境管理, コモンズ研究会, コモンズ研究会, 滋賀県西浅井町菅浦, 滋賀県西浅井町菅浦

### 【研究プロジェクト等への参加】

- 文部省科学研究費補助金 若手研究(B)課題番号14710168 「日本村落社会における労働の社会学的研究ー主観的労働観を通じた再検討と理論化ー」 研究代表者 (2002年)
- 琵琶湖博物館専門研究「琵琶湖および内湖湖岸における水辺利用に関する研究」 研究代表者 (2002年)

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス活動】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

- 2002年4月13・14・20・21日, 「展示物をつくろう特別編ーヨシ葺きに挑戦!」, 琵琶湖博物館はしかけ事業「近江の国 中世なんでも探検隊」(橋本道範・牧野久実と共同) 琵琶湖博物館, 滋賀県草津市, [副担当]
- 2002年5月3・4日, 「展示物をつくろう特別編ー土器づくり再び! 中世のすり鉢をつくろう」, 琵琶湖博物館はしかけ事業「近江の国 中世なんでも探検隊」(滋賀県立陶芸の森, 橋本道範・牧野久実と共同) 琵琶湖博物館, 滋賀県草津市, [副担当]
- 2002年5月13日, 「滋賀のカメと人々」, フロアトーク, 琵琶湖博物館, 滋賀県草津市, [主担当]
- 2002年5月18・19・25日, 6月15・16日, 「地機研修」, 琵琶湖博物館はしかけ事業「近江の国 中世なんでも探検隊」(橋本道範・牧野久実と共同) 琵琶湖博物館, 滋賀県草津市, [副担当]
- 2002年7月25・26・30日, モーニングレクチャー「企画展中世のむら探検」展示の企画解説, 琵琶湖博物館, 滋賀県草津市, [主担当]
- 2002年7月26日, 「中世の機織りをしよう」, 琵琶湖博物館観察会, (橋本道範・牧野久実と共同) 琵琶湖博物館, 滋

賀県草津市。〔副担当〕

2002年8月4日。企画展特別ツアー「中世のむら探検」。企画展特別ツアー。琵琶湖博物館。滋賀県草津市。〔主担当〕

2002年8月3日。「中世のむら解説ツアー」。フロアトーク。琵琶湖博物館。滋賀県草津市。〔主担当〕

2002年8月9日。「中世の遊びをしよう」。(橋本道範・牧野久実と共同)琵琶湖博物館体験学習の日。琵琶湖博物館。滋賀県草津市。〔副担当〕

2002年8月10日。「むらのはなし」。琵琶湖博物館連続講座「琵琶湖の環境史」。琵琶湖博物館。滋賀県草津市。〔主担当〕

2002年10月23日。「中世の人々とにわとり」。フロアトーク。琵琶湖博物館。滋賀県草津市。〔主担当〕

2002年11月20日。「中世の妖怪・死後の世界」。フロアトーク。琵琶湖博物館。滋賀県草津市。〔主担当〕

2002年2月13・14・27日。「環境展示における時代性のとらえ方―富江家展示をめぐる―」。モーニングレクチャー。琵琶湖博物館。滋賀県草津市。〔主担当〕

2003年2月15日。近江の酒造りにふれてみよう。琵琶湖博物館観察会。今津町。滋賀県今津町。〔主担当〕

### 研修会・視察対応

滋賀県異業種交流会。2002年5月15日。館の概況、展示の解説。

### テレビ・ラジオ等への出演・協力

2002年4月20日。こどもプラスワン。BBC琵琶湖放送。2002年4月6日。館・展示解説。取材対応

2002年8月1日。田淵岩夫の得だねテレビ。KBS京都放送。2002年7月20・26日。館・展示解説。取材対応

2002年9月5日。ニュース・プラスワン。BBC琵琶湖放送。2002年8月26日。取材コーディネート。取材対応

こどもプラスワン。BBC琵琶湖放送。2002年10月17日。取材コーディネート。取材対応

こどもプラスワン。BBC琵琶湖放送。2002年12月27日。取材コーディネート。取材対応

テレビ東京。2003年3月5日。取材コーディネート

### 印刷メディアの出演協力

単行本『関西日帰りおでかけガイド』。メイツ出版。2002年10月18日。館・展示解説。取材対応

2002年11月19日。産経新聞。産経新聞社。2002年11月18日。取材対応・資料送付

2002年11月19日。毎日新聞。毎日新聞大津支局。2002年11月18日。取材対応・資料送付

2002年11月19日。毎日新聞。毎日新聞草津支局。2002年11月18日。取材対応・資料送付

2002年11月19日。読売新聞。読売新聞社。2002年11月18日。取材対応・資料送付

2002年11月19日。中日新聞。中日新聞社。2002年11月18日。取材対応・資料送付

2002年11月19日。共同通信社。2002年11月18日。取材対応・資料送付

### 【資料整備活動】

第4回おうみ市民活動屋台村。2002年9月。資料貸出。県民交流センター〔主担当〕

### 【展示活動】

特別展「中世のむら探検 近江の暮らしのルーツを求めて」。2002年7月20日～11月24日。実施設計〔副担当〕

### 【企画調整事業】

年報担当〔主担当〕

要覧担当〔主担当〕

教育の歩み担当〔主担当〕

広報担当〔副担当〕

出版物・印刷物担当〔副担当〕

県博物館協議会

## 館内人事、館外活動等に関すること

### 【館内の人事】

2000年4月～. 学芸技師

2001年4月～. 企画調整課

2002年4月～. 博物館情報誌「うみんど」企画・編集委員会. 委員

### 【館外の活動】

2000年11月～. 日本村落研究学会 研究委員会. 研究委員

2002年4月～. 滋賀県博物館協議会 企画委員会. 委員

2000年～. 滋賀県琵琶湖環境部 琵琶湖総合保全推進部会 評価システム検討ワーキング. ワーキング担当者

2000年～. 滋賀県琵琶湖環境部 琵琶湖総合保全推進部会 水辺エコトーン検討ワーキング. ワーキング担当者

2000年～2002年. 滋賀県農政水産部 農村整備課 みずすまし構想推進委員会. 委員

研究活動の内容が多岐にわたっているため、分野ごとに簡潔に記す。

#### [珪藻の植生学・生態学]

1999年に島根県斐伊川で採集した26本の付着生物膜試料に含まれていた珪藻180種を同定し、未同定種20種とともに論文として報告した。

群集を座標付けするための新しい序列化手法を開発し、斐伊川から得られた試料の計数結果に対して適用してみた。この手法は既に行方不明な段階にあるが、まだ算法上の問題が残っているため、問題が解決したら論文化する。

#### [珪藻の分類学]

Skvortzow (1936) は、京都帝国大学の川村多実二博士より送られた琵琶湖の底泥試料を調べ、珪藻の新種(変種・品種を含む)を多数報告した。しかし Skvortzow が調査した標本、すなわち報告された新種の正基準標本は、長らく行方不明である。そこで生態学研究センターに保存されていた、正基準標本を含んでいた底泥試料の一部を観察して、14種の珪藻の選定基準標本を選んだ。その報告を論文として発表するとともに、選定基準標本を琵琶湖博物館に収蔵した。

#### [珪藻の参加型研究]

2002年6月に、琵琶湖博物館はしかけのグループ「珪藻の会」(現「たんさいぼうの会」)が発足し、珪藻を中心として微小生物の研究を始めたので、これにアドバイザーとして関わった。たんさいぼうの会の活動として、微小生物の調査方法の研修を兼ねた採集旅行「たんさいぼうの旅」を、2002年11月と2003年3月にそれぞれ行い、それぞれ琵琶湖全域と安曇川で珪藻群落試料を採集した。2003年6月現在、採集した試料に含まれる珪藻の同定を進めている。

#### [魚群探知機を用いた沈水植物現存量の推定]

2001年に、魚群探知機像から沈水植物群落の現存量を算出する式を作成し、これを琵琶湖南湖の全域を航走して得られた魚群探知機像にあてはめて、南湖全体の沈水植物現存量を算出した。これを2002年中に論文化して投稿した(2003年6月現在審査中)。

#### [琵琶湖の透明度の年次変化の解析]

滋賀県水産試験場が1920年代から継続的に調査している琵琶湖北湖の透明度の年次変化を、線形スプラインモデルで解析した(受理済:2003年6月現在掲載待ち)。

## 印刷物

### 【学術論文】

- Ohtsuka, T. and Tuji, A. (2002) Lectotypification of some pennate diatoms described by Skvortzow in 1936 from Lake Biwa. *Phycological Research*, 50: 243-249.
- Ohtsuka, T. (2002) Checklist and illustration of diatoms in the Hii River. *Diatom*, 18: 23-56.

### 【一般向けの著作】

- 牧野厚史・大塚泰介・矢野晋吾 (2003) 水田漁撈は消滅したか? -水辺の遊びにみるホリとギロ(ン)のムラの過去と現在-。In: 滋賀県立琵琶湖博物館 (編) 鮭 -魚と文化の多様性- (淡海文庫 26)。サンライズ出版、彦根。136-153。

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表など】

- 大塚泰介・中井大介（2002年5月19日）斐伊川で採集された日本であまり知られていない珪藻数種。日本珪藻学会第23回大会。京都市健康保険組合保養所「きよみず」（京都市東山区）。
- 大塚泰介・芳賀裕樹・桑原靖典（2002年9月28日）音波探査機を用いた琵琶湖南湖の沈水植物現存量の推定。日本陸水学会第67回大会。東京農工大学農学部（東京都府中市）。
- 大塚泰介（2003年1月11日）斐伊川の珪藻群集：いくつかの注目すべき種、および群落の分布。第10回汽水域研究発表会。島根県民会館（島根県松江市）。
- 大塚泰介（2003年1月31日）南極の河川で付着珪藻の分布を調べる。陸上生物研究小集会「南極湖沼総合観測計画に関する研究小集会」。国立極地研究所（東京都板橋区）。
- 大塚泰介・戸田孝（2003年3月8日）琵琶湖博物館ネットワーク更新から見えてきたこと。第6回博物館ホームページ推進研究フォーラム「博物館における情報システムの現状とその活用」。神奈川県立歴史博物館（横浜市中区）。

### 【研究プロジェクト等への参加】

- 琵琶湖博物館専門研究「付着珪藻」  
河川整備基金助成事業「web版珪藻図鑑の作成」代表者

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

- 2003年1月～ 日本珪藻学会 珪藻学会誌：Diatom. [編集委員]  
日本陸水学会 陸水学雑誌：The Japanese Journal of Limnology. [論文査読 2件]  
日本珪藻学会 珪藻学会誌：Diatom. [論文査読 1件]

### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

- 博士学位論文「河川藻類食者マルツツトビケラの分布動態と集団摂食の有効性（仮題）」奈良女子大学人間文化研究科博士課程学生（片野泉）。[技術指導と助言]
- 修士論文「棚田及び大区画水田の田面水におけるケイ素の動態」東北大学農学研究科修士課程学生（小林紀子）。[技術指導と助言]
- 修士論文「ため池の表層堆積物における珪藻の生態評価と古環境復元への適用」大阪市立大学理学研究科修士課程学生（中垣玲子）。[技術指導と助言]
- 卒業論文「安定同位体比分析によるシジミの陸上有機物除去能力の推定」京大大学生物生産科学科学生（中田晶子）。[技術指導と助言]

### 【研究の国際交流に関すること】

- 2002年11月11日～15日 珪藻の写真撮影に関する講習受入（高哲煥 ソウル大学教授）

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス活動】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

- 2002年11月23・24日「たんさいぼうの旅 その壱 琵琶湖」。はしかけ事業。琵琶湖全域（滋賀県）。[世話人]
- 2003年3月27・28日「たんさいぼうの旅 その弐 安曇川」。はしかけ事業。安曇川全域（京都府・滋賀県）。[世話人]

#### 他の博物館、組織・団体などの行事

- 2002年4月24日「私がみてきた琵琶湖および中海・宍道湖の環境問題」。京都大学環境ネットワーク4Rの会 新入生

歓迎講演会, 京都大学総合人間学部, [講師]

2003年3月18日「琵琶湖の開発とヨシ帯」, ユース世界水フォーラム分科会「水と開発」, [資料作成]

### 【資料整備活動】

#### 琵琶湖博物館の資料整備活動

微小生物標本, [資料受入・整理・同定・登録作業] (楠岡泰・佐々木行忠・花田美佐子と共同)

資料データベース, [再構築の総合調整] (中藤容子・榎永一宏と共同)

### 【情報整備活動】

#### 琵琶湖博物館の情報整備活動

情報システム, [更新・追加開発の調整] (戸田孝と共同)

情報システム, [全般運営と運転管理] (天野好美・戸田孝と共同)

情報システムに関する照会への対応,

博物館あてメールへの対応、回答対応の割振管理, (芦谷美奈子と共同)

専門の博物館学の研究においては、資料の総合研究の一環として、資料論の継続とともに、以前から継続して考えてきた博物館の評価に関わる議論を進めた。特に資料論では、従来から行ってきた一次資料と二次資料それぞれについての議論を発展させながら、そのような博物館資料の活用を考える際に避けて通れない、地域博物館とは何であり、それは地域社会の中でどのような役割をするのか、ということを論議して、「日本における地域博物館という概念」を論文として発表した。

この論文では、かつては郷土博物館や地方博物館などと呼ばれていた博物館に対して、地域博物館という呼び名を与え、単にある特定の地域に存在する博物館という以上の意味を持たせることによってその存在を主張する博物館の姿を確認するとともに、その議論の中から、現在の地域博物館の大きな目的は街づくりに関わることであると結論付けた。そして博物館の資料も、地域の人々が自主的な活動を行うことに対して、手助けができるような役割をもつことができると考えた。

博物館の評価については、行政評価や大学評価、あるいは国立博物館の独立行政法人化などによって、博物館の評価は、博物館学の課題ではなく、現実的な運営の課題となった。布谷らは、この急激な変化以前から博物館の評価についての議論を行ってきたが、この年度では各地での新しい博物館評価の議論についての情報を収集したり、日本博物館協会が行った「博物館運営の活性化・効率化に資する評価のあり方に関する調査研究委員会」に参加して、実際の評価基準を作るに当たって、いくつかの点について意見を述べ、その成文化に貢献した。

またその他の分野では、滋賀県で2000年に作成した「大切にしたい生物」リストと、京都府レッドデータブック(2002年)の継続調査が行われており、滋賀県では2005年を目指した新しいリスト、京都府ではリストを作成すると同時にそのリストの普及と実行化を目指した条例作りなどが想定されており、そのような作業に参加して、両府県のレッドデータブックにかかわる議論を行った。

事業では、開館以後手をつけていなかった「身近な環境をみめる人びと」のポスター展示を再募集し、約50枚ほどの新しいポスターを展示することができた。また2003年の企画展示「外来生物 つれてこられた生き物たち」と、2004年の企画展示「植物が動くとき」の副担当者として、また2002年度の世界水フォーラム関連ギャラリー展示「世界の水辺の暮らし100年」の副担当者として、展示つくりとその運営管理を行った。

またその企画展示にも関連して、フィールドレポーターの企画「タンポポ調査」を担当し、あわせて植物標本の整理事業として、「建部・北川植物標本目録」作成にかかわり、植物標本の作製と整理のマニュアルを完成させた。

## 印刷物

### 【学術論文】

布谷知夫(2002)日本における地域博物館という概念 博物館学雑誌 28(2)1-10

布谷知夫(2002)地域生態系 京都府レッドデータブック(下)地形・地質・自然生態系編 234-266

### 【専門分野の著作】

布谷知夫(2003)「よみがえれ写真たち」事業とその目的 全科協ニュース 33(1)3-5

布谷知夫(2002)博物館と学校とのいい関係をつくるために 更正保護 法務省保護局 53(6)31-34

松井・村上・布谷(編・著)(2003)京都府の希少な野生生物(普及版)サンライズ出版

布谷知夫・草下伸吾・芦谷美奈子・桑垣瑞穂・中井大介 琵琶湖博物館植物標本整備管理マニュアル 琵琶湖博物館資料目録 植物標本2 建部俊夫・北川良也植物標本目録 琵琶湖博物館104-111

布谷知夫(2002)博物館はいかに社会公共の利益に寄与できるか より幅広い人々の支援が得られる博物館を目指して(博物館大会シンポジウム) (財)日本博物館協会第49回大会報告書

## 【一般向けの著作】

- 布谷知夫 (2002) 琵琶湖博物館の「はしかけさん」 ミュゼ (54)22
- 布谷知夫 (2002) 博物館と地域と 親しむ博物館事業報告書「よみがえれ 写真たち」133-134
- 布谷知夫 (2002) むすびにあたって なぜこの事業を行なったのか 親しむ博物館事業報告書「よみがえれ 写真たち」 138-139
- 樋口隆康・鷺塚泰光・成洛俊・黄曉芬・布谷知夫 (2002) 九州国立博物館竣工記念シンポジウム 西日本新聞 (4月10日) 15-17
- 布谷知夫 (2002) 博物館は少しでも多くの人に利用してもらうために造られています 湖～ぶる 生活共同組合コープ滋賀 (6)9
- 布谷知夫 (2002) 植物観察の小さなテーマ 自然観察のテーマ・47 Nacs-J自然観察指導員大阪連絡会 会誌 (49) 2-4
- 布谷知夫・桑垣瑞 (2002) 桑島正二植物標本コレクション目録の編集にあたって 植物 I 桑島正二植物標本目録 琵琶湖博物館資料目録6:5-6
- 布谷知夫・桑垣瑞(編集) (2002) 植物 I 桑島正二植物標本目録 (編集) 琵琶湖博物館資料目録6. 514pp
- 布谷知夫 (2002) 植物観察の小さなテーマ(2)・48 Nacs-J自然観察指導員大阪連絡会 会誌 (50)2-4
- 布谷知夫 (2002) 植物も動くのです はしかけニュース 20
- 布谷知夫 (2002) 琵琶湖博物館 経済人 (660)14-15
- 樋口隆康・鷺塚泰光・成洛俊・黄曉芬・布谷知夫 (2002) 九州国立博物館竣工記念シンポジウム Museum Kyushu 文明のシルクロード (72)28-36
- 布谷知夫 (2002) 市民とともに作る博物館 建設設計資料・88 拡張型博物館 規模と機能の拡張 建設思潮研究所・編 建設資料研究社 23
- 布谷知夫 (2002) 植物観察の小さなテーマ(3) 自然観察のテーマ・49 NACS-J自然観察指導員大阪連絡会会誌51: 2-3
- 布谷知夫 (2002) ほん・え・ほん(番外編) NACS-J自然観察指導員大阪連絡会会誌51: 6
- 布谷知夫 (2002) 利用者の参加を促す博物館の多彩な事業 滋賀県内のエコミュージアムに連なる構想や提案の紹介  
① 甲西エコミュージアム事業報告書 甲西町企画課: 7
- 布谷知夫 (2002) 蓮如はんの歯がた 自然観察のテーマ・50 NACS-J自然観察指導員大阪連絡会会誌52: 2-4
- 布谷知夫 (2002) 木の皮(樹皮) 自然観察のテーマ・51 NACS-J自然観察指導員大阪連絡会会誌53: 2-4
- 千地万造・布谷知夫 (2002) 自然観察指導員検定制度に反対する 自然保護NGO半世紀のあゆみ 日本自然保護協会五〇年誌・下 16-17(関西自然保護機構 No.3 1979より抜粋・再掲載)
- 布谷知夫 (2002) 上向の花と下向きの花 自然観察のテーマ・52 NACS-J自然観察指導員大阪連絡会会誌54: 2-4
- 布谷知夫 (2003) 琵琶湖と地域から環境を考える 平成14年度学校薬剤師講習録39-54 日本学校薬剤師会(編) (株)薬事日報社
- 布谷知夫 (2003) 博物館の活動と学校・地域との連携 平成14年度文部科学省委託事業科学系博物館教育機能活用推進事業実施報告書 萩市郷土博物館教育機能活用推進事業実行委員会 36-37
- 布谷知夫・中井大介(編) (2003) 琵琶湖博物館資料目録第9号 植物標本2 建部俊夫・北川良也植物標本目録 琵琶湖博物館 123pp
- 布谷知夫・草加伸吾・芦谷美奈子・桑垣瑞・中井大介 (2003) 琵琶湖博物館植物さく葉標本製作・登録・管理マニュアル 琵琶湖博物館資料目録第9号 植物標本2 建部俊夫・北川良也植物標本目録 琵琶湖博物館 104-111

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表など】

- 布谷知夫 (2002年4月26日) 下之郷遺跡から出土した木材遺物による古環境復元 下之郷遺跡研究会 琵琶湖博物館セミナー室
- 布谷知夫 (2002年5月21日) 地域博物館論 平成14年度博物館職員講習 文部科学省 国立教育制作研究所

布谷知夫(2003年1月25日) 博物館を作るー琵琶湖から生まれた博物館 プリジストン美術館土曜講座  
布谷知夫(2003年1月26日) 琵琶湖博物館での博物館作り 萩市郷土博物館 萩氏市民会館  
布谷知夫(2003年3月3日) 私が考える博物館像 名古屋大学博物館講演会 名古屋大学博物館  
布谷知夫(2003年3月19日) 水辺からの発信 ヨシ文化の再生と創造(水フォーラム関連分科会) シンポジウム エ  
コロジ-大阪 グランキューブ大阪会議室

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館総合研究「博物館資料の収集・整理・保管・利用に関する研究」副代表

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

日本生態学会自然保護専門委員会 委員  
全日本博物館学会 委員  
関西自然保護機構 理事・事務局長

### 【大学での講義・実習、学生の指導など】

2002年4月10日 琵琶湖博物館の考えかた 京都精華大学新入生地域学習 琵琶湖博物館ホール  
2002年4月13日 琵琶湖博物館の紹介 京都橘女子大学新入生導入教育 琵琶湖博物館ホール  
2002年5月26日 琵琶湖博物館と地域 奈良大学博物館学講座現場見学実習 琵琶湖博物館セミナー室  
2002年6月14日 環境を展示するために考えたこと 京都大学生物資源経済学実習 京都大学大学院農学研究科生物  
資源経済学専攻 琵琶湖博物館会議室  
2002年7月6日 琵琶湖博物館について 椋山学園博物館実習  
2002年8月1日 琵琶湖博物館の研究 平成14年度博物館学実習 琵琶湖博物館会議室  
2002年11月23日 琵琶湖博物館の考え方について 手塚山大学博物館見学実習  
2002年12月3日 琵琶湖博物館の開館時と現在の考え方 愛知学院大学博物館見学実習  
2002年12月15日 琵琶湖博物館の設置理念 大阪芸術大学博物館見学実習 琵琶湖博物館実習室  
2002年12月24日 博物館学各論A 滋賀県立大学博物館学習中講義 滋賀県立大学

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス活動】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

2002年4月6日 植物観察はしかけ研修 野洲町  
2002年4月14日 春の植物観察 野洲町  
2002年4月20日 里山体験教室 日野町上駒月  
2002年5月6日 ムラのヨシを見てみよう 近江八幡市  
2002年5月25日 フィールドレポーター調査「タンポポ調査」 山東町  
2002年7月14日 植物観察はしかけ研修 比良山系打見山  
2002年7月21日 夏の植物観察会 比良山系打見山  
2002年9月16日 琵琶湖の巨木を見に行こう 高月町  
2002年9月29日 植物観察はしかけ研修 余呉町管山寺  
2002年10月13日 秋の植物観察会 余呉町管山寺  
2002年10月27日 秋の里山の観察会 大津市仰木  
2003年1月13日 植物観察はしかけ研修 大津市皇子が丘公園  
2003年1月19日 冬の植物観察会 大津市皇子が丘公園  
2003年3月15日 イネ科植物の花の形 植物観察はしかけ研修 琵琶湖博物館実習室

## その他の事業

フィールドレポーター「タンポポ調査」の指導  
はしかけ「植物観察グループ」担当

## 学校連携行事

- 2002年8月6日 理科教育講座 台所の植物学 総合学習センター 琵琶湖博物館実習室  
2002年8月26日 小学校教員研修会 日野町  
2002年9月10日 食卓の植物学 植物に親しむ体験 平成14年度教職経験者研修Ⅰ 滋賀県総合教育センター 琵琶湖博物館会議室  
2002年9月12日 草木染めと炭焼き 植物に親しむ体験 平成14年度教職経験者研修Ⅰ 滋賀県総合教育センター 琵琶湖博物館生活科学実習室  
2002年9月24日 琵琶湖博物館の概要 平成14年度教職経験者研修Ⅰ 滋賀県総合教育センター 琵琶湖博物館セミナー室  
2002年9月24日 展示について(C展示室) 平成14年度教職経験者研修Ⅰ 滋賀県総合教育センター 琵琶湖博物館C展示室  
2002年9月24日 植物観察と草花あそび 植物に親しむ体験 平成14年度教職経験者研修Ⅰ 滋賀県総合教育センター 琵琶湖博物館屋外展示  
2002年9月26日 琵琶湖博物館の概要 平成14年度教職経験者研修Ⅰ 滋賀県総合教育センター 琵琶湖博物館セミナー室  
2002年9月26日 種子散布と草花あそび 植物に親しむ体験 平成14年度教職経験者研修Ⅰ 滋賀県総合教育センター 琵琶湖博物館屋外展示  
2002年10月7日 真野中学校体験学習(草木染体験) 琵琶湖博物館実習室  
2002年10月31日 真野中学校体験学習(草木染体験) 琵琶湖博物館実習室  
2002年11月1日 淀川・琵琶湖の水の現状 学芸員トーク 高槻市柳川中学校 生活実験工房  
2002年11月19日 体験学習(草木染め) 信楽中学校 琵琶湖博物館生活体験実習室  
2002年11月21日 子供の体験学習の充実に向けた実践交流会 滋賀県教育委員会事務局 大津市生涯学習センター  
2002年12月11日 地域で博物館と学校がおこなう環境教育 滋賀県環境教育フェア基調講演 琵琶湖博物館ホール

## 他の博物館、組織、団体等の行事

- 2002年4月19日 足もとの生き物から環境について考える 滋賀県レイカディア大学草津校 琵琶湖博物館ホール  
2002年4月24日 自然の見方・観察会入門 インストラクター養成講座12期 (社)大阪自然環境保全協会 大阪北教養ルーム  
2002年5月16日 綿毛の先の地球環境 女性さわやか学級 守山市立速野公民館  
2002年6月18日 植物から学ぶ地球環境 小津熟年はつらつ学級 小津公民館  
2002年8月6日 琵琶湖博物館と環境 NHK放送大学「自然観察」セミナー室  
2002年8月7日 自然調査ゼミナール 樹木の成長について考えよう 生活実験工房  
2002年8月8日 夏のヨシ原の観察 NHK放送大学「自然観察」近江八幡市円山  
2002年8月25日 そよごの会自然観察研修会2002年8月27日 滋賀県新任教員研修 ラフォーレ  
2002年8月30-9月1日 自然の観察 自然観察指導員講習会・茨城県 茨城県女性参画センター  
2002年9月5日 植物から見た地球環境 守山わくわく熟年講座 守山会館  
2002年9月14日 市民の調査活動が地域の自然を守る 豊中アジェンダ21推進会公開自然講座 豊中市公民館  
2002年10月3日 琵琶湖博物館の教育活動 JICA博物館技術コース研修 琵琶湖博物館会議室および屋外展示  
2002年10月5日 東山はなぜシイ林になったのか 秋の森林を眺める(1) シティーキャンパス講座 仏教大学 仏教大学四条センター  
2002年10月6日 布谷先生の台所の植物観察・パートⅢ 大阪自然環境保全協会・そよごの会 大阪自然環境保全協会 クレオ大阪・東会議室  
2002年10月16日 琵琶湖博物館と環境 岸和田市教育委員会 琵琶湖博物館会議室  
2002年10月25日 琵琶湖博物館の概要 ビルディング振興協会 琵琶湖博物館会議室

- 2002年10月26日 里山と人のくらし 秋の森林を眺める(2) シティーキャンパス講座 仏教大学 仏教大学四条センター
- 2002年1月2日 ドングリのなる木とは 秋の森林を眺める(3) シティーキャンパス講座 仏教大学 仏教大学四条センター
- 2002年11月15-17日 地域の自然を知る 自然観察指導員講習会大阪 NACS-J自然観察指導員講習会・日本自然保護協会 大阪府泉佐野市信天山
- 2002年11月20日 臨地実習 秋の森林を眺める シティーキャンパス講座 仏教大学 京都府国際会議場公園
- 2002年11月28日 琵琶湖と地域から環境を考える 学校環境衛生・薬事衛生研究協議会 文部科学省・滋賀県教育委員会 大津市民会館
- 2002年12月14日 ブナの森を残すために 秋の森林を眺める(4) シティーキャンパス講座 仏教大学 仏教大学四条センター
- 2003年1月21日 野草から環境問題を考える 中洲熟年はつらつ学級 中洲公民館
- 2003年1月30日 JICA博物館コース 琵琶湖博物館の交流活動と展示の考え方 東ティモール博物館職員研修 琵琶湖博物館
- 2003年2月14日 琵琶湖博物館の概要 司法研修生研修会 琵琶湖博物館会議室
- 2003年2月14日 台湾観光業社視察会 琵琶湖博物館の目的と展示 琵琶湖博物館会議室
- 2003年2月23日 水と環境 葛城青年会議所 琵琶湖博物館セミナー室
- 2003年3月1日 タンポポ調査の意味 タンポポ調査委員会 大阪自然環境保全協会
- 2003年3月2日 はじめに(催しの目的)使える琵琶湖博物館シンポジウム 琵琶湖博物館ホール
- 2003年3月16日 琵琶湖から環境を考える 日本赤十字放射線技師会第11回近畿地区研修会 琵琶湖ホテル
- 2003年3月23日 琵琶湖博物館の紹介 水フォーラム公式ツアー 琵琶湖博物館会議室

## 【展示活動】

### 琵琶湖博物館の展示活動

- 2002年4月29日 竹鼓コンサート 琵琶湖博物館アトリウム
- 2002年6月2日 竹鼓ワークショップ 琵琶湖博物館アトリウム
- 2002年8月11日 コンサート「水にはぐくまれて 音で描く湖の情景」 琵琶湖博物館ホール
- 琵琶湖博物館C展示室「身近な環境を見つめる人たち」の展示更新
- 企画展示「外来生物 つれてこられた生き物たち」副担当
- 企画展示「植物が動くとき」副担当
- 世界水フォーラム関連ギャラリー展示「世界の水辺のくらし100年」副担当

## 【資料整備】

- 資料目録「桑島正二植物標本目録」の制作発行
- 資料目録「建部・北川植物標本目録」の制作・発行

## 館内人事、館外活動等に関すること

### 【館内の人事】

総括学芸員・事業部長

### 【館外の活動】

- ミュージアムの近未来を考えるセミナー企画委員会委員
- 博物館運営の活性化・効率化に資する評価のあり方に関する調査研究委員会 特別委員
- 史跡・下之郷遺跡保存整備検討委員会委員
- 湖国と文化懇談会委員
- JICA博物館技術コース委員会 委員

関西自然保護機構理事・事務局長

京都府レッドデータブック調査委員会委員(生態系調査部会長)

滋賀県生き物総合調査委員会委員、植物部会会長

京都府国定公園選定委員会天然記念物と泉葛城山ブナ林保護権等委員会委員、会長代理

滋賀県棚田地域等保全検討会委員

田園空間博物館整備地方委員会委員

(財)日本自然保護協会自然観察指導員講習会講師団

京都府野生生物委員会委員

オサムシ科を中心に、琵琶湖のまわりの陸生昆虫類の系統進化を明らかにすることを研究の目標としている。今年度は、大きく2つを柱として研究を行った。つまり、専門研究「オサムシ科甲虫の系統分類学的研究と生態学的研究」、そして、総合研究「博物館資料の収集・整理・保管と利用に関する研究」である。

専門研究では、研究論文「熊本県益城町の津森層から産出した昆虫化石」を共著で発表した。この論文では、オオクロクシコメツキを更新統からの最も古い化石として初めて記録し、産出した昆虫化石から湿地環境や獣の存在という当時の古環境を推定した。また、研究論文「鹿児島県吉松町の溝園層から産出した昆虫化石」を共著で発表した。この論文では、更新世の溝園層から産出した昆虫化石の分析から、止水域を伴う湿原が広がっていたこと、獣が生息していたこと、針葉樹が存在していたという当時の古環境を推定した。さらに、ゲンゴロウモドキなどの水生昆虫は少なくとも更新世まで九州に生息しており、その後の気候変動や生息環境の消滅などの理由により絶滅したことを明らかにした。

また、滋賀県長浜市の宮司遺跡から産出した昆虫遺体について調べ、その結果を「長浜市埋蔵文化財調査資料第41集」に研究論文として発表した。守山市下之郷遺跡から出土した昆虫遺体について、下之郷遺跡調査検討会において報告した。

現生のオサムシの分類学的研究では、三重県で新たに発見されたミカワオサムシ個体群を記載し、その他の個体群もあわせた形態分析を行い系統を推定した。その研究結果は共著論文としてまとめ学術雑誌に投稿中である。この研究は博物館の研究セミナーで報告した。

1999年11月～2000年3月まで、琵琶湖博物館のフィールドレポーター制度で行った「滋賀県におけるカマキリの卵囊の分布」調査結果を、『昆虫と自然』、37号で公表した。

日本昆虫学会自然保護委員会が発行している、『昆虫類の多様性保護のための重要地域第3集』において、滋賀県の比良山系を選定し、地域の概要、選定理由、保護のあり方などについて執筆した。

総合研究「博物館資料の収集・整理・保管と利用に関する研究」では、異分野の学芸職員と議論している。今年度は全体をまとめるための第一段階に着手した。この総合研究の中で、伊吹町寺林の採石場に分布している地層から産出する昆虫化石について、層序や花粉分析、植物化石の研究者とともに論文にまとめている。

## 印刷物

### 【学術論文】

- 林成多・八尋克郎・北林栄一 (2001) 熊本県益城町の津森層から産出した昆虫化石. *Bulletin of the Mizunami Fossil Museum*, 28: 239-243.  
 林成多・八尋克郎・北林栄一 (2002) 鹿児島県吉松町の溝園層から産出した昆虫化石. *Bulletin of the Mizunami Fossil Museum*, 29: 161-168.

### 【専門分野の著作】

- 八尋克郎 (2002) 比良山系. 昆虫類の多様性保護のための重要地域第3集: 56-57, 石井実・郷右近勝夫・矢田脩編, 日本昆虫学会自然保護委員会発行.  
 八尋克郎・野原章宏 (2002) 滋賀県におけるオオイチモンジシマゲンゴロウの記録, むしぺん, 昆虫と自然, 37(10): 9.  
 八尋克郎・フィールドレポーター (2002) 滋賀県におけるカマキリの卵囊の分布, 昆虫と自然, 37(12): 32-35.  
 八尋克郎 (2002) 宮司遺跡の昆虫遺体について, 長浜市埋蔵文化財調査資料第41集: 44-46, plate 1.  
 八尋克郎 (2002) のぞいてみよう博物館の舞台裏. 特集, うみんど26号: 2-3

### 【一般向けの著作】

八尋克郎（2002）ミツバチの群れ。第12回水族企画展示 魚の群れ探検—魚はなぜ群れをつくる？—パンフレット

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表など】

八尋克郎（2002年4月26日）守山市下之郷遺跡から出土した昆虫遺体。下之郷遺跡調査検討会，滋賀県立琵琶湖博物館。

久保田耕平・八尋克郎（2002年6月12日）三重県で新たに発見されたミカワオサムシ個体群の形態。オサムシ自然史研究会，長野県原村。

八尋克郎（2002年8月16日）三重県で新たに発見されたミカワオサムシ個体群の形態。研究セミナー，滋賀県立琵琶湖博物館。

八尋克郎・林成多・北林栄一（2002年9月28日）大分県安心院盆地の鮮新統津房川層から産出した昆虫化石。日本昆虫学会第62回大会，富山大学。

八尋克郎（2002年9月28日）第10回欧州地表性甲虫会議について。日本昆虫学会第62回大会小集会。地表性甲虫談話会，富山大学。

武本大輔・近雅博・野間直彦（滋賀県立大学・環境科学）・八尋克郎（2002年11月23-24日）滋賀県東部における島緑地でのオサムシ相について。日本甲虫学会・鞘翅学会合同大会，大阪市立自然史博物館。

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館総合研究「博物館資料の収集・整理・保管と利用に関する研究」 研究代表者

琵琶湖博物館専門研究「オサムシ上科甲虫の系統分類学的研究および生態学的研究」

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

滋賀オサムシ研究会。[事務局]

日本昆虫学会近畿支部。[自然保護委員]

昆虫分類学若手懇談会。[事務局]

日本応用動物昆虫学会。[論文査読1件]

### 【大学での講義・実習、学生の指導など】

2003年1月20日 滋賀県におけるオサムシの分布とその形成過程。滋賀県立大学大学院講義「生物多様性論」，滋賀県立大学。

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス活動】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

2002年6月9日 琵琶湖のまわりの昆虫がたどった歴史。博物館連続講座「琵琶湖の環境史：私たちの暮らしと環境のなりたちを探る」。琵琶湖博物館

2002年7月20日 里山の虫たち。里山体験(II)。琵琶湖博物館（榎永一宏・長崎泰則・前畑政善・楠岡泰・山口幸江と共同）

2002年7月21日 虫のはなし。田んぼ体験教室。琵琶湖博物館（榎永一宏・杉谷博隆・北川峰男と共同）

2002年7月25,26日 滋賀の昆虫。ホタルの種類と生態・歴史。矢野絵美さん指導，石部高校博物館学習（ミュージアムスクール）

2002年7月28日 夏休み自由研究講座—調べかた・集めかた・標本の作りかた—。自由研究講座。琵琶湖博物館（榎

永一宏・山口幸江・佐々木剛と共同)

2002年 8月24-25日 夏休み相談室. 琵琶湖博物館 (榎永一宏と共同)

2002年 8月25日 ミドリセンチコガネを探しに行こう. 観察会. 栗東市 (榎永一宏・山口幸江・佐々木剛と共同)

2002年 9月12日 展示について (C展示室). 平成14年 (2002年) 度教職経験者研修 I. 琵琶湖博物館

2002年度フィールドレポーターアオマツムシ調査の監修

### 【情報整備活動】

#### 琵琶湖博物館の情報整備活動

個人ホームページの開設 (2002年12月20日)

### 【資料整備活動】

#### 琵琶湖博物館の資料整備活動

資料担当所掌事務の総括. [副主任]

資料整備の方針, 計画の策定, 連絡調整. [副主任]

資料の収集と利用. [主任]

収蔵施設等の維持管理. [主任]

収蔵庫担当者会議. [副主任]

2001年 4月20日 博物館の資料整備. 博物館新任研修. セミナー室

琵琶湖博物館昆虫乾燥標本資料の収集・整理・保管 (山口幸江・佐々木剛と共同)

琵琶湖博物館昆虫乾燥標本資料の収集・整理・保管と利用マニュアル (第2版) 作成 (山口幸江・佐々木剛と共同)

動物収蔵庫維持管理業務. [主担当]

琵琶湖博物館昆虫乾燥標本累計21192件登録. [登録]

琵琶湖博物館昆虫乾燥標本購入. 1件. [購入]

研究用昆虫標本貸出. 4件. [貸出]

### 【展示活動】

#### 琵琶湖博物館の展示活動

2001年 4月26日 生き物コレクション. C展示室の概要. 博物館新任研修

C展示室生き物コレクション昆虫コーナー: ミドリセンチコガネの展示更新

ディスカバリーボックス「バラバラ節足動物」の製作 (亀田佳代子・松尾知・山中裕子と共同)

### 【企画調整事業】

2002年11月21日 博物館学見学実習. 京都府立大学農学研究科. 琵琶湖博物館

2003年 3月11日 九州大学総合研究博物館視察対応. 琵琶湖博物館

2003年 3月21日 世界水フォーラム進行. 天津プリンスホテル

2003年 3月22日 湖南省人民代表大会環境交流団の訪問視察対応. 琵琶湖博物館

2003年 3月26日 環境省生物多様性センターの収蔵庫の管理・運営の視察. 琵琶湖博物館

### 【研究部活動】

2003年 3月2日 (日) シンポジウム「使える琵琶湖博物館をめざして」琵琶湖博物館. 研究発表会 [会場設営]

博物館学研究グループの研究推進 [副主任]

## 館内人事、館外活動等に関すること

### 【館外の活動】

滋賀県生きもの総合調査 (2005年版滋賀県で大切にすべき野生生物) 昆虫類部会: 委員 (1998年度~; 滋賀県琵琶湖環境部自然保護課).

大津市木の岡地区ビオトープ保全整備学術委員会委員 2002年  
大津市木の岡地区ビオトープ保全利用推進協議会委員 2002年

森羅万象、とりわけ生命系に強い興味をもっています。地球上の様々な生き物の生きて行く上での巧みさ、不思議さを少しでも多くの人に知って貰いたく色々な生き物について調査研究をしています。特に水生生物について知識を蓄えてきました。今は、水中での音による生物の環世界に興味があり、ギギの音利用について調べています。今年度では、魚類音響行動に関する研究の進展はありませんでした。展示水槽において、機器点検のためのエアポンプ、モーター類の停止に伴い、これら機器による騒音の停止が期待できたことから録音調査を行ってみました。しかし、実際は、ギギ水槽の騒音に代わり、隣接するギンブナ水槽の音などが配管を伝達して大音量で侵入する事などから、ギギ鳴き声に関する録音は出来ませんでした。ギギは、モーター類の停止に伴う環境の異常を察知していることが十分に推測されました。逃げまどうギギの蹴り上げる砂の音や、稀にマイク近くに衝突する個体の小さな発音が記録されただけでした。一昨年の室内実験水槽での録音データについて音響関連の技術者に意見を尋ねたところ、体のどこかが増幅装置として利用されていることを暗示する回答でした。そこで、これまでに判っていることから類推し、一連のナマズ類の鰾と周辺の骨格の状態から、これらの種の多くが鰾を利用した発音増幅装置を備えていると考えています。実際、ギギでは水槽内での個体間闘争の際に問題の部位が震えていることも観察しています。しかし、そのことをどの様に実験し証明して行くか思案中です。

私の求める博物館の知識の普及方法のひとつとして映像資料の利用があります。映像資料の取扱いに関して、写真学会などで勉強中ですが、撮像素子によるデジタルカメラの進歩が様々な議論を呼んでいます。遺構調査や文化財などの記録に安易な利用の増える事が予想されることから注意が呼びかけられています。精密な記録写真とデータ検索を容易にするためのマークのような利用形態とに分離するのがよいと個人的には考えていますが、現実はそのような簡単に行かないようです。学会一般には、保存資料としての銀塩写真と利用のためのデジタル化もしくはデジタル画像の撮影という二種併用の方向に向かっているような印象を持っています。しかし、技術の進歩以上に、消費促進のために新規ユーザーの開拓、製品販売に邁進する業界の姿を見ると、安易に時代の流れに乗るのではなく、博物館として映像資料の保存と活用にどの様に関わるのが良いか改めて考える必要を感じています。琵琶湖文化館水族写真資料については、ポジフィルムの多くは整理され、一部がフォトCD化されましたが、ネガフィルムに関しては仮のデータベース加工に留まっています。しかし、毎年水族企画展などを通じ、新たな写真資料も集まっているので、利用できる資料は日々蓄積されています。

地域を活かした博物館活動として参加しているnets滋賀の水生生物調査グループの活動は、10年の節目を越え改めて初心に帰り調査を行う事になりました。20人程度の家族を中心としたグループであるため、これまでの活動を総括した報告書の出版にだいぶ手こずっており、なかなか発行までこぎ着けできていません。活動状況や調査地域の環境と生物を撮影した写真は、整理され、既に電子的なカードデータベースを作製したので、いつでも博物館での利用が可能となっています。後は出版を待つだけです。

博物館の使命と資料に科せられた使命を考慮すると、私たち一般の持つ、知識を得て成長したいと願う魂の声に応えるため、学芸員は資料の保存と利用について真摯に考察しなければならないと改めて考えています。資料を時の流れを超えて保存し、人と社会に奉仕する道具として活用する道を探っています。

数年前より、個人的な問題から端を発し、死に対する様々な疑問とそれに対する回答を探しています。既に色々な著作物から知識の集積を行いました。生涯学習施設としての博物館の業務を考えると、人生全体に関わる疑問や問題の回答として、その様な分野の研究も必要ではないかと考えています。

## 研究活動に関する業績

### 【研究プロジェクト等への参加】

地球環境研究総合推進費「水辺環境変遷のアーカイブ作成と公開手法に関する研究」秋山廣光、大西行雄、嘉田由紀子（2002～2004年）景観の変化から探る世界の水辺景観の長期的トレンドに関する環境社会学的研究。

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス活動】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

琵琶湖博物館、秋山 廣光（2002.4.19）「家族単位の小グループによる地域の自然観察活動の取り組みについて」、研究セミナー、セミナー室、講師

琵琶湖博物館、秋山 廣光（2002.4.24）「水族の展示手法」、展示交流員 研修、セミナー室・展示室、講師

琵琶湖博物館、秋山 廣光（2002.5.10）「琵琶湖の魚と環境について」、三菱キャタピラー、会議室、講師

琵琶湖博物館、秋山 廣光、井戸本、矢野ほか（2002.5.26）姉川ヤナを見てみよう、観察会、姉川河口（長浜市）、長浜市、近江町、講師、指導員

琵琶湖博物館、秋山 廣光（2002.7.6）「琵琶湖に棲む魚と環境」、フロアトーク、水族展示室、講師

琵琶湖博物館、秋山 廣光（2002.8.25）夏休み相談室、夏休み相談室、セミナー室、講師

琵琶湖博物館、秋山 廣光（2002.9.25）「秋に卵を産む魚について」、フロアトーク、水族展示室、講師

琵琶湖博物館、秋山 廣光（2002.11.16）展示魚類解説、フロアトーク、水族展示室、講師

琵琶湖博物館、秋山 廣光（2002.11.21～26）、よく似た展示魚のみ分け方、モーニングレクチャー、水族展示室、講師

琵琶湖博物館、秋山 廣光（2002.11.28）展示魚類解説、フロアトーク、水族展示室、講師

琵琶湖博物館、秋山 廣光（2003.2.4）展示魚類解説、フロアトーク、水族展示室、講師

琵琶湖博物館、秋山 廣光、前畑 政善、ほか（2003.3.2）水族展示の舞台裏、見学会、セミナー室、水族展示室裏、指導員

#### 他の博物館、組織・団体等の主催行事

池袋高校、秋山 廣光（2002年6月3日）「琵琶湖の環境と魚」、琵琶湖学習、いこいの村、大津市皇子が丘、講師

明富中学校・琵琶湖博物館、秋山 廣光（2002.6.6）魚の解剖、体験実習、実習室、講師

水と文化研究会・新旭町役場環境課、秋山 廣光（2002.6.15）川の魚掴み、水の学校、新旭町薬園・針江、新旭町、講師

甲南中学校、秋山 廣光（2002.6.24）川の魚と水環境について、環境学習、甲南中学校体育館、甲南町、講師

常盤小学校・琵琶湖博物館、秋山 廣光（2002.7.2）「琵琶湖の魚と環境」、ミュージアムスクールプログラム、実習室、講師

明富中学校・琵琶湖博物館、秋山 廣光（2002.7.10）魚の解剖、体験実習、実習室、講師

河西公民館、秋山 廣光（2002.7.13）第2回「琵琶湖の魚を知る」、「魚と親しむ釣り講座」、会議室、守山市、講師

ボーイスカウト守山支部、秋山 廣光、青木 伸子（2002.7.20）「外来魚駆除に先駆けての学習会」、レクチャー、実習室、講師

石部高校・琵琶湖博物館、秋山 廣光（2002.7.24）「琵琶湖の魚と解剖実習」、石部高校夏期集中講座、実習室、講師

石部高校・琵琶湖博物館、秋山 廣光、楠岡 泰、ほか（2002.7.25）琵琶湖の魚、石部高校ミュージアムスクールアドバイザー、セミナー室、講師

江頭子供会（近江八幡市）・琵琶湖博物館、秋山 廣光（2002.7.30）「琵琶湖に棲む魚と環境」、フロアトーク、水族展示室、講師

自然調査ゼミナール、秋山 廣光、布谷 ほか（2002.8.7）「魚の体の仕組みを調べよう」、自然調査ゼミナール、実習室、講師

坂田郡教育委員会環境教育部会. 秋山 廣光 (2002.8.8)「河川にすむ魚たちと調査方法」. 坂田郡環境教育部会研究会. 米原中学校, 米原町. 指導員

神戸市立六甲アイランド高校. 秋山 廣光 (2002.8.14) 学芸員の仕事. 職業インタビュー. 事務学芸員室

滋賀県教職員研修所. 秋山 廣光 (2002.9.12)「水族展示説明」. 教職員研修 B班11名. セミナー室. 水族展示室. 講師

大阪阿倍野市民学習センター. 秋山 廣光 (2002.9.14)「淡水の生き物たち」. 大阪市立阿倍野市民学習センター. 会議室. 大阪市. 講師

滋賀県境職員研修所. 秋山 廣光 (2002.9.26)「魚類に親しむ体験(投網)」. 教職員研修 D班10名. 芝生広場. 指導員

東大津高校. 秋山 廣光 (2002.10.2)「魚の解剖」. 環境学習. 実習室. 講師

安曇川文芸会館. 秋山 廣光 (2002.10.5)「琵琶湖の魚について」. 文化教養講座「滋賀をもっと知ろう」. 安曇川文芸会館. 高島郡. 講師

真野中学校・琵琶湖博物館. 秋山 廣光 (2002.10.31)「魚の解剖」. 環境学習. 実習室. 講師

真野中学校・琵琶湖博物館. 秋山 廣光 (2002.11.7)「魚の解剖」. 環境学習. 実習室. 講師

松原中学校・琵琶湖博物館. 秋山 廣光 (2002.11.13)「最近の琵琶湖の魚の動向」. 環境学習. 実習室. 講師

草津高穂中・琵琶湖博物館. 秋山 廣光 (2002.11.14)「新条例に絡めて琵琶湖魚の話」. 総合学習. ホール. 講師

ボテジャコの会. 秋山 廣光 (2002.11.15)「飼育や繁殖」. 安土ボテジャコの会15名. 会議室. 講師

滋賀県OB会. 秋山 廣光 (2003.2.19)「琵琶湖の生態系と魚の現状と課題」. 基調講演. 大津シャンピアホテル. 講師

ボーイスカウト守山. 秋山 廣光, 青木 伸子 (2003.3.1) 外来魚の料理. ボーイスカウト. 実習室. 指導員

ボーイスカウト守山. 秋山 廣光, 青木 伸子 (2003.3.16)「外来魚駆除と調理」. カブ・ビーバースカウト. 実習室. 講師, 指導員.

自然保護課. 秋山 廣光, 井戸本, ほか (2003.3.23) オオクチバスの解剖. キャッチザバスフェスタ. 野外広場. 講師

#### 研修会・視察対応

城陽市歴史博物館. 秋山 廣光 (2002.5.2) 映像資料の整理について. コンピュータ室

竜洋町昆虫自然観察公園. 秋山 廣光 (2002.5.21)「淡水魚飼育について」. 事務学芸室・水族水槽室

水俣病情報センター. 秋山 廣光 (2002.6.4) 画像データの取り扱いについて. 事務学芸室

JICA. 秋山 廣光 (2003.2.8) 展示魚類について. 会議室

熊本県玉名市. 秋山 廣光, 森田 光治 (2003.3.11) タナゴ類の飼育繁殖について. 事務学芸室・水族水槽室

岡山市. 秋山 廣光 (2003.3.18) 稀少淡水魚保護増殖について. 事務学芸室

#### 【資料貸出活動】

(財)琵琶湖・淀川水質保全機構. 平成13年度水辺環境創生計画策定調査業務(滋賀県)に使用 (2002.4.5) 魚類、貝類、鳥類写真. 17. 転載

(財)琵琶湖・淀川水質保全機構. 平成13年度版 BYQ水環境レポートの表紙に使用のため (2002.4.9) 魚類写真. 16. デジタルデータ

アインズ株式会社. 滋賀プラスワン5月号に掲載 (2002.4.9) 魚類写真. 2. デジタルデータ

滋賀県広報課. 小学生向け冊子「わたしたちの滋賀県」へ掲載のため (2002.4.10) オリジナルポスター図案. 1. デジタルデータ

古谷 桂信 (著作権者). 世界思想社刊「ライフヒストリーを学ぶ人のために」改訂版の表紙写真 (2002.4.12) 寄託写真 (環境系). 1. フィルム

(株)地人書館. 「外来種ハンドブック」(日本生態学会編)で使用 (2002.4.25) 魚類写真. 3. デジタルデータ

滋賀県公園緑地事務所. びわこ文化公園文化ゾーンの案内板への掲載 (2002.5.9) 魚類、昆虫類、鳥類. 3. デジタルデータ

岩波書店. 嘉田由紀子 著 「環境社会学」に掲載のため (2002.5.10) 寄託写真(環境系). 13. デジタルデータ

湖南地域振興局建設管理部. 木浜内湖河川環境整備事業 及び 河川再生事業のパンフレットへ掲載のため (2002.5.20) 魚類写真. 3. インターネットページよりダウンロード

滋賀県立 高島高等学校. 蜆気楼の発生メカニズムの研究 及び Web上での紹介 (2002.5.29) 蜆気楼写真. 25. デジタルデータ

石原産業(株)中央研究所. 社内誌に掲載 (2002.6.14) 魚類写真. 1. デジタルデータ

中筋川総合開発工事事務所. Webサイトへの掲載 (2002.6.14) 昆虫類写真. 1. インターネットページよりダウンロード

滋賀県農政水産部農村整備課. 「田んぼで生まれたニゴロブナの引っ越し」の為の資料として (2002.6.20) 魚類写真と解説. 2. インターネットページよりダウンロード

ウォーターフェア-2002東京・農業用水部門出展滋賀県実行委員会. ウォーターフェア-2002東京に係るパネル制作および下敷き作成のため (2002.6.26) オリジナルポスター・オリジナル下敷き図案. 2. デジタルデータ

能登川町役場 住民環境課. 能登川町立こぼと保育園における水環境学習会で使用 (2002.6.28) 環境教材用写真(セット). 13. パウチ資料

大阪府立島本高等学校. 一般市民対象の講演に於いて呈示するため (2002.6.28) 環境教材用写真(セット). 14. パウチ資料

(株)エム・シー・アンド・ピー. アクア琵琶発行「ピワズ通信・夏号」に掲載のため (2002.6.28) 魚類写真. 1. デジタルデータ

(株)淡交社. 月刊茶道誌「淡交」8月号特集「八景と茶の湯」に掲載のため (2002.7.1) 湖写真. 1. デジタルデータ

(株)造形研究所. 図鑑「千曲川 上・中流域の魚類(仮称)」作成のため (2002.9.6) 魚類写真. 4. デジタルデータ

サンライズ印刷株式会社. サンライズ出版発行「淡海文庫24 ヨシの文化史-水辺から見た近江の暮らし-」に掲載 (2002.9.6) 漁具・漁法. 3. 転載

(株)女性新聞社. 女性新聞300号記念号(10/28発行)に掲載のため (2002.9.18) 魚類. 2. デジタルデータ

(株)裳華房 雑誌『生物の科学 遺伝』. 雑誌「遺伝」56巻11月号(56巻6号)(2002年) カラー口絵 (2002.9.18) 魚類. 2. デジタルデータ

株式会社 アイジーピー. 中学校社会科地理ビデオ教材用として使用 (2002.9.18) 植物写真. 1. フィルム

法然院 森のセンター. フィールドガイド大文字山 (出版物) への掲載のため (2002.9.18) 魚類、爬虫類写真. 2. デジタルデータ

(株)エム・シー・アンド・ピー. アクア琵琶 見学手帳にて 生き物紹介として使用 (2002.9.20) 魚類写真. 6. デジタルデータ

(株)アルバ. ポプラ社発行学校図書館向け書籍「水辺の生き物図鑑」4Cページに使用 (2002.10.4). 魚類、両生類、爬虫類、昆虫類、甲殻類、水生植物写真. 73. デジタルデータ

(株)小学館クリエイティブ. 週刊天然記念物1/23発売号「ミヤコタナゴ」内 全国の天然記念物に会える施設ページに掲載 (2002.10.4) 魚類写真. 2. デジタルデータ

フィールドソサイエティ. 哲学の道 疎水での魚の観察に使用 (2002.10.4) 環境教材用写真(セット). 9. パウチ資料

(有)アルピナ. (株)ベネッセコーポレーション刊「チャレンジ5年生」社会科副教材 (出版物) へ (2002.10.22) 寄託写真 (琵琶湖赤潮). 1. 著作権者紹介

(有)オーピーオー. (株)ベネッセコーポレーション「チャレンジ5年生」2月号に掲載 (2002.10.24) 植物写真. 1. フィルム

サンスイコンサルタント株式会社. オオクチバス・ブルーギルの生態調査の資料として (2002.10.31) 魚類写真. 2. デジタルデータ

大阪府立島本高等学校. 中学生対象の交流授業に於いて提示するため (2002.11.5) 環境教材用写真(セット). 14. パウチ資料

(財)自然環境研究センター. 環境省レッドデータブック淡水魚編 口絵写真として使用 (2002.12.11) 魚類写真. 1. デジタルデータ

(財)自然環境研究センター. 自然環境研究所インターネットページ(<http://www.sizenken.biodic.go.jp>)RDB図鑑への掲載 (2002.12.11) 魚類写真. 1. デジタルデータ

滋賀県漁業協同組合連合会. 漁業者への普及啓発資料用として (2002.12.17) 魚類写真. 1. デジタルデータ

(株)郷土出版社. 「写真集 湖北の今昔」に掲載のため (2002.12.27) 寄託写真(環境系). 6. デジタルデータ

(株)トータル・メディア 開発研究所. 厚生労働省 研究報告書「痴呆の人の体験世界とケアのあり方」に掲載のため

(2002.12.27) 寄託写真(環境系). 1. デジタルデータ

滋賀県琵琶湖環境部. 政府要望資料(「うみのこ」環境学習船開設の要望)に使用のため(2003.1.8) 魚類写真. 4. デジタルデータ

滋賀県琵琶湖環境部自然保護課. ヨシパンフレットに掲載(2003.1.8) 魚類写真. 1. デジタルデータ

守山教育研究所. 郷土資料「野洲川」製作のため(2003.1.27) 魚類、鳥類、水草、プランクトン、オリジナルポスター等. 21. デジタルデータ

米原町議会議. 「米原町議会だより」に掲載のため(2003.1.30) オリジナル下敷き図案. 1. 転載

嘉田由紀子. 守山市 編 「湖畔地域社会の変遷」資料(2003.2.4) 寄託写真(環境系). 1. デジタルデータ

滋賀県農政水産部水産課. 外来魚つり大会 広報資料として(2003.2.5) 魚類写真. 2. デジタル出力画

千里文化財団. 国立民族学博物館編集「月刊 みんぱく」に掲載のため(2003.2.7). 魚類写真. 1. デジタル出力画

滋賀県農政水産部水産課. 琵琶湖ルール啓発の外来魚つり大会での児童啓発グッズ(下敷き)に利用(2003.2.7) オリジナル下敷き図案. 1. デジタルデータ

滋賀県広報課. 県提供広告「朝日ヘラルド紙」に掲載するため(2003.2.8) 魚類写真. 4. 転載

教育出版株式会社. 自然調査ゼミナール実施報告資料として各中学校に配布予定の冊子「中学理科通信」に掲載(2003.2.8) 魚類写真. 1. インターネットページよりダウンロード

(財)自然環境研究センター. 環境省 レッドデータブック 淡水魚編 口絵写真として使用(2003.2.8) 魚類写真. 1. デジタルデータ

滋賀県琵琶湖環境部自然保護課. 自然保護課発行「自然環境」パンフレットに掲載(2003.2.17) 魚類写真. 1. 申請再利用

滋賀県琵琶湖環境部自然保護課. 自然保護課発行「自然環境」パンフレットに掲載(2003.2.19) 魚類写真、寄託写真資料. 3. デジタルデータ

京都新聞. 京都新聞社 第3回世界水フォーラム開催記念別刷り特集記事として(2003.2.26) 魚類写真. 9. デジタルデータ

(株)情報技研. 講談社刊「日本の街道」54号 中山道 5(2003.2.26) 漁労写真. 1. デジタルデータ

輪之内町. 輪之内町の児童・生徒が地域の環境を学ぶため作成する環境副読本に使用(2003.2.26) 魚類写真. 1. インターネットページよりダウンロード

(財)琵琶湖・淀川水質保全機構. 水フォーラム関連パンフレットに使用(2003.2.26) 寄託写真資料、図録・研究報告書掲載図案など. 3. 転載、デジタルデータ

(社)農村環境整備センター. 全国の土木技術者を対象とした環境配慮のための手引きの参考資料作成のため(2003.2.26) 水田生物写真. 4. デジタルデータ

村立小笠原小学校. 小・中学校の総合学習利用CD作成、図書室閲覧用に印刷のため(2003.2.26) 寄託昆虫写真. 1. インターネットページよりダウンロード

(株)武揚堂生産部. 2004年全日本カレンダー「天然記念物の動物たち」(2003.2.28) 魚類写真. 1. デジタル出力画

(財)琵琶湖・淀川水質保全機構. 水フォーラムに向けたパンフレットに使用(2003.2.28) 魚類写真. 1. デジタルデータ

滋賀県広報課. 冊子(びわ湖からの提言)作成(2003.2.28) 魚類写真. 4. デジタルデータ

守山市立教育研究所. 郷土資料「野洲川」制作のため(2003.3.11) 魚類写真. 1. 転載

(株)ブックデザイン. インタープレス(株)発行「学校壁新聞」フォトニュース4月号にて「外来種」企画の一環で使用(2003.3.14) 魚類写真. 1. デジタルデータ

湖南地域振興局環境農政部. リーフレット印刷(2003.3.14) 魚類写真. 4. デジタルデータ

滋賀県水政課. 新・環境学習船就航にかかる政府要望パンフレットに使用(2003.3.16) 魚類写真. 1. デジタルデータ

びわ町 企画調整課. びわ町広報 びわ 2003年3月号 特集～内湖復元を考える～に掲載(2003.2.20) 寄託画(魚類・鳥類). 8. 転載

日本ミクニヤ株式会社. 国土交通省発行の報告書において使用(2003.3.18) 魚類写真. 1. デジタルデータ

(社)滋賀県建築士事務所協会. 協会20周年記念誌に掲載(2003.3.18) 寄託写真(環境系). 33. デジタルデータ

サンライズ印刷株式会社. 「弥生のなりわいと琵琶湖-近江の稲作漁労民-」に掲載のため(2003.3.25) 魚類写真、寄託写真(環境系). 8. デジタルデータ

## メディアへの資料提供

東映京都撮影所. テレビドラマ「科捜研の女」撮影に使用(平成14年9月19日19:00~21:00テレビ朝日系列放映予定)  
(2002.7.8) プラントン写真. 2. デジタルデータ  
共同テレビジョン制作部. 番組内資料映像として使用(2002.7.16) 魚類写真. 4. デジタル出力画  
NHK教育番組部. 教育番組連動ホームページに資料として掲載(2002.7.17) 寄託写真(昆虫). 6. デジタルデータ  
ファンズ・プロダクション 朝日放送 ナイトinナイト「V.I.び〜」番組内にて使用(2002.7.26) 企画展解説動画.  
1. miniDVテープ複製  
日本テレビ放送網(株) 思いっきりテレビ. 日本テレビ系列全国28局ネット放送にて映像として使用する(H.14.10.  
16.(水)放送予定)(2002.10.6) 寄託写真(環境系) 10. デジタルデータ  
読売新聞東京本社映像部. 報道目的(読売新聞製作のCS放送のニュース解説)に使用(2002.10.24) 爬虫類写真. 1  
広報資料写真の流用.  
ドキュメンタリー工房. テレビ朝日「ニュースステーション」内で呈示(2003.2.25) 魚類写真. 2. デジタル出力  
画

## 他館展示協力

三田川金属工業株式会社. 佐賀県立森林公園内. 嘉瀬川河川公園の学習施設“めだかの学校”の説明板に使用(2002.  
6.20) 魚類写真. 1. デジタルデータ  
城陽市教育委員会. 夏季企画展「自然と人間?ふるさとの生き物たち」写真パネル及び図録掲載に使用(2002.6.26)  
魚類写真. 13. デジタルデータ  
(株)三菱総合研究所. 淀川水系流域シンポジウム(6月23日開催)での展示(2002.6.22) 寄託資料(環境系). 13.  
デジタルデータ  
城陽市教育委員会. 平成14年度夏季企画展において写真パネルとして展示する. 2002.7.24. 水草写真. 1. 転載  
京都洛西ライオンズクラブ. 小畑川 河川敷設置の看板に使用するため(2002.9.20) 魚類写真. 8. デジタル出力画  
亀岡市文化資料館. 第18回特別展「?みんなでしらべた?亀岡の生き物たち」展示パネル並びに図録に使用(2002.11.  
9) 魚類写真. 30. デジタルデータ  
秦荘町歴史文化資料館. 春期展示会 展示パネル用(2003.2.12). 魚類、鳥類写真. 3. デジタルデータ  
国交省近畿地方整備局福井工事事務所. 九頭竜川堰資料館 館内展示用CP内(魚道ライブラリー)にて使用(2003.3.  
11). 魚類写真. 4. デジタルデータ  
(社)大阪自然環境保全協会. 「スリーデーみずウォーク」関連イベントでの展示(2003.3.12) 魚類写真. 1. パウ  
チ資料

## 【情報整備活動】

今津町ガラス乾板(石井田勘二)資料整備. PhotoCD作成. 1,650点 [副担当]  
魚類写真デジタル化. PhotoCD作成. 220. 写真コマ選択 [主担当]

## 【資料整備活動】

アユモドキ人工授精繁殖(2002.7.4) [主担当]  
アユモドキ人工授精繁殖(2002.7.8) [主担当]

## 館内人事、館外活動等に関すること

### 【館内の人事】

情報センターグループリーダー(～2003.3.31) 科長

### 【館外の活動】

第47回近畿ブロック動物園水族館飼育技術者研修会. 秋山 廣光、松田 正也、桑原 雅之、井戸本(2002.10.23～29)

(財)日本動物園水族館協会. 実行委員

(財)日動水協動物名検討委員. (財)日本動物園水族館協会. 委員

本年度の研究活動には目立った“成果”が無い状況である。論文発表は前年度の研究成果が翌年度にずれ込んだものに過ぎない。そして、共同研究として進めてきた地域気象およびリモートセンシングの課題は、いずれも「地道な作業」の中から“成果に結びつきそうなもの”を探し出す作業を黙々と続けている状況であった。

そんな中、情報システム(ネットワークおよび関連するサーバシステム)の更新作業が行われた。当初はこの作業には深く関わらない予定であったのだが、過去の経緯を含む当館特有の技術情報を熟知している者が他に居ないために、結局のところ最終的な現場作業を仕切らざるを得なくなり、それに持てるエネルギーの多くを注ぎ込んでしまったような感も無くはない。とはいえ、この更新作業の中から見えてきた問題があり、そのことについて口頭発表の成果をまとめることができた。

それと並行して、博物館に限らない学術情報の電子的展開に関する問題を見聞する機会がいくつかあった。このような各種の情報は、今のところ混沌とした状態であるが、その中から面白そうな課題が拾い出せそうな気配はあり、翌年度(平成15年度)早々の館内研究セミナーで簡単にまとめを行ったところである。

また、回転実験室の運営に関する課題を発表する目的で関わりを持った科学教育の関係者と、博物館と学校教育との連携について議論する機会があった。これについては、本年度は具体的な“成果”を何ら得ていないが、近い将来の共同研究などに結びつき得る状況である。

## 印刷物

### 【学術論文】

戸田 孝 (2002) インターネット上の博物館情報の安定性. *博物館研究* Vol.37 No.11. 日本博物館協会. 7月11日

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表など】

戸田孝・大塚泰介(2003年3月8日)琵琶湖博物館ネットワーク更新から見えてきたこと. 第6回 博物館・美術館の情報システムに関する研究会. 博物館ホームページ推進研究フォーラム. 神奈川県立歴史博物館, 横浜市

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館共同研究「沿岸域モニタリングのための常設型リモートセンシングの運営に関する基礎的研究」研究代表者

琵琶湖博物館専門研究「博物館事業における水理学分野の位置付けに関する研究」

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

日本陸水学会. 陸水学雑誌. [論文査読1件]

日本海洋学会. *Journal of Oceanography*. [論文査読1件]

### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

2002年8月2日. 琵琶湖博物館博物館実習「C展示室の概要」. 講義(現場説明を含む)

2002年度. 滋賀大学教育学部卒業研究(翌年度の準備: 積 慶樹). 観測原理および解析手法に関する一般論的指導とデータ提供

2002年10月14日(収録) 2003年5月26日(放送予定). 放送大学教養学部専門科目「自然の理解」流体的地球像(03). 担当講師の質問に答える形で「琵琶湖の物理的特性」について講義

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス活動】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

琵琶湖博物館（2002年8月7日）回転実験室で水槽実験を！ 琵琶湖博物館博物館講座、琵琶湖博物館、草津市、企画・実施

#### 他の博物館、組織・団体等の主催行事

滋賀県総合教育センター（2002年9月10日）展示について（C展示室）、教職経験者研修Ⅰ、琵琶湖博物館、草津市、講義

石部町立石部南小学校（2002年12月13日）博物館展示法について、体験学習（5年生総合学習）、琵琶湖博物館、草津市、講義

西淀川区生涯学習推進市民会議（2003年3月27日）琵琶湖博物館の展示と大阪市などの下流域、見学会、琵琶湖博物館、草津市、展示解説

#### 研修会・視察対応

文部科学省大臣官房文教施設部技術課（2003年3月28日）インターネットを使った交流システムについて（九州博物館を意識した事例調査）

### 【情報整備活動】

琵琶湖博物館情報システム：個人管理ページの運営

琵琶湖博物館情報システム：システムの運転管理（unixオペレーションを要する部分のみ）

琵琶湖博物館情報システム：システム更新に際しての技術的検討および移行に伴う専門的作業の実行

琵琶湖博物館情報システム：全館員向けメールメッセージの館内公開

琵琶湖博物館情報システム：インターネットページの内容更新、リンク状況の検査、その他技術的な部分の補助

滋賀県博物館協議会インターネットページ整備に際しての技術面の検討およびリンク設定に関する調整

### 【展示活動】

琵琶湖博物館常設展示C展示室運営総括

琵琶湖博物館常設展示C展示室：気象に関する展示の更新および維持管理

琵琶湖博物館常設展示C展示室：水理に関する展示の更新および維持管理

琵琶湖博物館常設展示室：LANシステムの調整および改善

琵琶湖博物館特別展示（企画展示）中世のむら探検：「中世の数遊び」に関する調査および展示資料作成

2001年度は、博物館学的な活動を重視し、生物に関することは休止状態であった。ただ、その数少ない生物系の観察会を実施する中で、本来の専門分野である琵琶湖の水生植物の生態について、どのような方法で人々と交流していけるかという課題を持ったため、2002年度は前年度とまったく逆に、生物系の交流事業などを中心に、小学校からの総合的な学習の講師依頼なども積極的に受けることにした。ヨシについて、あるいは、水草についての講演などについても、いろいろな方法で試行錯誤することができて、自分のためにもよかったと考えている。

また、2002年度は、開館前の企画段階から関わってきたディスカバリールームを通して、韓国の国立中央博物館から子ども向け展示に関する助言を求められ、渡航する機会を得るなど、海外の博物館の事情を知ることができ、博物館学分野においても、収穫が多かった。

生物の研究に関しては、下記のリストには列記していないが、滋賀県の自然保護課や水産試験場と共同で、琵琶湖南湖の水草除去試験に関わることができた。南湖の水草分布の50地点調査も行うことができ、基礎的なデータを蓄積することができた。

## 印刷物

### 【専門分野の著作】

芦谷美奈子. 2002. 水辺の生態系とヨシ. FRONT. リバーフロント整備センター. 15(1):6-8.  
布谷知夫・草加伸吾・芦谷美奈子・桑垣瑞・中井大介 (2003) 琵琶湖博物館植物さく 葉標本製作・登録・管理マニュアル. 植物標本2「建部俊夫・北川良也植物標本目録」. 琵琶湖博物館資料目録9号. 琵琶湖博物館:104-111.

### 【一般向けの著作】

芦谷美奈子・山中裕子. 2002. 子どもと博物館～韓国との交流～/研究最前線. 杉谷博隆・他(編). うみんど(湖人). 琵琶湖博物館, (24):6.  
芳賀裕樹・芦谷美奈子・大塚泰介・松田征也・中里亮治. 2003. 南湖で増える水草～吉兆か凶兆か?～/研究最前線. 杉谷博隆・他(編). うみんど(湖人). 琵琶湖博物館, (25):6.

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表など】

芦谷美奈子 (2002年7月19日) 博物館における「ハンズ・オン」～展示へのハンズ・オン手法の導入とその検証について～. 琵琶湖博物館研究セミナー. 琵琶湖博物館 (滋賀県草津市)

### 【研究プロジェクトへの参加】

琵琶湖博物館共同研究「博物館展示における“ハンズ・オン”の効果とその意義」研究代表者  
琵琶湖博物館専門研究「イバラモの雌雄比および雌雄分布とシュート成長に関する研究」

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

日本ミュージアム・マネジメント学会近畿支部 (幹事)

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス活動】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

- 2002年6月9日 水田の生き物、第2回田んぼ体験教室、琵琶湖博物館、〔講師〕  
2002年8月17日 湖辺で水草を調べよう、琵琶湖博物館フィールド観察会、琵琶湖博物館および周辺の湖岸、〔講師〕  
2002年10月20日 展示室を調べよう-博物館の展示評価入門-、琵琶湖博物館実習講座、琵琶湖博物館、〔講師〕

#### 他の博物館、組織・団体等の主催行事

- 2002年5月2日 水辺の植物からみる琵琶湖の環境、山田公民館講座「女性学級」、草津市山田公民館、滋賀県草津市、〔講師〕  
2002年6月7日 ヨシの浄化作用について、大津市立雄琴小学校6年生総合的な学習、雄琴湖岸、滋賀県大津市、〔講師〕  
2002年7月20日 赤野井湾の水生物・水草と水質、第5回赤野井湾探検会、豊稔の里赤野井湾流域協議会主催、赤野井湾、滋賀県守山市、〔講師〕  
2002年8月7日 琵琶湖の水草を調べよう、第26回自然調査ゼミナール、滋賀県中学校教育研究会理科部会主催、琵琶湖博物館、〔講師〕  
2002年8月8日 植物の生態について-葦について-、草津第二公民館「女性学級」、草津第二公民館、滋賀県草津市、〔講師〕  
2002年8月13日 琵琶湖の環境をかんがえる、エコライフグリーン倶楽部体験セミナー、(財)淡海環境保全財団主催、琵琶湖博物館、〔講師〕  
2002年9月26日 展示について(C展示室)、教職経験者研修I、滋賀県総合研究センター主催、琵琶湖博物館、〔講師〕  
2002年10月30日 水草について、常盤小学校琵琶湖学習、琵琶湖博物館、〔講師〕  
2002年11月1日 水草グループ、安土町立老蘇小学校5年生琵琶湖学習、琵琶湖博物館、〔質問対応〕  
2002年11月10日 展示解説のあり方について、解説ボランティア研修会、四日市市立博物館、三重県四日市市、〔講師〕  
2003年1月19日 水辺の生態系とヨシの浄化能力、「ヨシと環境」フォーラム、滋賀県東近江地域振興局主催、安土町文芸セミナリヨ、滋賀県安土町、〔講師〕  
2003年1月22日 琵琶湖のヨシの生態、滋賀県異業種交流グループ、琵琶湖博物館、〔講師〕

### 【情報整備活動】

- 図書資料、〔収集整備・運営〕(中西美智子と共同)  
文献資料、〔資料整備・運営〕(中西美智子と共同)  
インターネット質問対応〔主担当〕

### 【資料整備活動】

- 琵琶湖博物館資料目録9号「植物標本2 建部俊夫・北川良也植物標本目録」〔発行〕(布谷知夫、草加伸吾、桑垣瑞、中井大介と共同)  
植物収蔵庫〔維持管理〕(布谷知夫、草加伸吾、中井大介と共同)

### 【展示活動】

- 琵琶湖博物館第12回企画展「(仮称)植物がうごくとき」(2004年開催予定) 基本設計

## 館内人事、館外活動に関すること

### 【海外渡航】

2002年5月 大韓民国ソウル（大韓民国中央博物館新築における子ども向け展示室についての助言など）

### 【館外の活動】

木浜地区保全整備地域協議会 守山湖岸再生部会 委員（2000年4月～）

木浜地区保全整備地域協議会 木浜内湖再生部会 委員（2000年4月～）

守山なぎさ地区湖岸保全地域協議会 委員（2002年8月～）

滋賀県ヨシ群落保全審議会 委員（2003年1月～）

## 印刷物

### 【一般向けの著作】

- 森田光治（2002）学校の博物館利用について 滋賀科学2002 滋賀県理科教育研究会  
森田光治（2002）博物館でできる環境学習 全国科学博物館協議会ニュース（2002）  
森田光治（2002）ミュージアムスクールの現状と課題 国立科学博物館  
森田光治（2002）ミュージアムスクールの現状と課題 山梨県

## 研究活動に関する業績

### 【研究プロジェクト等への参加】

- 琵琶湖博物館専門研究 「地域の特性を生かした環境学習教材の開発 淡水微小藻類を用いた生物教材の開発」  
滋賀県総合教育センター研究事業専門委員 研究事業名「課題研究Ⅲ 酸性雨を教材化したプログラムの開発」

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス活動】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

- 2002年4月～2003年3月（21回）体験学習の日、琵琶湖博物館（滋賀県草津市）[主任]  
2002年6月～9月（4日間）エコスクラム「水の旅」、琵琶湖博物館（滋賀県草津市）[主任]

#### 他の博物館、組織・団体等の主催行事

- 2002年5月16日「滋賀県理科教育研究会総会」「滋賀県理科教育研究会生物部会」 琵琶湖博物館  
2002年6月1日 西堀榮三郎記念探検の殿堂「溜池たんけん事業」講師  
2002年6月25日 山梨県生涯学習推進センター 生涯学習推進セミナー「地域学と生涯学習」講師  
「学校教育と連携・融合する学習活動 -博物館・郷土資料館の活動を通して-」  
2002年10月20日 知識創生社会における科学教育の振興を考えるフォーラム発表 国立科学博物館  
2002年12月5日～11日 滋賀県環境学習フェア、琵琶湖博物館（滋賀県草津市）  
2003年1月23日 総合的学習の時間の授業講師 米原中学校（米原町）  
2003年3月22日 外来魚のリリース禁止に関する啓発イベント 外来魚の解剖 滋賀県農政水産部

#### 研修会・視察対応

- 2002年4月～2003年3月 学校団体への体験学習の対応、県内外小中高等学校、153校 10,842名 実施回数245回  
2002年4月12日 産業雇用安定センター わたしの仕事館運営準備推進本部視察 2名  
2002年4月16日 研修会、滋賀県立大学環境科学部。  
2002年5月2日 エコ草津体験隊事業 学校担当者研修会 12校13名  
2002年5月9日 4市交流事業研究協議会及び幹事会視察 10名（青森市、奈良市、尾道市、大津市各職員）  
2002年5月30日～11月16日 フローティングスクールの受入れ 30校951名  
2002年7月2日 第2回湖南A地区初任者研修 12名  
2002年7月22日～26日 県立石部高校夏期集中講義「琵琶湖探究」18名 4日間

- 2002年7月27日 近江八幡市水環境を守る生活推進協議会研修会 36名
- 2002年7月30日 尼崎市小学校理科研究会夏季研修会 53名
- 2002年8月1日 大津市教育委員会4市子ども交流事業 82名
- 2002年8月6日 滋賀県総合教育センター理科教育講座 18名
- 2002年8月12日 新任教職員に係る草津市教育委員会研修会 草津市内小中学校新任教職員等14名
- 2002年8月25日 川崎市立中学校社会科研究部会県外臨地研修50名
- 2002年9月10,12,24,26日 滋賀県総合教育センター教職経験者研修 200名
- 2002年9月14日 全国農業高等学校校長協会近畿支部総会並びに研究協議会 90名
- 2002年9月21日 滋賀県理科教育研究会環境教育委員会
- 2002年10月4日 中国友好使節団「希望之星」国際交流事業 体験学習指導 21名
- 2002年11月14日 生態観察池での水質にかかる体験学習講師（米原高校生徒 40名）
- 2002年12月6日 徳島市連合小学校視察
- 2002年12月11日 滋賀県学習フェア交流会 学校教員
- 2003年2月14日 京都府立東宇治高校文理系セミナー講師 琵琶湖博物館（滋賀県草津市）

琵琶湖博物館では年間8万人の学校団体を受け入れ、その中の1万人以上の児童生徒に対して様々な体験学習プログラムを実施している。私はまず、これらの学習プログラムには次のような特徴があると考察した。

- ①生き物の持つ不思議さやおもしろさに触れたときの「驚き」や「感動」が、自然環境への興味関心を高める。
- ②ただ「楽しむ」だけに終わらず、琵琶湖の水環境や歴史・文化などの学習へとつながっていることが、子どもの知的好奇心を満たし学習意欲が継続することにつながる。
- ③展示室や、その向こうにあるフィールドへ誘う効果がある。

上のような特徴を持つものが「琵琶湖博物館らしい」プログラムであると考え、次に、これらの特徴を考慮しながら、新たに2つの体験学習プログラムを開発した。

#### I. 石の下の生き物を探そう

#### II. 葛籠（くずかご）をつくろう

Iのプログラムは、川の中の多様な環境にそれぞれ適応して生きている生物の姿形のおもしろさと、水質との関わりや指標生物表の落とし穴などについて学習するものである。川にすむ水生昆虫などの小さな生き物は、多くの子どもたちにとって「教科書の中の生き物」であり、実際に見たことがないものが多い。初めて見た時の驚きが、博物館の小さな水路から実際のフィールドへの興味としてつながっていくことを期待して開発したものである。IIのプログラムは、葛粉・葛布・薬として有効利用されたり、恋心の代名詞として万葉集に登場するなど、古くから人間生活と密接につながり親しまれてきた植物である葛が、一方では、つるの刈り取りに多くの費用が費やされたり、外来侵入種として大きな問題となっているという、その二面性について学習するものである。

どちらのプログラムも、生き物のおもしろさを知ると同時に、様々な角度から環境について考える力を身につけてほしいと願いを込めて開発した。実際に今年度は数校の学校と教員研修においてこれらのプログラムを実施し好評を得たので、今後も琵琶湖博物館の良さを生かした体験学習プログラムの開発に力を注ぎたいと考えている。

2004年度の研究は、今年度同様「生き物を出発点とした環境学習プログラムの開発」を行う。しかし研究の方向性としては、館内ではなく地域のフィールドを利用した学習プログラムを開発したいと考えている。その理由は2つある。一つは、Iのように「川のおもしろさを伝えたい」というプログラムの場合、館内の水路を利用した学習では限界があり、フィールドへ誘う効果が薄いということ。もう一つは、今年度複数の学校から「川での学習法を教えてほしい」という依頼があったことである。水路ではない「本物の」地域の川を利用して、博物館学芸員の専門的知識を生かしながら、子どもたちに「驚き」と「感動」を与えられるような学習プログラムの開発を行いたいと考えている。

## 印刷物

### 【一般向けの著作】

西垣 亨 (2002) 今こそ博物館で環境学習を。「うみんど」第24号。琵琶湖博物館、草津。2～3

## 研究活動に関する業績

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「生き物を出発点とした環境学習Ⅰ」～小中学校における環境教育の変遷と課題・博物館での体験学習プログラムの開発について～

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス活動】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

- 琵琶湖博物館（2002年4月～2003年3月）「体験学習の日」事業（第2第4土曜日開催）。「春の草花でしおりをつくろう」等10講座。博物館実習室等、草津市。主担当。21回712名
- 琵琶湖博物館（2002年6月～9月）「エコスクラム水の旅」事業。「ミクロな生き物探検」等4講座。博物館実習室等、草津市。主担当。4回 14名
- 琵琶湖博物館（2003年3月16日）3館連携企画展「びわ湖・淀川・大阪湾子ども水フォーラム」。大阪海遊館、大阪市。企画運営。150名

#### 他の博物館、組織・団体等の主催行事

- 県内県外各小中高等学校（2002年4月～2003年3月）学校団体向け体験学習。「琵琶湖のプランクトンを見よう」等8メニュー。博物館実習室等、草津市。講師。153校に対して計245回実施（実施生徒数10,842名）
- 滋賀県学校教育課（2002年12月）滋賀県環境学習フェア。博物館企画展示室およびセミナー室、草津市。研究交流会コーディネーター。67名
- 滋賀県エコライフ推進課（2002年8月6日）こども環境特派員事業。体験学習。博物館実習室等、草津市。講師。176名
- 滋賀県総合教育センター（2002年8月6日）理科教育講座。教職員研修。博物館実習室等、草津市。講師。18名
- 滋賀県総合教育センター（2002年9月10日～26日）教職経験者研修Ⅰ。教職員研修。博物館実習室等、草津市。講師。200名
- 滋賀県総合教育センター（2002年11月19日）理科教育講座。教職員研修。甲西町立甲西中学校、甲西町。講師。60名
- 滋賀県生涯学習課（2002年5月21日）定例派遣社会教育主事研修会。博物館概要説明。大津合同庁舎、大津市。講師。25名
- 守山市立明富中学校（2002年9月26日）「総合的な学習の時間」成果発表会。講話。守山市立明富中学校、守山市。講師。540名
- 草津市立常盤小学校（2002年1月6日7日）「総合的な学習の時間」成果発表会。講話。草津市立常盤小学校、草津市。講師。80名
- 近江八幡市環境課（2002年7月27日）近江八幡市水環境を守る生活推進協議会研修会。体験学習。博物館実習室、草津市。講師。36名
- 三重県青山町教育委員会（2002年8月9日）青山町子ども講座。体験学習。博物館実習室、草津市。講師。20名
- 守山市立玉津小学校（2002年10月4日）玉津学区親子フォーラム。体験学習。博物館実習室、草津市。講師。60名
- 奈良市教育委員会（2002年12月23日）奈良市児童生徒健全育成野外活動事業。体験学習。博物館実習室、草津市。講師。30名
- 草津市立新堂中学校（2002年11月19日～21日）職場体験実習受け入れ。博物館展示室等、草津市。受け入れ側主担当。6名
- 滋賀県中学校理科部会（2002年6月5日）県中学理科部会環境委員会。教職員研修。博物館会議室、草津市。協議委員。7名
- 尼崎市教育委員会（2002年7月30日）尼崎小学校理科研究会。教職員研修。博物館実習室、草津市。講師。53名
- 五條市教育委員会（2002年8月2日）五條市理科部会。教職員研修。博物館実習室、草津市。講師。10名
- 草津市教育委員会（2002年8月12日）草津市内小中学校新任教職員研修。教職員研修。博物館実習室、草津市。講師。14名
- 西宮市総合教育センター（2002年8月21日）西宮市小学校教科等研究会。教職員研修。博物館実習室、草津市。講師。50名
- 川崎市教育委員会（2002年8月25日）川崎市社会科研究部会研修。教職員研修。博物館実習室、草津市。講師。51名
- 滋賀県広領域教育研究会（2003年3月25日）広領域教育研究会エネルギー・環境教育討論会。教職員研修。博物館会議室、草津市。協議委員。50名

### **研修会・視察対応**

日本グランドワーク協会（2002年5月23日）学校連携について、博物館応接室、2名  
北九州市立自然史博物館（2002年5月30日）学校連携について、博物館応接室、3名  
アクアワールド茨城県大洗水族館（2002年10月6日）学校連携について、博物館応接室、1名  
大阪市自然史博物館（2002年11月4日）学校連携について、博物館応接室、4名  
石川県加賀市立片山津小学校（2003年2月27日）環境学習の進め方について、図書室、2名  
宮崎県総合博物館（2003年3月12日）学校連携について、事務学芸室、3名  
オーシャンシップ財団視察（2003年3月15日）学校連携について、博物館応接室、3名  
文部科学省科学技術研究所（2003年3月16日）学校連携について、博物館応接室、1名  
群馬県立博物館（2003年3月27日）学校連携について、博物館応接室、2名

### **テレビ・ラジオ等への出演・協力**

2003年度全国発売、環境教育用教材ビデオ「地球環境を守ろう」、ミュージックサウンドクリエーション、2002年5月～11月、中学校向け体験学習

### **印刷メディアへの出演・協力**

2002年4月14日および4月17日、京都新聞・毎日新聞・朝日新聞、京都新聞社・毎日新聞社・朝日新聞社、2002年4月13日、体験学習の日事業  
2002年6月15日、にゅーすもりやま、2002年5月25日、体験学習の日事業

## **館内人事、館外活動等に関すること**

### **【館外の活動】**

2002年4月～8月、こども環境特派員事業実行委員会、実行委員  
2002年4月～2003年3月、県フローティングスクール運営協議会、協議委員  
2003年3月8日、世界水フォーラム ジュニアリバーシンポジウム、パネリスト兼アドバイザー

## 印刷物

### 【一般向けの著作】

芦谷美奈子・山中裕子（2002）研究最前線 子どもと博物館～韓国との交流～，琵琶湖博物館，うみんどNo. 24，草津市

## 研究活動に関する業績

### 【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館共同研究「ディスカバリー・ルームのハンズ・オン展示，ハンズ・オンに関する研究」研究分担者（2000年度）

### 【大学の講義・実習、学生の指導など】

博物館実習（2002年8月2日、8日）琵琶湖博物館博物館実習「ディスカバリー・ボックス製作ガイダンス」、「実習成果発表」、講義（製作方法説明他）と成果発表評価

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス活動】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

琵琶湖博物館（2002年7月20～9月23日）フィンランドと日本の子どもたちの交流絵画展「森と湖と私」，絵画募集，ディスカバリー・ルーム，草津市，企画・運営

琵琶湖博物館（2002年10月22～12月15日）フィンランドと日本の子どもたちの交流絵画展「森と湖と私」，展示，博物館アトリウム，草津市，企画・運営

琵琶湖博物館（2003年1月26日）「不思議！？トランク」，大崎省子氏指人形劇場演会，琵琶湖博物館，草津市，企画・運営

琵琶湖博物館（2003年2月15日）「うりぼうくん フィンランドへ！？」，大崎省子氏指人形劇場演会，琵琶湖博物館，草津市，企画・運営

琵琶湖博物館（2003年3月8日）「きいてみよう！さわってみよう！能ばやし」，能ばやしの体験演奏会，琵琶湖博物館アトリウム，草津市，企画・運営

### 【展示活動】

ディスカバリー・ルーム維持管理・運営，[主担当]

「フィンランド関連資料」収集，[主担当]

「にんぎょうげきじょう人形フック再制作」監修 [主担当]

「にんぎょうげきじょう指人形再制作」制作 [副担当]

「生物レプリカ製作委託」監修 [副担当]

「鳥の羽標本展示」制作補助 [主担当]

「骨格標本展示」制作 [主担当]

せかいのこどもたちコーナー更新「フィンランドと中国の子どもたち」，企画・制作 [主担当]

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス活動】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

- 琵琶湖博物館（2002年10月19～20日）ディスカバリールーム紹介、「子どもフェスティバル inくさつ」, 草津文化芸術会館, 草津市, 展示
- 琵琶湖博物館（2002年10月22～12月15日）フィンランドと日本の子どもたちの交流絵画展「森と湖と私」, 展示, 博物館アトリウム, 草津市, 企画・運営
- 琵琶湖博物館（2003年1月26日）「不思議！？トランク」, 大崎省子氏人形劇場講演会, 琵琶湖博物館, 草津市, 企画・運営
- 琵琶湖博物館（2003年2月15日）「うりぼうくん フィンランドへ！？」, 大崎省子氏人形劇場講演会, 琵琶湖博物館, 草津市, 企画・運営
- 琵琶湖博物館（2003年3月8日）「きいてみよう！さわってみよう！能ばやし」, 能ばやしの体験演奏会, 琵琶湖博物館アトリウム, 草津市, 運営
- 琵琶湖博物館（2003年3月30日）「にんぎょうげきじょう」コーナー紹介, 「びわこ人形劇まつりinあかね」, 蒲生町あかね, 蒲生町, 展示

### 【展示活動】

- ディスカバリー・ルーム維持管理・運営 [副担当]
- 「生物レプリカ製作委託」監修 [主担当]
- 「節足動物分解型レプリカ製作委託」監修 [主担当]
- ディスカバリーボックス「中世すごろく」, 制作 [主担当]
- ディスカバリーボックス「ゴキブリはどこにすむ？」, 制作 [主担当]
- せかいのこどもたちコーナー更新「フィンランドと中国の子どもたち」, 製作準備 [副担当]

## 館内人事、館外活動等に関すること

### 【館外の活動】

- 展示協力, 松尾知、石井草子, (2002年10月26～27日), 「おしかけプロジェクト～にゃんこ大変化」, 企画展示関連イベント制作・運営, 新潟県立歴史博物館

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス活動】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

- 2002年4月20日 里山体験教室（春編）「春の植物と山菜探し」（滋賀県日野町上駒月）  
2002年7月22日 里山体験教室（夏編）「虫から見た里山」（滋賀県日野町上駒月）  
2002年7月28日 夏休み自由研究講座「昆虫コース」調べ方・集め方・標本のつくりかた  
2002年8月25日 観察会「ミドリセンチコガネを探しに行こう」（滋賀県栗東市荒張）

### 【資料整備活動】

#### 琵琶湖博物館の資料整備活動

昆虫乾燥標本資料の収集・整理・保管

資料の受け入れ〔採集・提供〕 130件

昆虫資料の収集 310点

昆虫乾燥標本の作製 甲虫 1087点

昆虫乾燥標本の作製 蝶・蛾 320点

C展示室展示用昆虫乾燥標本の作製 蛾 155点

昆虫乾燥標本のたとう作製 甲虫（県内外のオサムシ・ゴミムシ）・蜻蛉 364点

動物収蔵庫の地図・標識の作製

動物収蔵庫内の防虫点検

収蔵施設の維持管理

収蔵庫設備内の虫害対策として生物環境調査（トラップ）の実施

2002年6月、10月・2003年3月の年3回実施

燻蒸について

昆虫乾燥標本の燻蒸

小型燻蒸 4回（2002年10月、12月・2003年2月、3月）

燻蒸庫燻蒸 3回（2002年6月、12月・2003年3月）

収蔵庫燻蒸 1回（2002年9月）

### 【展示活動】

#### 琵琶湖博物館の展示活動

C展示室 川の生き物を調べる『ライトトラップ』の展示更新

C展示室 生き物コレクション 昆虫コーナー『蜻蛉』の展示更新

C展示室 生き物コレクション 昆虫コーナー『チョウとガ』の展示更新

C展示室 生き物コレクション 昆虫コーナー『てんとうむし』の展示更新

C展示室 生き物コレクション 昆虫コーナー『博物館のまわりでであった虫たち』の展示更新

### 【企画調整事業】

2002年8月6日 博物館実習 動物標本整理について

「昆虫観察・採集・標本作製」

## 印刷物

### 【一般向け著作】

布谷知夫・中井大介（2002）植物標本目録2 建部俊夫・北川良也植物標本目録 琵琶湖博物館資料目録9  
布谷知夫・草加伸吾・芦谷美奈子・桑垣瑞・中井大介（2002）琵琶湖博物館植物さく葉標本製作・登録・管理マニュアル 琵琶湖博物館資料目録9: 104-111

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表など】

大塚泰介・中井大介（2002）斐伊川で採集された日本であまり知られていない珪藻数種. 日本珪藻学会第23回大会.  
日本珪藻学会第23回大会実行委員会. きよみず（京都）[協力]

## 博物館事業に関する業績

### 【交流・サービス活動】

#### 琵琶湖博物館の主催行事

2002年7月28日 夏休み自由研究講座「植物コース」調べ方・集め方・標本の作り方  
2002年8月24日 夏休み相談室. 琵琶湖博物館. [協力]

### 【資料整備活動】

#### 琵琶湖博物館の資料整備活動

琵琶湖博物館資料の収集・整理・保管

村瀬忠義氏植物さく葉標本 9818点 [情報更新]

燻蒸について

植物標本の燻蒸

小型燻蒸 4回（2002年10月、12月・2003年2月、3月）

燻蒸庫燻蒸 3回（2002年6月、12月・2003年3月）

### 【企画調整事業】

2002年8月6日 博物館実習. 琵琶湖博物館. [指導]

## 印刷物

## 【学術論文】

- Takahashi, T., Mbuya, M. R., Makasa, L. and Aibara, M. (2001) Cichlid fishes around Mpulungu, Zambia. In: Koda, M. and Hori, M. (eds.) Ecological and Limnological study on Lake Tanganyika and its adjacent regions XI. Pp. 51-54.
- Takahashi, T. (2001) Genus *Xenotilapia* Boulenger, 1899 from Zambian water of Lake Tanganyika. In: Koda, M. and Hori, M. (eds.) Ecological and Limnological study on Lake Tanganyika and its adjacent regions XI. Pp. 55-56.
- Takahashi, T. (2001) Taxonomic study of *Telmatochromis* species inhabiting shell bed. In: Koda, M. and Hori, M. (eds.) Ecological and Limnological study on Lake Tanganyika and its adjacent regions XI. P. 57.
- Mbuya, M. R. and T. Takahashi (2001) Body color and local variation within *N. modestus*. In: Koda, M. and Hori, M. (eds.) Ecological and Limnological study on Lake Tanganyika and its adjacent regions XI. P. 58.
- Takahashi, T. and Nakaya, K. (2002) Description and familial allocation of the African fluvial genus *Teleogramma* to the Cichlidae. Ichthyological Research 49: 171-180.
- 高橋鉄美・亀田佳代子・川村めぐみ (2002) 尾鰭骨格による琵琶湖産アユおよびワカサギの種判別と体長の推定. 日本水産学会誌68: 576-578.
- Takahashi, T. (2002) Systematics of the tribe Trematocarini (Perciformes: Cichlidae) from Lake Tanganyika, Africa. Ichthyological Research 49: 253-259.
- Takahashi, T., Hori, M. and Nakaya, K. (2002) New species of *Cyprichromis* (Perciformes: Cichlidae) from Lake Tanganyika. Copeia 2002: 1029-1036.
- Takahashi, T. (2003) Systematics of *Xenotilapia* Boulenger, 1899 (Perciformes: Cichlidae) from Lake Tanganyika, Africa. Ichthyological Research 50: 36-47.
- Takahashi, T. (2003) Comparative osteology of the infraorbitals in cichlid fishes (Teleostei: Perciformes) from Lake Tanganyika. Species Diversity 8: 1-26.

## 研究活動に関する業績

## 【学会・研究会での発表など】

- 亀田佳代子・川村めぐみ・高橋鉄美 (2002年9月13-16日) 琵琶湖におけるカワウの食性の季節変化. 日本鳥学会 2002年度大会. 日本鳥学会. 日本大学歯学部 (東京都千代田区).
- 高橋鉄美・大原健一・仲谷一宏 (2002年10月11-13日). *Telmatochromis temporalis*二型の形態的・遺伝的差異. 2002年度日本魚類学会年会. 日本魚類学会. 信州大学 (長野県松本市).
- 高橋鉄美 (2003年2月21日). 統計的種同定システムの開発. 琵琶湖博物館研究セミナー. 琵琶湖博物館 (滋賀県草津市).

## 【研究プロジェクト等への参加】

- 科学技術振興事業団試験研究費「アフリカ産カワズメ科魚類の系統分類学的研究」(2000年1月~2002年12月)  
琵琶湖博物館共同研究「カワウ問題」解決に向けての生態学的アプローチ」研究分担者 (2002年4月~)

科学研究費補助金（特別研究員奨励費）「アフリカ・タンガニカ湖産カワスズメ科魚類における適応放散メカニズムの解明」（2003年1月～）

## 印刷物

### 【学術論文】

- Ohara K., T. Ariyoshi, E. Sumida, N. Taniguchi. 2003. Clonal Diversity in the Japanese Silver Crucian Carp, *Carassius langsdorfii* inferred from Genetic markers. *Zoological Science* 20:797-804.
- Ohara K., N. Taniguchi. 2003. Preliminary study on genetic diversity evaluated by eleven microsatellite makers in Kuromejina, *Girellaleonina* and Mejina, *G. punctata*. *Fisheries Science* 69:861-863.
- Takahashi D., K. Ohara. Genetic variations estimated from PCR-RFLP analysis on the freshwater goby *Rhinogobius* in Lake Biwa. *Ichthyological Research* (in press).
- Ohara K., D. Takahashi, M. Takagi. Isolation of microsatellite loci in the freshwater goby, *Rhinogobius* sp. (Gobiidae). *Molecular Ecology Notes* (in press).

### 【専門分野の著作】

- 高木基裕, 大原健一 (2003) ヒナモロコ. 平成14年度野生水生生物保全事業成果報告書. 独立行政法人水産総合研究センター

## 研究活動に関する業績

### 【学会・研究会での発表など】

- 大原健一、高木基裕、金子泰通、武井 司 (2002年10月13日) ヒナモロコ (*Aphyocypris chinensis*) 飼育集団の遺伝的多様性. 2002年度日本魚類学会. 日本魚類学会. 信州大学, 長野県松本市
- 高橋鉄美、大原健一、仲谷一宏 (2002年10月12日) *Telmatochromis temporalis* 二型の形態的・遺伝的差異. 2002年度日本魚類学会. 日本魚類学会. 信州大学, 長野県松本市

### 【研究プロジェクト等への参加】

- 希少水生生物保存対策推進事業「ヒナモロコ」共同研究者 (2002年)

### 【学会等の役職・運営、論文の査読など】

- 日本水産学会. *Fisheries Science*、日本水産学会誌 [論文査読 4件]

琵琶湖博物館業績目録 第7号

2002年度

平成16年（2004年）3月 発行

編集：滋賀県立琵琶湖博物館

発行：滋賀県立琵琶湖博物館

〒525-0001 滋賀県草津市下物町1091

電話 077-568-4811(代)

印刷：(株)スマイ印刷工業

© 滋賀県立琵琶湖博物館 2004年

*Printed in Japan*



この冊子は古紙配合率100%の再生紙を使用しています。

# Performance Records of the Lake Biwa Museum

No. **7** Fiscal 2002



LAKE BIWA MUSEUM

滋賀県立  
琵琶湖博物館

〒525-0001 草津市下物町1091  
TEL.077-568-4811(代) FAX.077-568-4850

LAKE BIWA MUSEUM  
1091 Oroshimo, Kusatsu,  
Shiga 525-0001, Japan